笛吹市文化財調査報告書28集

山梨県笛吹市

一の沢遺跡（5次）

笛吹市境川地区浄・配水場建設工事
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2013
笛吹市
笛吹市教育委員会

序

本書は平成２０年度に実施された笛吹市境川町小黒坂地区で発掘調査を実施した一の沢遺跡（5次）の発掘調査報告書です。

一の沢遺跡では縄文時代前期末から中期にかけての集落跡が確認されました。この調査によって、甲府盆地南東縁の丘陵裾部に展開する縄文時代前期末から中期にかけての集落資料を収集することができたことは、大きな成果であったといえます。

御坂山地北西の丘陵や扇状地には旧石器時代から近世（江戸時代）にかけての遺跡が多く点在しています。笛吹市では、『甲斐国千年の都』として、岡・銚子塚や竜塚などの前期古墳、姥塚などの後期古墳、甲斐の国府推定地として知られる春日居町国府や御坂町国衙、県下最古の寺院である寺本廃寺跡、甲斐国分寺跡や国分尼寺跡などの官営寺院などを広く紹介してきました。

一方で豊富な資料を有する縄文時代中期を中心とした遺跡に注目した歴史フォーラムの開催や冊子の刊行、ガイドマップ類の作成に力を入れてまいりました。本遺跡についての報告書の刊行により、この取り組みがより厚みを増してきたのではないかと考えております。

この発掘調査報告書刊行にあたり、ご指導ご協力を賜りました山梨県教育委員会はじめ関係諸機関、発掘調査においてご不便をおかけいたしました地権者各位、寒い中発掘調査に参加いただきました作業員各位に深く感謝申し上げ、この発掘調査報告書の刊行の序文に代えさせていただきます。

平成25年3月

笛吹市教育委員会
教育長　坂本誠二郎

例　　言

1、本書は、山梨県笛吹市境川町小黒坂地内に所在する一の沢遺跡の発掘調査報告書である。

2、本調査は、笛吹市境川地区浄・配水場建設工事に伴うものであり、笛吹市（公営企業部）からの委託を受け、発掘調査・整理作業・報告書作成を笛吹市教育委員会が行った。

3、発掘調査は、2009(平成21)年1月13日から着手し、2009(平成21)年3月27日まで行った。

4、本報告書の編集及び執筆は、望月和幸が行った。

5、本書が掲載した写真撮影は、遺構を望月和幸、溝内淳介が、遺物を望月和幸が行った。

6、本報告書に係わる出土品および記録図面・写真などは一括して笛吹市教育委員会に保管してある。

7、発掘調査・報告書作成に際し、下記の方々からご協力、ご教示を頂いた。記して感謝の意を表したい。

山梨県立博物館・山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター・　財団法人山梨文化財研究所　（順不同・敬称略）

調　査　組　織

調査組織調査事務局

山田　武人　（前　笛吹市教育委員会教育長）
坂本誠二郎　（現　笛吹市教育委員会教育長）
早川　哲夫　（前　笛吹市教育委員会教育次長）
仲澤　和朗　（現　笛吹市教育委員会教育部長）
中山　孝仁　（前　笛吹市教育委員会文化財課長）
小渕　忠秋　（現　笛吹市教育委員会文化財課長）
伊藤　修二　（前　笛吹市教育委員会文化財課調査担当リーダー）
内田　裕一　（現　笛吹市教育委員会文化財課調査担当リーダー）
猪股　喜彦　（現　笛吹市教育委員会文化財課リーダー）

調査担当者

望月　和幸　（笛吹市教育委員会文化財課）
溝内　淳介　（笛吹市教育委員会文化財課臨時職員＝調査時）

発掘調査作業員

荒川奈津江　荒川公子　名取静　宮川菊江　芦沢津屋子　大須賀喜代子　宇佐美常
春　志茂睦　野沢きみ江　佐野和美　神宮寺きよみ　神澤時子　鈴木幸子

室内整理作業員

高野眞寿美　藤原さつき　藤巻淑子　角田万紀　長塚浩美

凡　　例

1，遺構番号は、原則として発見順に付している。

2，掲載遺構図の縮尺は原則として以下の通りである。遺構全体図は、挿図ごとに示した。
　住居跡・溝（古墳周溝含む）・竪穴遺構　1/60

3，掲載遺物図・拓本の縮尺は原則土器・陶器1/3、石器2/3、1/2、土偶・土製品1/2である。

4，遺構断面図脇の数値は、標高を示す。

5，表内の(　)内の数値は推定値である。

第Ⅰ章　調査の経緯と概要

一の沢遺跡は、これまでに山梨県教育委員会、境川村教育委員会（現笛吹市）により4回の発掘調査が実施され、縄文時代中期を中心とした集落遺跡であることが確認されている。また、付近には古墳時代後期の群集墳が広がることも確認されている。

これまでの4次にわたる調査で縄文時代前期後葉の竪穴式住居跡5軒、縄文時代中期中葉の竪穴式住居跡9軒、同中期後葉竪穴式住居跡12軒、中期後葉の敷石住居跡1軒、縄文時代後期前葉の敷石住居跡1軒、縄文時代中期を中心とする土坑100基以上が確認され調査されてきた。また、古墳も5基、平安時代以降の住居跡2軒が確認されている。

一の沢遺跡は二つの集落から形成されており、それぞれが直径100m程度の環状集落であると考えられている。山梨県教育委員会によって実施された一の沢西遺跡（二次調査）の4号住居跡出土の一括資料は井戸尻Ⅲ式期のバリエーション豊富な土器群として知られている。

平成20年度、笛吹市より境川地区浄・配水場用地に関する埋蔵文化財の有無について照会が行われた。笛吹市教育委員会では遺跡地図と照合を行い、施工区全体が周知の埋蔵文化財包蔵地である一の沢遺跡内に位置している事を確認した。また現地踏破でも縄文時代を中心とする遺物の散布が確認された。試掘調査を実施し、遺構の深さ、密度等を確認した後、平成21年1月より発掘調査を実施した。尚、掘削による遺構破壊に至らない調査区西側部分については盛り土を施し、現状保存を行っている。

平成21年3月27日、調査を終了し、県教育委員会宛、終了報告を行っている。その後、平成21年度から24年度にかけて出土品整理、図面整理等を行った。

一の沢遺跡の本調査に関係する文化財保護法の諸手続は以下の通りである。

平成21年1月　文化財保護法第99条第1項による発掘調査の報告を山梨県教育委員会に提出

平成21年3月　文化財保護法第100条第2項による埋蔵文化財発見届を山梨県教育委員会に提出

笛吹警察署への通知を依頼発掘調査の終了報告を山梨県教育委員会に提出

第Ⅱ章　位置と地理的歴史的環境

第1節　地理的環境

山梨県笛吹市は、甲府盆地の中央部やや東寄りに位置し、北部の秩父山地に続く山々及び東南部の御坂山地に連なる丘陵山岳地帯と、笛吹川とその支流に形成された扇状地及び沖積地帯である。

本遺跡のある笛吹市境川町は町の由来になった境川が町のほぼ中央を流れ、また狐川が町東側を流れ浅川に合流する。町の南部は甲府盆地南縁に位地する曽根丘陵の東端にあたる。曽根丘陵上には多くの遺跡が確認されており、境川町にも、一の沢遺跡、西原遺跡、京原遺跡等多くの遺跡が存在する。丘陵部からは芋沢川・間門川などの河川が低平地へ流れており、これらの河川により丘陵は南北に分かれている。

一の沢遺跡は曽根丘陵上の小黒坂地区にあり、北側に狐川が流れている。狐川左岸には縄文時代集落遺跡や古墳時代後期の群集墳など多くの遺跡が広がっており、一帯が良好な生活環境にあったことが伺える。一の沢遺跡からは甲府盆地を一望することが可能であり、背後には奥深い御坂山地を控えている。狐川水系の豊かな水利や御坂山地のもたらす恵みを背景に一の沢遺跡は拠点集落と成り得たと考えられている。

第2節　歴史的環境

笛吹市は、県内有数の遺跡集中域であり、多くの遺跡が周知されている。

境川町内の曽根丘陵は、肥沃な土壌の上に森林が豊かに生い茂り、動植物などの食糧を確保できたため縄文時代中期の集落形成が進み人口集中地帯になったものと考えられる。

一の沢遺跡は、過去4度の発掘調査と今回の発掘調査により、縄文時代前期末から中期を中心とした一帯の拠点的集落で

あったことが確認されてきた。周囲には西原遺跡、京原遺跡、金山遺跡、小黒坂遺跡群といった縄文時代遺跡が密集している。近年では、平成18年度に前間田地区において縄文時代中期曽利式期の仲原遺跡が確認されている。また、弥生時代後期～古墳時代前期の住居跡と低墳丘墓が諏訪尻遺跡などで確認されている。古墳は、後期古墳を中心に百基ほどの古墳が知られているが、そのほとんどが藤垈地区から八代町寄りの東側の地域に限定され、西寄りの寺尾地区ではあまり知られてはいない。

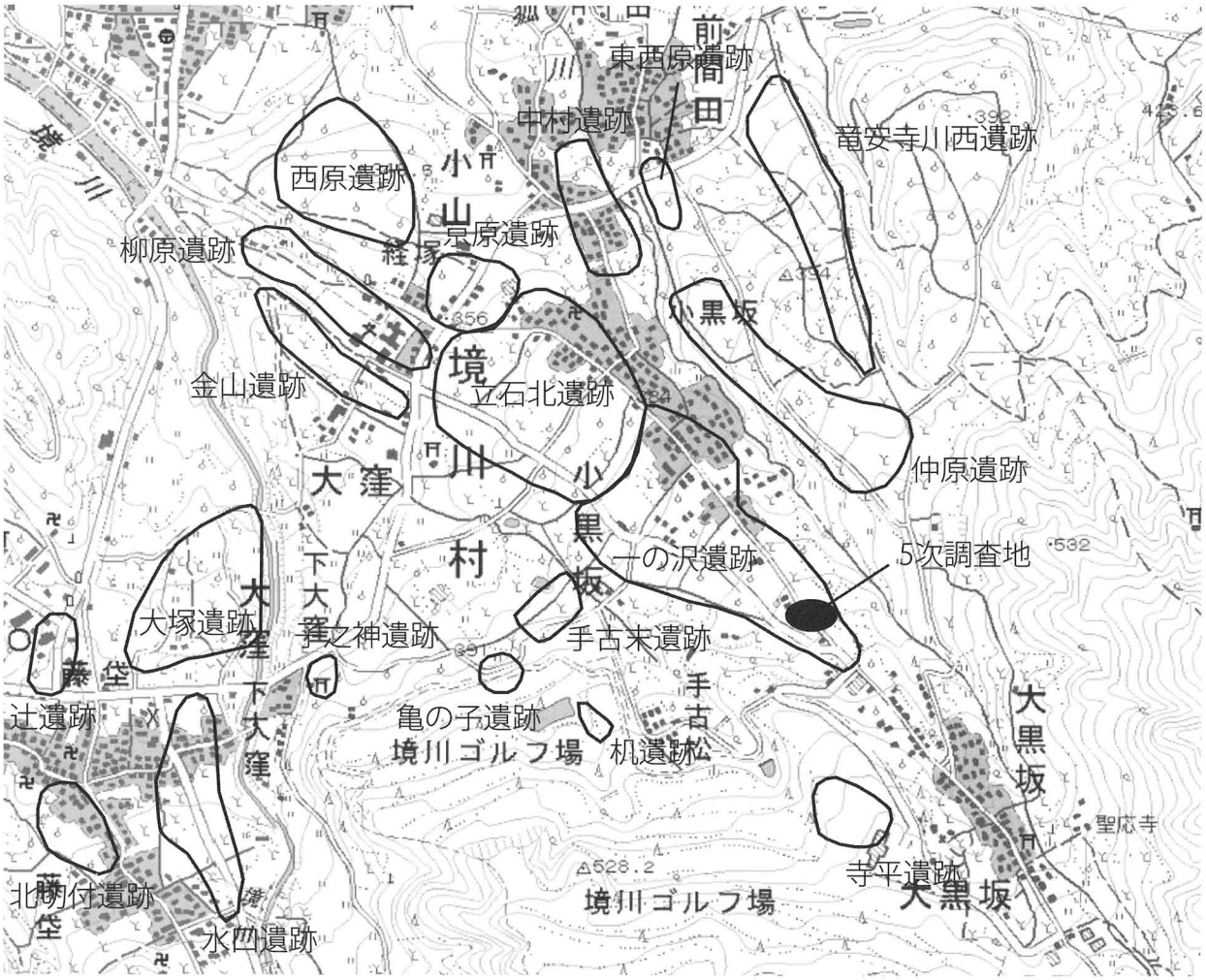
北原遺跡および近隣の馬場遺跡、前付遺跡の西側で、間門川を挟んで対峙する丘陵に、上の平遺跡(甲府市)がある。この上の平遺跡を中心とする甲斐風土記の丘公園一帯は、百数十基の方形周溝墓が確認された地域であり、近年東側の境川においても弥生時代後期～古墳時代前期の集落と方形周溝墓が揃って確認されはじめている。曽根丘陵平坦面の先端に、弥生時代後期～古墳時代前期の集落と方形周溝墓が構築されたものと考えられる。

第Ⅲ章　調査の方法と層序

調査は区域を2つ(A区・B区)に分け、遺構密度の濃いA区から実施した。重機により表土を除去し、その後人力により遺構確認及び記録作成を行った。

グリッドは、任意の10m四方の大グリッドを設定後、それを2m四方の小グリッドに分割する形で設定した。

基本層所は、現地表面から耕作土、暗褐色土、ソフトロームの地山層と続く。遺構確認面はソフトローム上層とした。



図－1　一の沢遺跡位置及び狐川流域における主な集落遺跡

第Ⅳ　確認された遺構と遺物

第１節　縄文時代

（1）竪穴住居跡

本遺跡の縄文時代の住居跡は１２軒確認されたが、調査区外に続くものもあり、全体を検出するに至らないものもある。

住居跡

◆第１号住居跡【第４図】

〔位置〕調査区北東部、A-3グリッドに位置する。

〔形状〕北半分が調査区外にあるため正確ではないが、ほぼ円形に近い形状と思われる。

〔規模〕直径5.2ｍを測る。

〔覆土〕暗褐色土が主体となるローム質土。炭化物、赤色スコリア、白色粒子を含む。

〔 壁 〕最大壁高は0.25ｍでやや外側に広がり立ち上がる。

〔 床 〕ほぼ平坦で所々撹乱されているが、貼り床の硬化面が全体的に確認できた。

〔 炉 〕細長い石を用いた大振りな石囲い炉。中央にカリカリの焦土がたまる。

〔施設〕ピット1は直径55ｃｍの略円形、深さ65ｃｍを測る。位置から柱穴と思われる。他の柱穴については撹乱や遺構外所在のため不明である。周溝は不明である。

〔遺物〕縄文時代中期後半、曽利Ⅲ～Ⅳ式期に比定される土器が出土している。

〔時期〕遺物、炉の形状から縄文時代中期後半に位置づけられる。

◆第２号住居跡【第５図】

〔位置〕B－3グリッドに位置する。

〔形状〕楕円形を呈する。

〔規模〕現在値は長径4.8ｍ、短径4.4ｍを測る。

〔覆土〕暗褐色土が主体で、壁付近はにぶい黄褐色土の三角堆積が見られる。カーボン、赤色スコリア、白色粒子混入。

〔 壁 〕壁高は0.8ｍでやや外反して立ち上がる。

〔 床 〕ほぼ平坦で貼り床とみられる硬化面が確認できた。

〔 炉 〕小ぶりな不正形の石を利用した石囲い炉。焼土は少なく、炉石下面が黒化している。

〔施設〕ピットが6ヶ所確認できた。P－1からP－4が主柱穴と考えられる。

〔遺物〕縄文時代中期前半に比定される縄文地文の土器片が出土している。

〔時期〕小ぶりな炉と小片遺物から縄文時代中期前半に位置付けられよう。

◆第３号住居跡【第６図】

〔位置〕C－3グリッドに位置する。

〔形状〕円形を呈する。

〔規模〕直径（3.7）ｍを測る。

〔覆土〕褐色土が主体であり、褐色スコリア、ロームブロック、白色粒子を混入する。

〔 壁 〕壁高は0.45ｍでやや外反して立ち上がる。

〔 床 〕ほぼ平坦で貼り床とみられる硬化面が確認できた。

〔 炉 〕中央付近にやや細長い石を７石用いた石囲い炉が確認された。

〔施設〕柱穴と思われるピットが３ヶ所確認できた。

〔遺物〕土鈴、土偶脚部、曽利Ⅳ式期深鉢型土器。

〔時期〕縄文時代中期後半、曽利Ⅳ式期に位置づけられよう。

◆第４号住居跡【第７図】

〔位置〕B－2グリッドに位置する。

〔形状〕住居跡西半分が調査区外側となるため不明だが、ほぼ円形を呈すると思われる。

〔規模〕直径約（6.0）mを測る。

〔覆土〕暗褐色土を基調とし、炭化物、褐色スコリア、白色粒子、ロームブロックを混入する。

〔 壁 〕最大壁高0.35mでやや外反する。

〔 床 〕平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕調査区内において、明確な炉は認められないが、調査区境のセクションベルト下層にて若干のカーボンの集中が認められる。

〔施設〕貼り床範囲に5箇所のピットが確認されている。P－2、3、4が深く、この3本が主柱穴になると思われる。また、周溝内ピット列が認められた。

〔遺物〕住居跡中央付近にて縄文時代中期後半、曽利Ⅲ～Ⅳ式期の土器片集中がみられた。また、黒耀石製の石鏃や大ぶりな石匙模造品が出土している。

〔時期〕縄文時代中期後半、曽利Ⅲ～Ⅳ式期に位置づけられよう。

◆第５号住居跡【第８図】

〔位置〕B－2、C－2グリッドに位置する。

〔形状〕一部撹乱により破壊されているが、円形に近い楕円形を呈すると思われる。

〔規模〕長軸4.8m、短軸（3.8）mを測る。

〔覆土〕暗褐色ローム質土を基調とし、褐色スコリア、白色粒子、ロームブロックを混入する。

〔 壁 〕最大壁高0.3mでやや外反する。

〔 床 〕平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕調査区内において、明確な炉は認められないが、調査区境のセクションベルト下層にて若干のカーボンの集中が認められる。

〔施設〕貼り床範囲に6箇所のピットが確認されている。P－1、2、3、6が深く、この4本が主柱穴になると思われる。土層断面観察によると、同ピットには幅0.2m程度の柱痕状の痕跡がみえる。周溝内ピット列は認められない。

〔遺物〕住居跡中央付近にて縄文時代中期後半、曽利Ⅲ～Ⅳ式期の土器片集中がみられた。

〔時期〕縄文時代中期後半、曽利Ⅲ～Ⅳ式期に位置づけられよう。

◆第６号住居跡【第９図】

〔位置〕A－2グリッドに位置する。

〔形状〕住居跡北が撹乱及び他の遺構との切り合いにより不明だが、楕円形を呈すると思われる。

〔規模〕長軸（4.7）m以上、短軸（4）m以上を測る。

〔覆土〕暗褐色ローム質土を基調とし、褐色スコリア、白色粒子を混入する。

〔 壁 〕最大壁高0.15mでやや外反する。

〔 床 〕撹乱が著しいが、平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕撹乱により石が失われているが、本来は石囲い炉であろう。直径1.0mの円形の落ち込み内にカリカリの焼土が0.1mの厚さで堆積している様子が確認できた。

〔施設〕4箇所のピットが確認されている。P－1、3、4が深く、この3本が主柱穴になると思われる。また、周溝内ピット列は認められない。住居跡隅に正位屋内埋甕が確認されている。埋甕の底部は設置後上から打ち抜かれたように穴が開き、埋甕下に割れた破片が認められた。

〔遺物〕住居跡隅にて縄文時代中期後半、曽利Ⅲ～Ⅳ式期の正位屋内埋甕が確認されている。

〔時期〕縄文時代中期後半、曽利Ⅲ～Ⅳ式期に位置づけられよう。

◆第７号住居跡【第１０図】

〔位置〕A－2、B－2グリッドに位置する。4号住居に切られる。

〔形状〕切り合いにより不明だが、円形または楕円形を呈する。

〔規模〕不明。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔 壁 〕最大壁高0.1mでやや外反する。

〔 床 〕撹乱が著しいが、平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕大振りで扁平な石を縦に用いた石囲い炉（炉－2）があり、その脇に石囲いを持たない焼土集中部が認められた。尚、焼土集中部も土坑状に掘り込まれ、内部にカリカリ焼土がたまっていることから炉（炉－1）であると考えられる。

〔施設〕炉東に比較的深いピットが2箇所確認されているが、切り合いが著しく、本住居に伴うかは不明。

〔遺物〕床面において縄文時代中期後半、曽利Ⅳ式期の土器が出土している。

〔時期〕大振りな炉の形状、床面遺物から縄文時代中期後半、曽利Ⅳ式期に位置づけられよう。

◆第8号住居跡【第１１図】

〔位置〕J－１１グリッドに位置する。

〔形状〕やや歪んだ円形を呈する。

〔規模〕直径5.5mから６m。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔 壁 〕最大壁高0.4mでやや外反する。

〔 床 〕平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕不明だが、住居中央西よりに被熱により割れたと思われる礫が認められる。

〔施設〕貼り床範囲に柱穴と思われる6箇所のピットが確認されている。

〔遺物〕床面において曽利Ⅰ～Ⅱ式期の土器が出土している。

〔時期〕縄文時代中期後半、曽利Ⅰ～Ⅱ式期に位置づけられよう。

◆第9号住居跡【第１２図】

〔位置〕J－11グリッドに位置する。

〔形状〕北半分が調査区外にあるため不明。やや歪んだ円形または楕円形を呈すると思われる。

〔規模〕現存部で直径5.6m。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔 壁 〕最大壁高0.2mでやや外反する。

〔 床 〕著しく撹乱を受けるが、平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕住居中央東よりに石囲い炉が認められる。

〔施設〕貼り床範囲に柱穴と思われる6箇所のピットが確認されている。

〔遺物〕床面において中期前半に比定される浅鉢や口縁部に粘土紐を貼り付けた縄文地文土器が出土している。

〔時期〕やや大振りな石囲い炉だが、遺物から、縄文時代中期前半に位置づけられよう。

◆第１０号住居跡【第１３図】

〔位置〕H−11グリッドに位置する。

〔形状〕住居跡北半分が調査区外側となるため不明だが、ほぼ円形を呈すると思われる。

〔規模〕現存部分において、直径4.3ｍ。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔 壁 〕最大壁高0.4ｍでやや外反する。

〔 床 〕平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕不明だが、炉石と思われる大振りな礫が認められる。

〔施設〕貼り床範囲に6箇所のピットが確認されているが、その他は不明。

〔時期〕炉石の大きさから縄文時代中期後半に位置づけられよう。

◆第１１号住居跡【第１３図】

〔位置〕A−3グリッドに位置する。

〔形状〕住居跡北半分が調査区外側となり、調査区内西半分が削平されているため不明。

〔規模〕不明。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔 壁 〕最大壁高0.1ｍでやや外反する。

〔 床 〕平坦な貼り床が認められるが西半分は失われている。

〔 炉 〕不明。

〔施設〕貼り床範囲に主柱穴と思われる１箇所のピットが確認されているが、その他は不明。

〔遺物〕住居跡南東隅より、正位屋内埋甕が出土している。

〔時期〕埋甕から、縄文時代中期後半、曽利Ⅲ〜Ⅳ式期に位置づけられよう。

◆第１３号住居跡【第１４図】

〔位置I−１０グリッドに位置する。

〔形状〕住居跡北半分が調査区外側となり、東側を古墳周溝によって削平されているため不明。

〔規模〕不明。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔 壁 〕最大壁高0.15ｍでやや外反する。

〔 床 〕平坦な貼り床が認められる。

〔 炉 〕不明。

〔施設〕貼り床範囲に柱穴と思われる３箇所のピットが確認されているが、その他は不明。

〔時期〕不明だが周囲の散布土器等から縄文時代中期に位置づけられようか。

古　墳

◆1号墳【第１５図】

〔位置〕I−10グリッドに位置する。

〔規模〕東側周溝の外側立ち上がり以外は調査区外のため不明。周溝幅上場で4ｍ以上、下場で３ｍ以上。溝の深さ0.5ｍ、外反して立ち上がる。

〔遺物〕周溝内より須恵器大甕片が割られた状態で出土している。口縁の一部を除き復元可能。

〔時期〕古墳時代後期期に位置づけられる。

〔特記〕狐川左岸には古墳時代後期の群集墳が認められる。本古墳はそのうちの1基であるが、主体部及びマウンドは既に失われている。尚、周溝内には崩落した列石の一部と思われる礫が認められる。周溝幅が広いことから比較的大型の後期古墳であると思われる。

土　坑

1区においては13基、2区において6基、計19基の土坑が確認されている。

◆1区土坑【第１６図〜１７図】

1号、3号土坑は長軸1.5ｍ、短軸1.05ｍ程度の楕円形、壁は外反して立ち上がる。5号、6号、7号、8号、13号の各土坑は近接している。5号、6号、8号の各土坑は0.95ｍから1.2ｍ程度の円形に近い形状で壁は外反する。底部は平坦ではない。6号土坑は長軸1.5ｍ、短軸1.05ｍと1号、3号に近い形状である。13号土坑は1.45ｍ×1.2ｍの円形に近い楕円形を呈し、底部は平坦でない。10号土坑は直径0.6ｍ程の掘り方上に縄文時代中期後半の土器が潰れた状態で確認されている。一部で直に立つように覆土に刺さった土器片が見られる。土坑の残存状況が悪く断定は出来ないが埋甕ではないかと想定される。11号土坑は長軸1.5ｍ、短軸1ｍ程度の楕円形を呈し、底部長軸壁際にピット状の落ち込みがある。14号土坑は直径１ｍ程度の円形を呈す。縄文時代中期前半の土器が集中している。

◆2区土坑【第１８図】

20号土坑は直径0.7ｍの円形を呈し、底部は概ね平坦である。22号、26号土坑は隣接し、それぞれ直径0.8ｍの円形を呈する。26号土坑には縄文時代中期後半の土器片が見られる。壁も外反し、底部も概ね平坦である。25号土坑は直径0.7ｍの円形を呈し、壁は外反する。底部は平坦でなく中央が深いピット状を呈する。27号土坑は長軸1.2ｍ、短軸1ｍのやや扁平な円形を呈す。底部はほぼ平坦だが、長軸0.4ｍ程の自然礫を含有する。また、底部にも地山層に含まれる礫が見られる。隣接の25号土坑にも長軸0.2ｍ程度の礫が入り込むことから、土坑内礫は埋没過程での混入と思われる。24号土坑は直径1.1ｍのやや扁平な円形を呈す。壁は外反し、25号、27号土坑同様に覆土内に礫を含有する。24号土坑には縄文時代中期前半の土器片がみられる。

◆1号埋甕【第18図】

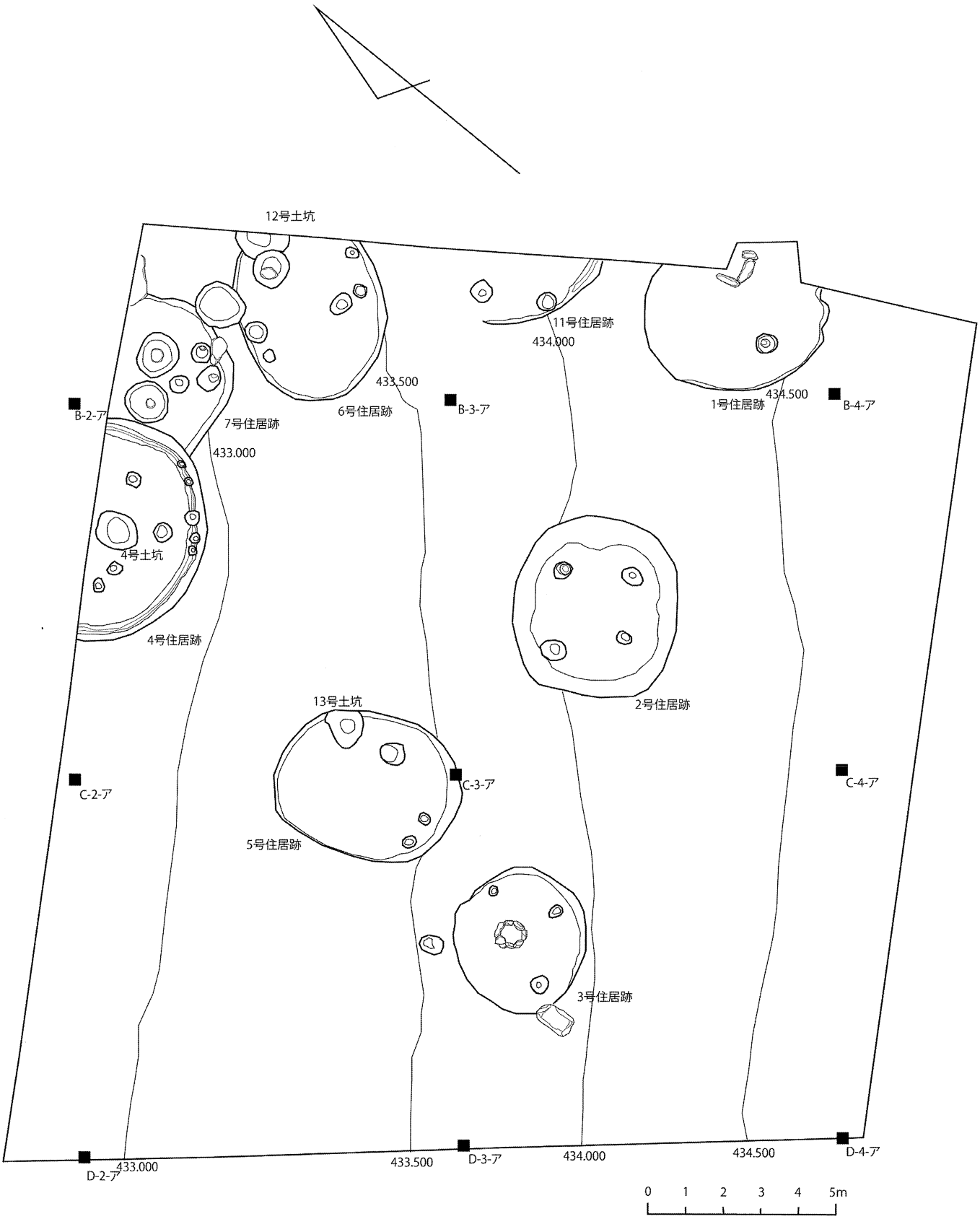
直径1mの円形を呈する掘り方内に正位で直径0.3mの土器が収められている。土器はやや傾いた状況で収められている。埋甕としては小ぶりな部類であるが、周囲に柱穴が認められない点から屋外の埋甕と判断したい。縄文時代中期後半に位置づけられよう。

一の沢遺跡遺土坑観察票

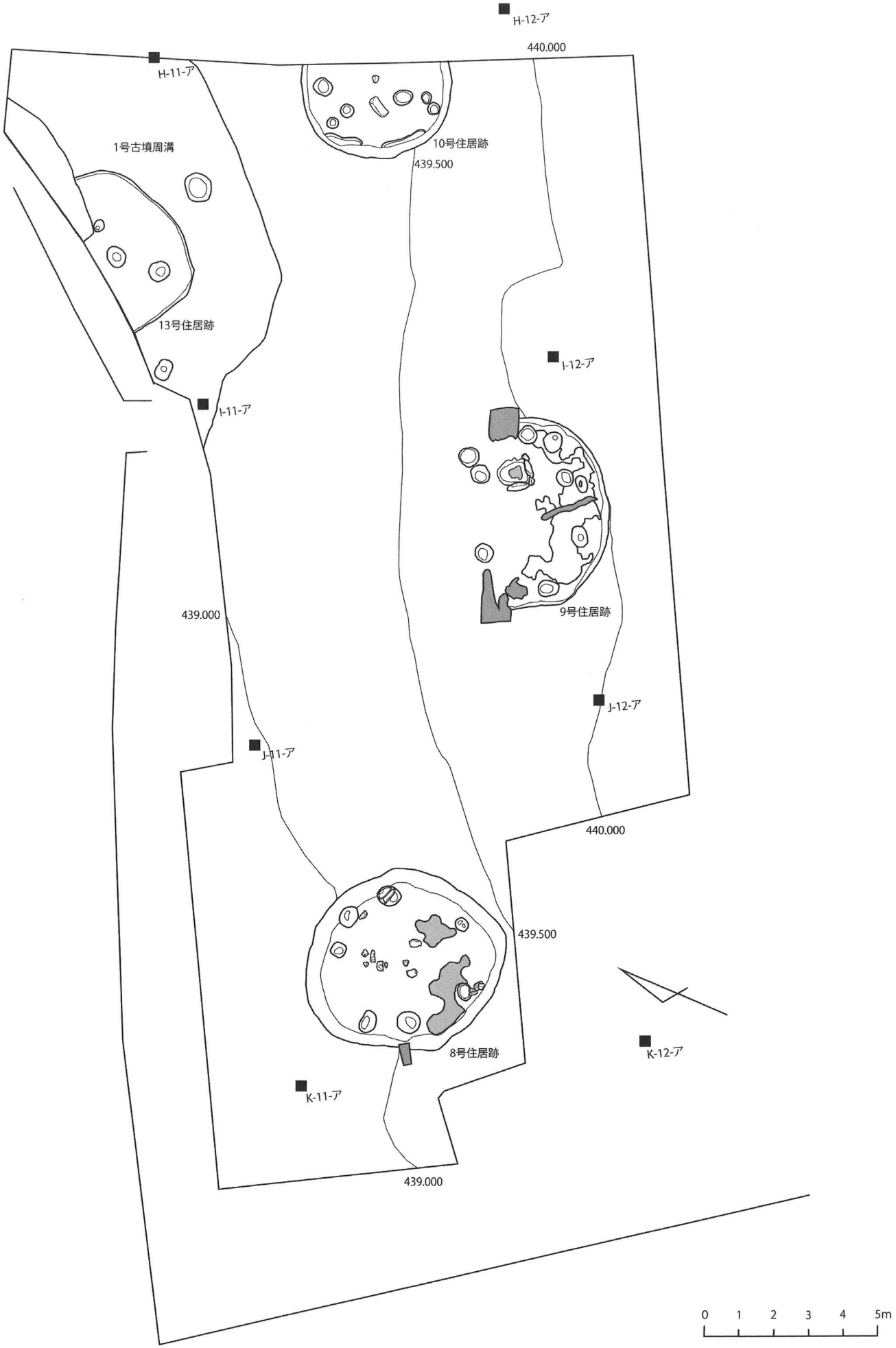
遺　構No.	長軸×短軸×残存深さ（cm）	形　　状	遺　　物	備　　考
1号土坑	150×105×60		長楕円形	
2号土坑	不明×85×25			6号住居跡内（6号住居跡より古）
3号土坑	150×105×50	長楕円径		
4号土坑	120×100×90	略円形		4号住居跡内
5号土坑	90×90×30	略円形		
6号土坑	150×105×80	長楕円形		
7号土坑	130×110×30	略円形		
8号土坑	100×80×35	略円形		
10号土坑	65×55×20	略円形	縄文中期後半	礫出土、土器片の一部が正位で出土
11号土坑	140×110×50	長楕円形		
12号土坑	150×不明×40以上			6号住居跡内（6号住居跡より古）
13号土坑	120以上×100以上×60			5号住居跡内、8号土坑に切られる
14号土坑	100×100×15	略円形	縄文中期前半	
20号土坑	80×80×15	略円形		
22号土坑	90×80×50			
24号土坑	105×105×55			
25号土坑	70×65×45			
26号土坑	100×75×40			
27号土坑	120×100×30			

一の沢遺跡石器観察表

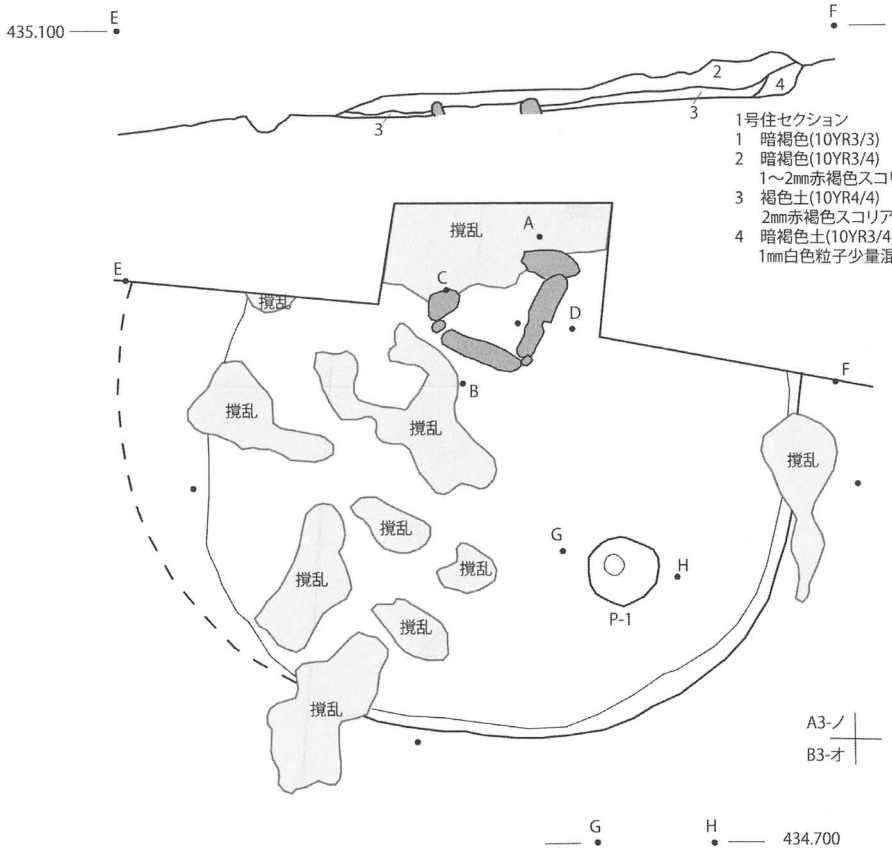
番　号	分　類	遺　構	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石　材	備　考
1	石鏃	3住	1.8	1.2	0.4	0.87	黒曜石	無茎、凹基
2	石鏃	3住	1.5	1.6	0.3	0.80	黒曜石	無茎、平基
3	石鏃	4住	(1.4)	1.9	0.3	0.63	黒曜石	無茎、平基
4	石鏃	5住	(1.65)	1.6	0.3	0.67	黒曜石	無茎、凹基
5	石鏃	8住	2.4	2.0	0.3	0.80	黒曜石	無茎、凹基
6	石鏃	遺構外	(1.4)	1.0	0.4	0.57	黒曜石	無茎、凹基
7	石鏃	遺構外	2.3	2.1	1.9	2.94	黒曜石	無茎、平基
8	石鏃	遺構外	(1.9)	1.6	0.2	0.69	黒曜石	無茎、凹基
9	石鏃	5住	2.25	1.55	0.7	2.62	黒曜石	無茎、平基
10	石鏃	遺構外	1.7	1.7	0.7	1.92	黒曜石	無茎、平基
11	石錐	3住	2.1	1.8	0.25	1.47	黒曜石	
12	石錐	4住	1.7	1.7	0.15	1.17	黒曜石	
13	石錐	5住	2.4	0.9	0.1	0.69	黒曜石	
14	石錐	5住	(1.3)	1.2	0.08	0.60	黒曜石	
15	石錐	5住	1.7	1.3	0.2	0.85	黒曜石	
16	石錐	5住	2.4	0.8	0.1	0.62	黒曜石	
17	石錐	8住	3.19	(2.65)	0.46	4.46	黒曜石	
18	石錐	遺構外	2.3	1.1	0.5	1.60	黒曜石	
19	石錐	9住	(3.5)	1.2	0.4	2.99	黒曜石	
20	石錐	ピット4	(2.7)	2.8	0.1	3.51	黒曜石	
21	石錐	遺構外	1.7	1.8	0.2	1.14	黒曜石	
22	石錐	遺構外	(2.0)	1.9	0.2	1.79	黒曜石	
23	掻器	4住	2.9	3.3	0.9	8.47	黒曜石	
24	掻器	3住	1.5	1.9	0.3	1.10	黒曜石	
25	掻器	5住	1.7	1.8	0.4	1.33	黒曜石	
26	掻器	5住	1.6	1.9	0.4	1.20	黒曜石	
27	掻器	8住	1.92	1.49	0.15	0.52		
28	掻器	9住	1.4	2.1	0.4	1.12	黒曜石	
29	掻器	遺構外	2.1	3.25	0.55	3.21	黒曜石	
30	掻器	遺構外	1.2	2.6	0.6	2.86	黒曜石	
31	掻器	遺構外	1.9	2.1	0.65	3.55	黒曜石	
32	楔形石器	5住	2.3	1.0	0.4	1.17	黒曜石	
33	石匙	8住	2.8	1.8	0.4	2.65	黒曜石	縦刃
34	石匙	4住	3.5	2.1	0.5	3.69	黒曜石	縦刃
35	石匙	5住	2.2	1.7	0.3	0.86	黒曜石	横刃
36	石匙	遺構外	3.3	1.5	0.5	2.76	黒曜石	縦刃
37	石匙	4住	6.27	6.3	1.15	36.13	黒曜石	縦刃
38	石匙	遺構外	4.8	6.8	0.9	30.16		横刃
39	石匙	遺構外	7.2	7.8	1.8	68.70		横刃
40	石匙	遺構外	5.7	11.8	1.3	100.00		横刃
41	打製石斧	21土坑	5.9	3.7	1.1	29.04		短冊形
42	打製石斧	3住	6.2	3.3	0.75	16.86		撥形
43	打製石斧	3住	9.4	5.3	1.1	48.16		撥形
44	打製石斧	5住	8.1	4.75	1.45	62.48		撥形
45	打製石斧	15土坑	7.7	3.7	1.1	42.28		短冊形
46	打製石斧	遺構外	9.6	4.5	1.2	64.00		短冊形
47	打製石斧	遺構外	8.8	3.3	0.7	41.79		短冊形
48	打製石斧	遺構外	5.92	4.8	0.75	29.30		撥形
49	打製石斧	遺構外	7.4	5.3	0.8	102.00		撥形
50	打製石斧	遺構外	8.3	4.5	1.4	49.65		撥形
51	打製石斧	遺構外	9.9	5.0	2.2	119.00		短冊形
52	打製石斧	遺構外	10.8	5.3	1.25	104.87		分銅形
53	打製石斧	遺構外	8.8	4.1	1.3	72.86		撥形
54	打製石斧	遺構外	7.4	3.8	1.2	49.13		撥形
55	打製石斧	遺構外	7.7	4.45	1.2	49.76		撥形
56	磨製石斧	6住	6.9	1.9	1.0	24.98		
57	磨製石斧	8住	6.6	4.45	2.9	138		
58	磨製石斧	遺構外	12.0	5.6	4.5	396		
59	磨製石斧	遺構外	11.1	5.4	3.0	284		
60	磨製石斧		19.0	6.7	4.6	838		
61	敲石	2住	17.1	6.15	3.9	495		
62	敲石	2住	17.0	6.7	3.6	628		
63	敲石	遺構外	15.6	4.7	3.7	463		
64	敲石	遺構外	13.1	6.3	5.8	770		
65	敲石	5住	11.3	8.9	6.2	872		
66	凹石	2住	11.0	6.9	3.8	354		
67	凹石	7住	11.9	6.9	3.7	495		
68	凹石	遺構外	10.2	6.9	4.3	330		
69	凹石	遺構外	12.5	5.0	4.6	500.6		
70	凹石	2住	12.4	7.85	4.65	641		
71	凹石	遺構外	9.8	8.75	4.2	604		
72	凹石	5住	8.72	8.2	3.8	424		
73	凹石	遺構外	(9.4)	8.6	5.5	664		
74	磨石	11住	8.1	4.3	3.5	183		
75	磨石	4住	13.6	5.5	4.7	563		
76	石皿	8住2区	21.7	12.0	7.5	2200		
77	石皿	遺構外	15.9	13.8	5.3	1740		



図－2　一の沢遺跡(5次)　1区遺構配置図

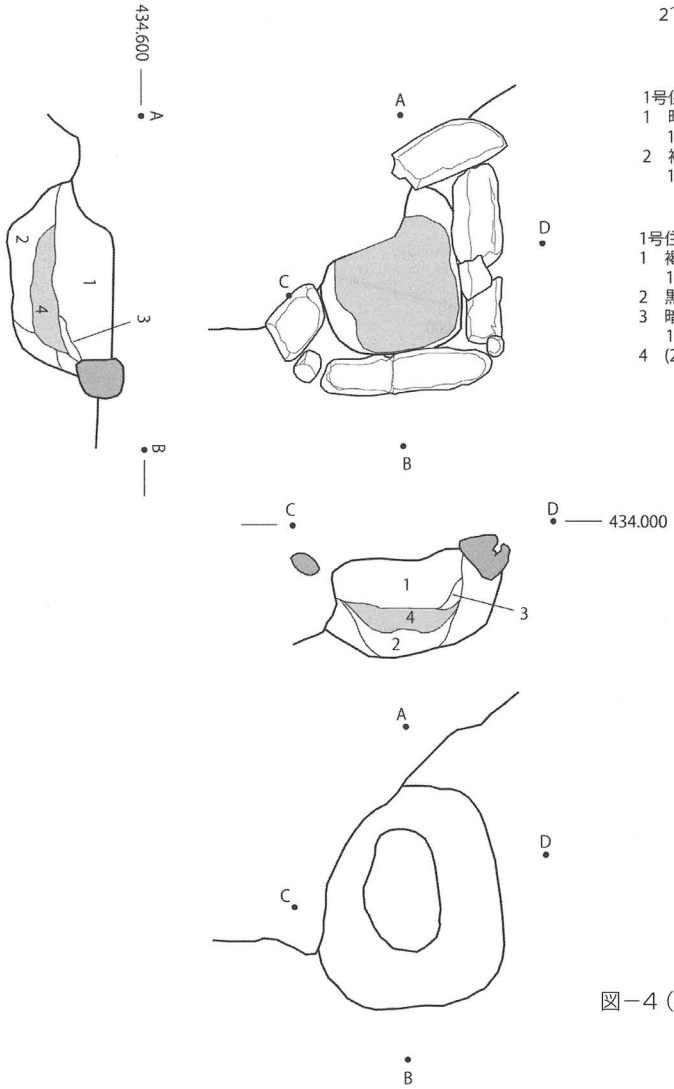


図ー3　一の沢遺跡（5次）　2区遺構配置図



1号住セクション
1　暗褐色(10YR3/3)　しまりやや弱　粘性ややあり
2　暗褐色(10YR3/4)　しまりやや弱　粘性あり　2mm炭化物少量混入
　1～2mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入
　2mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
4　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物少量混入
　1mm白色粒子少量混入

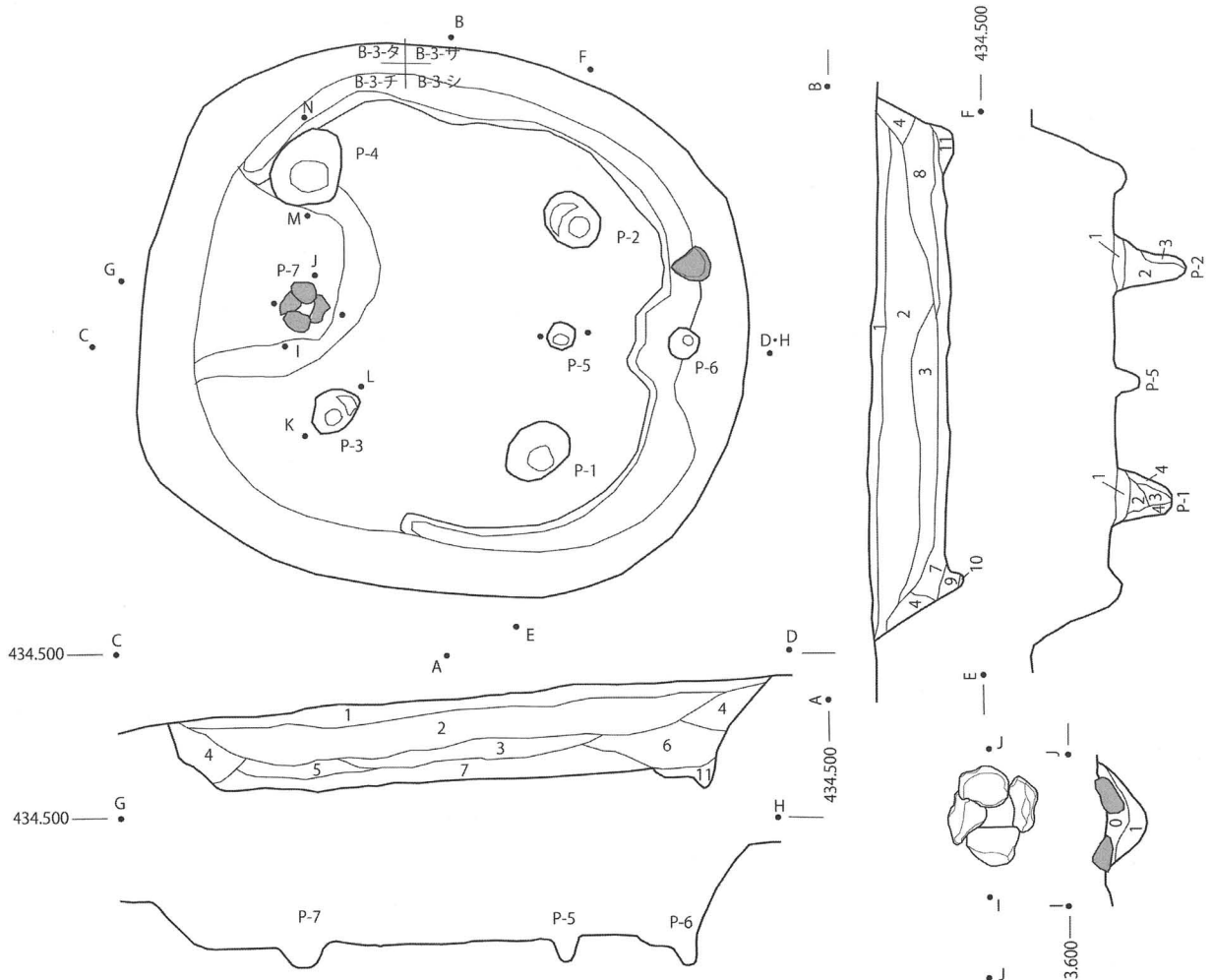
図－4（1）　1号住居　S＝1／60

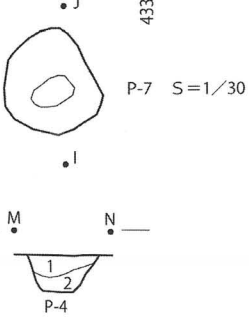


1号住居跡柱穴
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性ややあり　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロックは少量。
2　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性ややあり　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　5mmロームブロック少量混入

1号住居跡炉
1　褐色土(10YR3/4)　しまりやや弱　粘性ややあり　2～4mm焼土粒子少量混入
　1～2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
2　黒褐色土(10YR3/2)　しまりやや弱　粘性やや弱　2～5mm焼土粒子少量混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまりやや弱　粘性ややあり　1～2mm焼土粒子少量混入
　1mm白色粒子少量混入
4　(2.5YR5/8)　焼土

図－4（2）　1号住居炉跡　S＝1／30

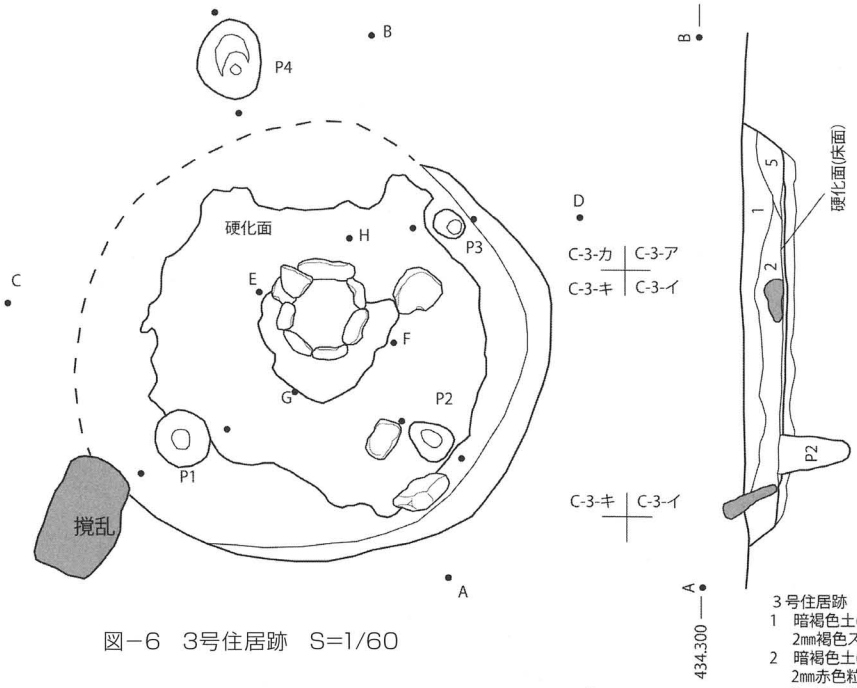




2号住居跡
1 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性やや弱 2mm炭化物極少量混入 1～3mm赤色粒子少量混入 1mm白色粒子極少量混入
2 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性ややあり 2mm炭化物極少量混入 2mm赤褐色粒子少量混入 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
3 暗褐色土(10YR3/4) しまりやや強い 粘性ややあり 2mm炭化物極少量混入 1～2mm赤色粒子少量混入 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入
4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまりあり 粘性あり 1～2mm赤色粒子少量混入 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 ロームブロック多量に混入
5 褐色土(10YR4/4) しまりあり 粘性あり 1～2mm赤褐色粒子少量混入 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 5mmローム少量混入
6 褐色土(10YR4/4) しまりややあり 粘性ややあり 2mm炭化物極少量混入 2～3mm赤色粒子少量混入 2～3mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 5mmローム少量混入
7 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm炭化物極少量混入 1～2mm赤色粒子少量混入 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 5mmローム少量混入
8 褐色土(10YR4/4) しまりややあり 粘性ややあり 1～2mm赤色粒子極少量混入 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 5mmローム少量混入
9 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 ロームブロック少量混入
10 黒褐色土(10YR2/3) しまりあり 粘性あり 1～2mm赤色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入
11 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 ロームブロック少量混入

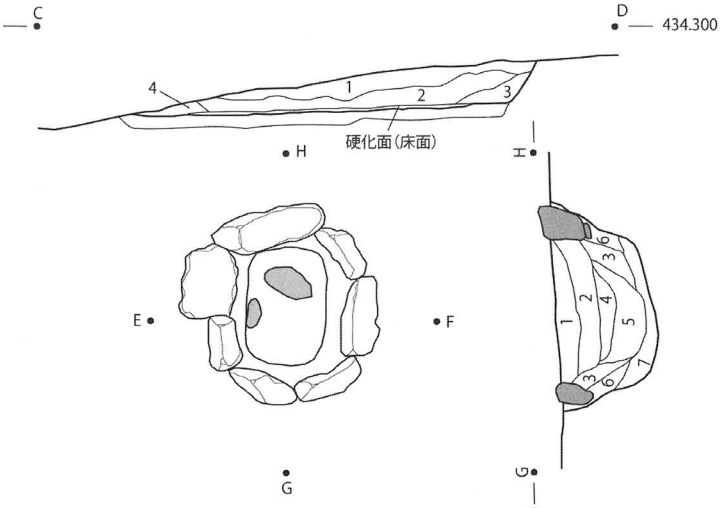
2号住居跡柱穴
ピット1
1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 1mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
2 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量 1mm白色粒子極少量混入 1層より混入物は少ない
3 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり 粘性あり 1～2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 1cmロームブロック極少量混入
4 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり 粘性あり 1mm褐色粒子極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 1～2cmロームブロック多く混入
ピット2
1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 1mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
2 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり 粘性あり 2～3mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
3 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 2cmロームブロック多く混入
ピット3
1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 5mm暗褐色ローム極少量混入
3 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 黄褐色ロームがブロック状に少量混入
ピット4
1 暗褐色色(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 暗褐色ロームがブロック状に少量混入
ピット5
1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 暗褐色ロームが粒状に極少量混入
2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
ピット7
0 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm赤褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 2mm焼土粒極少量混入
1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 炭化物極少量混入

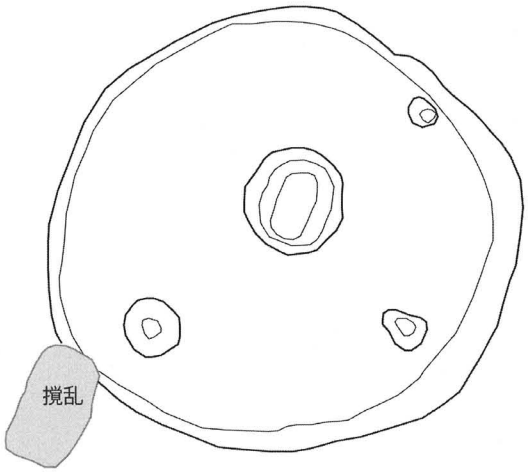
図―5 2号住居跡 S=1／60



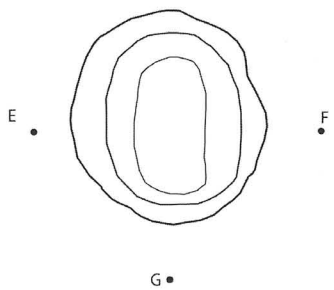
図－6　3号住居跡　S=1/60

3号住居跡
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性ややあり　2mm炭化物極少量混入
　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入　5mmローム少量混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり 粘性あり　2mm炭化物極少量混入
　2mm赤色粒子少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　5mmローム極少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子少量混入　10cmロームブロック多量混入
4　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　1mm白色粒子少量混入
　5mmロームブロック少量混入
5　褐色土(7.5YR4/4)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子少量混入　10cmロームブロック多量混入
掘り方
　褐色土(10YR4/4)　しまりあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入
　2mm赤色粒子少量混入　1mm白色粒子少量混入



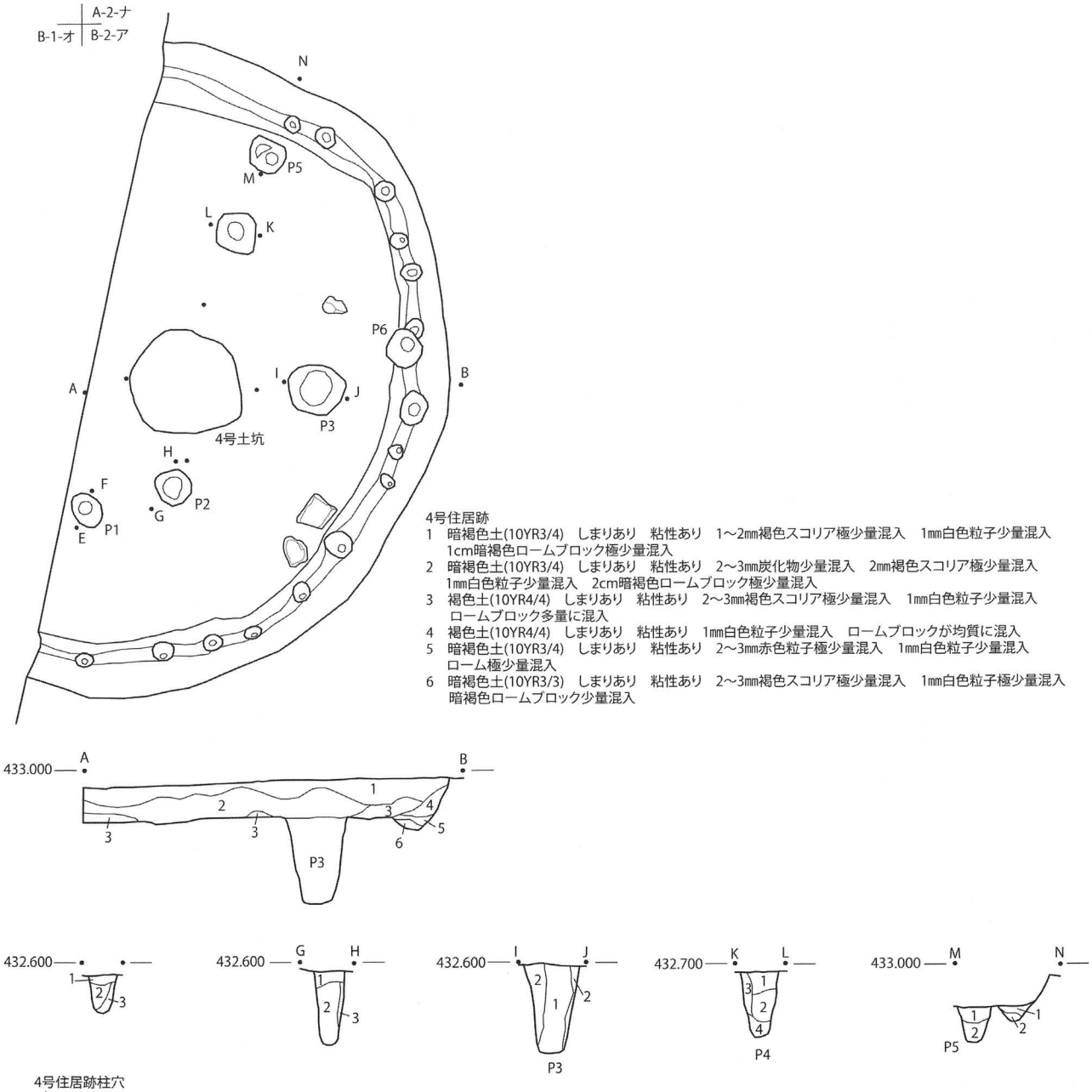


3号住居跡　掘り方　S=1／60



3住居跡炉
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　1～2mm焼土粒極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　2mm焼土やや多く混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　1mm焼土粒極少量混入
4　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性やや弱い　2mm炭化物極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　焼土ブロック多量混入
5　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　2mm焼土粒少量混入　黄褐色ロームブロックやや多く混入
6　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　2mm焼土粒極少量混入
7　黒褐色土(10YR3/2)　しまりあり　粘性あり　1mm白色粒子少量混入　ロームブロック少量混入

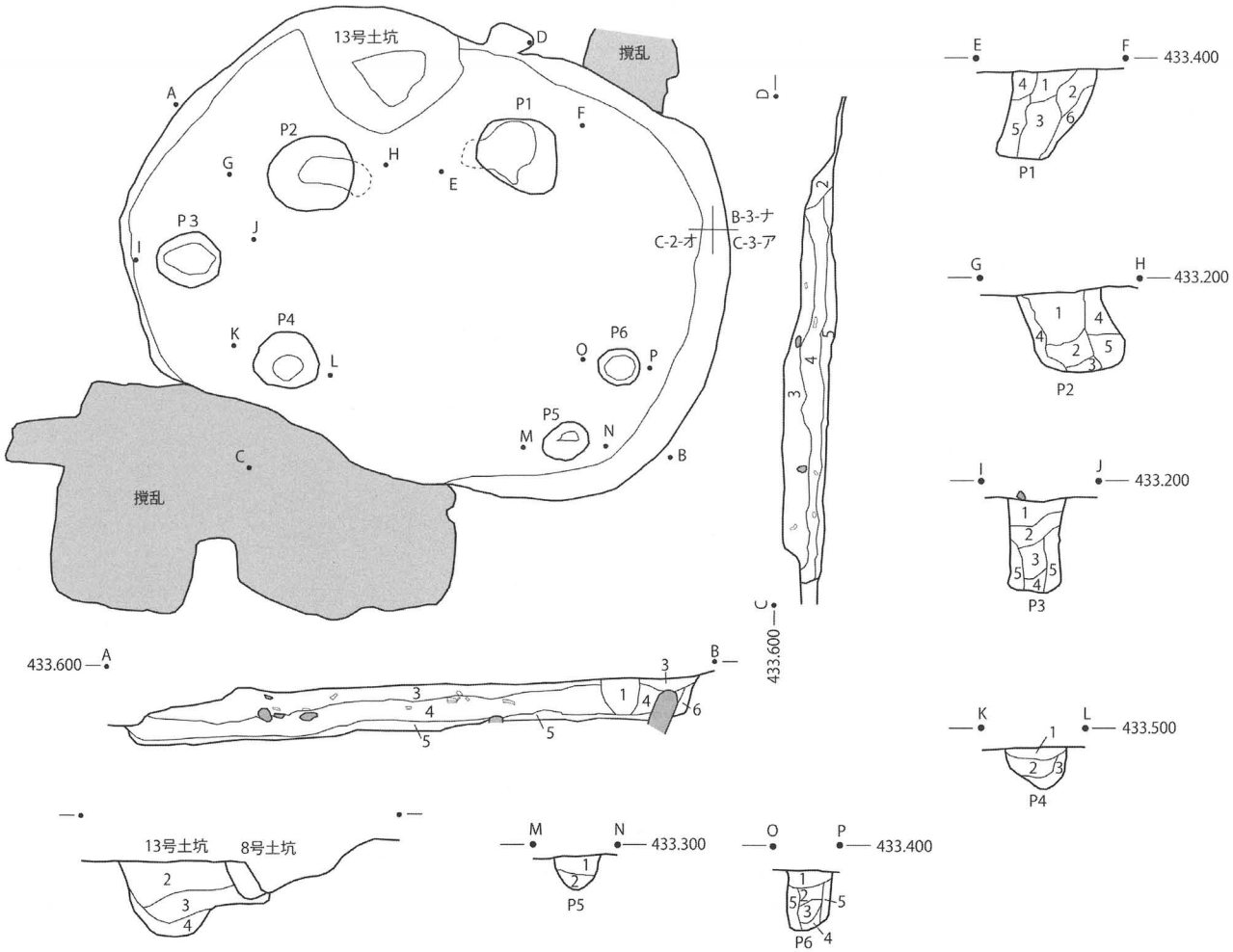
図－6（2）　炉　S=1／30



4号住居跡
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　1～2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　1cm暗褐色ロームブロック極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2～3mm炭化物少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子少量混入　2cm暗褐色ロームブロック極少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりあり　粘性あり　2～3mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　ロームブロック多量に混入
4　褐色土(10YR4/4)　しまりあり　粘性あり　1mm白色粒子少量混入　ロームブロックが均質に混入
5　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2～3mm赤色粒子極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　ローム極少量混入
6　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2～3mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入
　暗褐色ロームブロック少量混入

4号住居跡柱穴
ピット1
1　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　1～2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム少量混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　ロームブロック少量混入
ピット2
1　褐色土(10YR4/4)　しまりあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロック多く混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒極少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒極少量混入
ピット3
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2～3mm炭化物極少量混入　2mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロックやや多く混入
ピット4
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロックやや多く混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒少量混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　1mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒少量混入
4　黒褐色土(10YR3/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒少量混入
ピット5
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　暗褐色ローム少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒極少量混入
ピット5隣の壁溝
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2～3mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2～3mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　暗褐色ロームがブロック状に少量混入

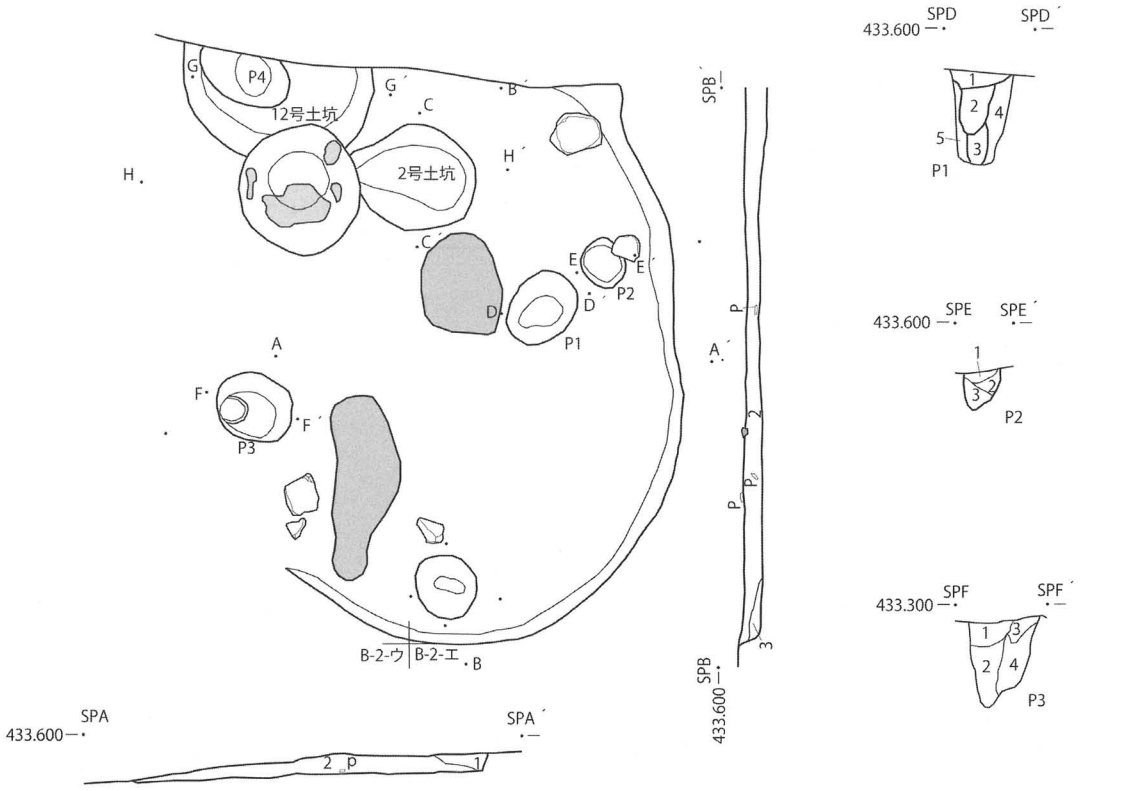
図―7　4号住居跡　S=1/60



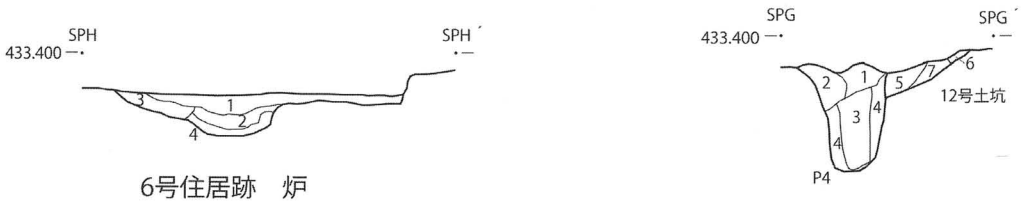
5号住セクション
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入　暗褐色ローム少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア少量混入　1mm白色粒子少量混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入
　黄褐色ロームブロック極少量混入
5　褐色土(10YR4/4)　しまりあり　粘性あり　1mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア少量混入　1mm白色粒子極少量混入
　黄褐色ロームブロックやや多く混入
6　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　暗褐色ローム少量混入

5号住居跡柱穴
ピット1
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　5mm黄褐色ローム粒極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　褐色ロームブロック極少量混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロック極少量混入　1層より堆積の目が細かい
4　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロックやや多く混入
5　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　1mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロックやや多く混入
6　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック多く混入
ピット2
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入　黒褐色粒少量混入
2　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　褐色ロームブロック少量混入
3　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　3mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　黄褐色ロームを均質に含む
4　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　5mm黒褐色粒極少量混入　黄褐色ロームがブロック状に多く混入
5　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入
ピット3
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　1mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入
2　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック多量に混入
3　灰褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入
4　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入
5　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロック多く混入
ピット4
1　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒少量混入
2　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒極少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒少量混入
ピット5
1　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム粒少量混入
ピット6
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック多く混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒少量混入
3　黒褐色土(10YR3/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒極少量混入
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入
5　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒少量混入　暗褐色ローム粒少量混入

図－8　5号住居跡平面図　S=1／60

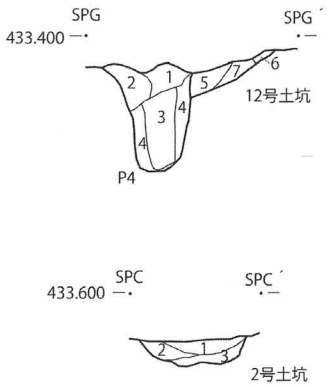


6号住セクション図
1　褐色土(10YR4/4)　しまりあり　粘性あり　炭化物少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロック多く混入　崩落土
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　2mm褐色スコリア少量混入　1mm白色粒子少量混入
3　黒褐色土(10YR3/2)　しまりあり　粘性あり　2mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ローム極少量混入



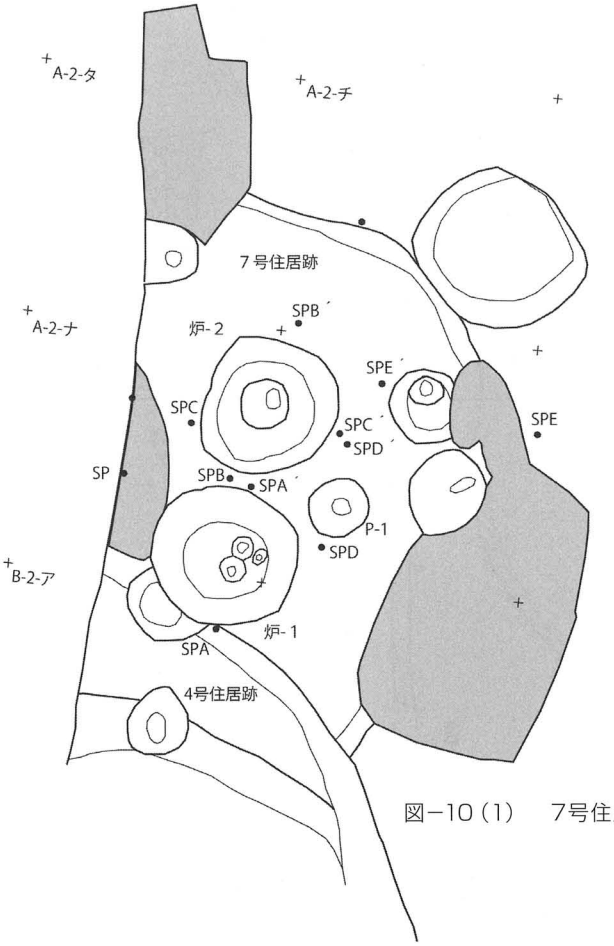
6号住居跡　炉

6号住居跡炉
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　2～3mm炭化物極少量混入　2mm褐色粒子極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　3～5mm焼土粒少量混入　上面に焼土の散布する
2　赤褐色土(2.5YR4/8)　焼土　しまりあり　粘性弱い　暗褐色土がブロック状に多く混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまりあり　粘性あり　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒子極少量混入　暗褐色ローム極少量混入
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性やや弱い　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子少量混入
　暗褐色ロームブロック少量混入　焼土ブロック少量混入　被熱により粘性を失う

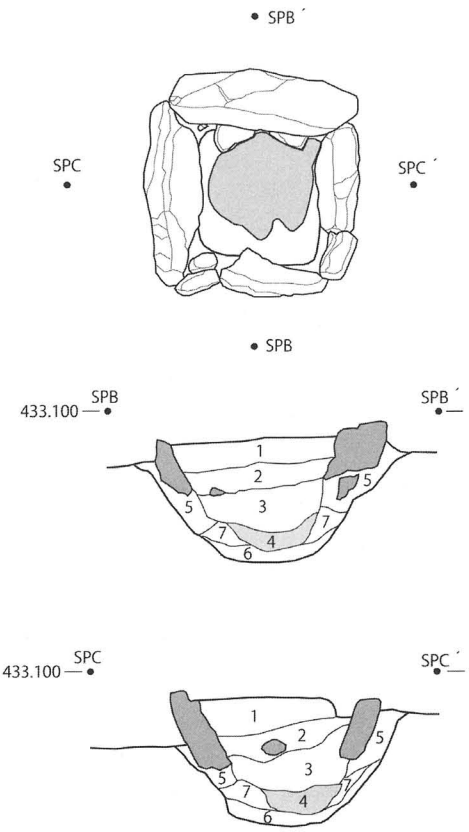


ピット1
1　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　3～5mm赤褐色スコリア極少量混入1mm白色粒子極少量混入　1cmロームブロック少量混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　5mmローム粒極少量混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2層より色調が暗く、堆積の目が細かい
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　3mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　1～3cmロームブロック少量混入
ピット2
1　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2～3mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　1mm白色粒子極少量混入　3mmローム粒極少量混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　3mm赤褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロックやや多く混入
ピット3
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　5mmローム粒やや多く混入
2　黒褐色土(10YR2/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　5mmローム粒少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　ロームブロック多く混入
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入　暗褐色ロームブロック多く混入
ピット4
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒極少量混入
2　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロックやや多く混入
3　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　5mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　2mm白色粒子極少量混入　黄褐色ローム粒極少量混入
4　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　1～3mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入

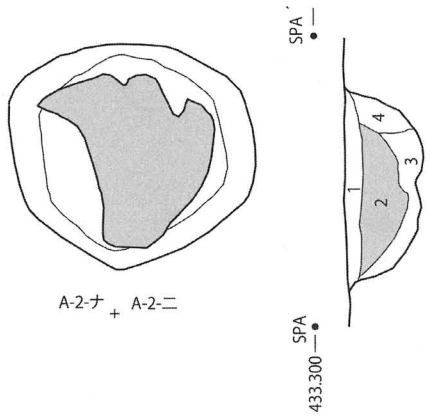
図―9　6号住居跡　S=1／60



図−10（1）　7号住居跡 S=1/60



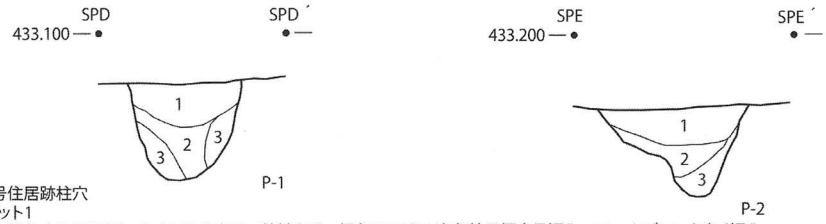
図−10（3）　7号住居跡 炉2　S=1/30



図−10（2）7号住居跡 炉1　S=1/30

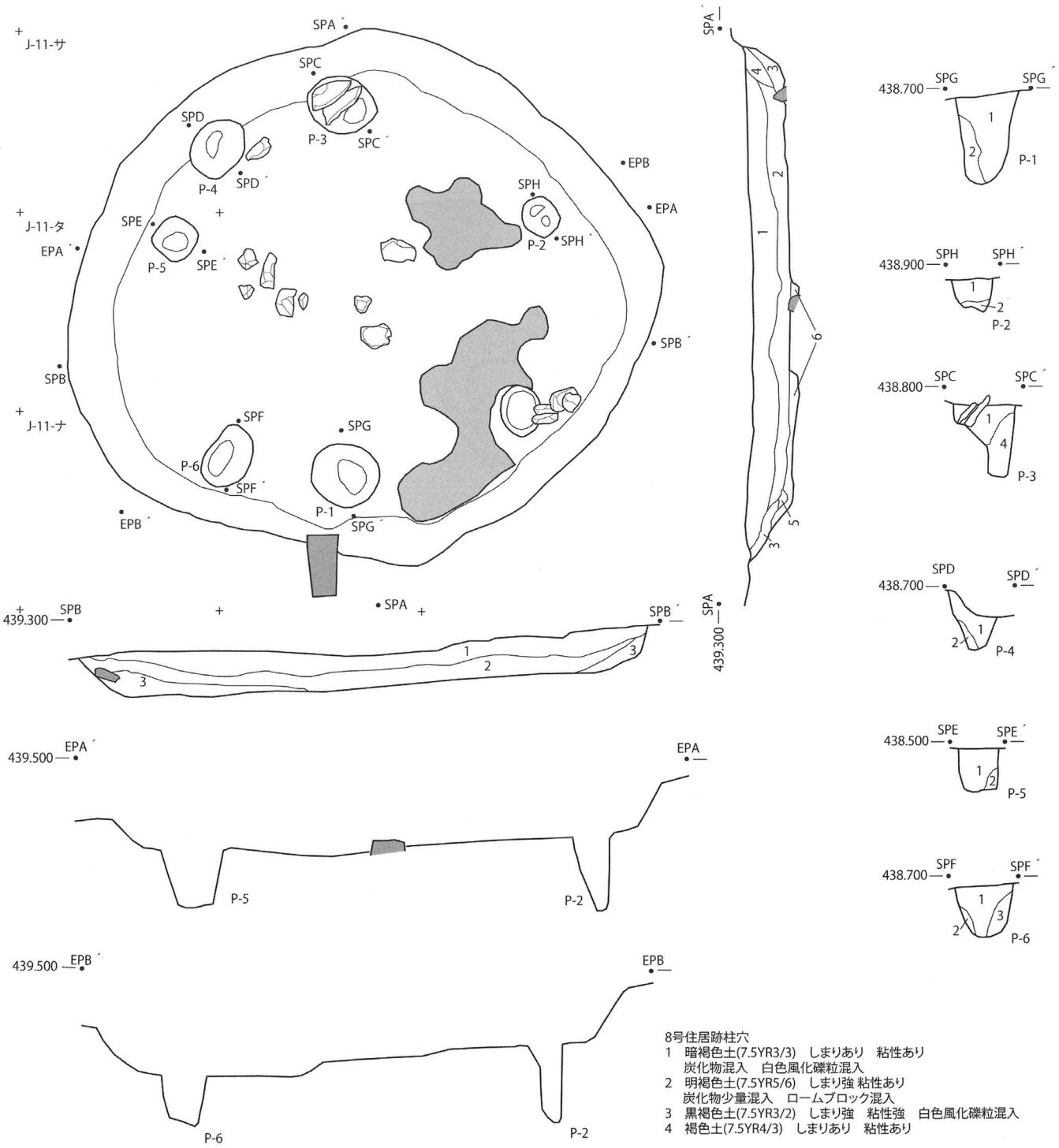
7号住居跡炉-1
1　灰褐色土(5YR4/2)　しまりややあり　粘性ややあり　2mm炭化物少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　1cm焼土ブロック多量混入　3mm焼土粒多量混入
2　明赤褐色土(2.5YR5/8)　しまりあり　粘性なし　暗褐色ブロックやや多く混入　焼土主体
3　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性ややあり　2mm炭化物極少量混入
　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　焼土ブロック少量混入
4　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性ややあり　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒子少量混入

7号住炉-2
1　黒褐色土(10YR3/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒子極少量混入　黄褐色ロームを少量含む
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　3〜5mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　白色粒子極少量混入　2〜5mm焼土粒やや多く混入
4　赤褐色土(2.5YR4/8)　しまりややあり　粘性なし　褐色土をブロック状に少量混入 焼土主体
5　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒少量混入　暗褐色ロームブロック極少量混入
6　黒褐色土(10YR3/2)　しまりやや弱い　粘性弱い　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　1〜2mm焼土粒子少量混入　暗褐色ロームをブロック状に少量混入　粘性失う
7　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりやや弱い　粘性弱い　2mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子極少量混入　5mm焼土粒子少量混入　被熱により粘性を失う



7号住居跡柱穴
ピット1
1　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　褐色スコリア、白色粒子極少量混入　ロームブロック多く混入
2　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　炭化物、色粒子極少量混入　ロームブロック少量混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　褐色スコリア、白色粒子極少量混入　ロームブロックやや多く混入
ピット2
1　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　炭化物、褐色スコリア、白色粒子極少量混入　ローム粒少量混入
2　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　褐色スコリア、白色粒子、ローム粒極少量混入
3　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりあり　粘性あり　褐色スコリア、白色粒子、ロームブロック混入

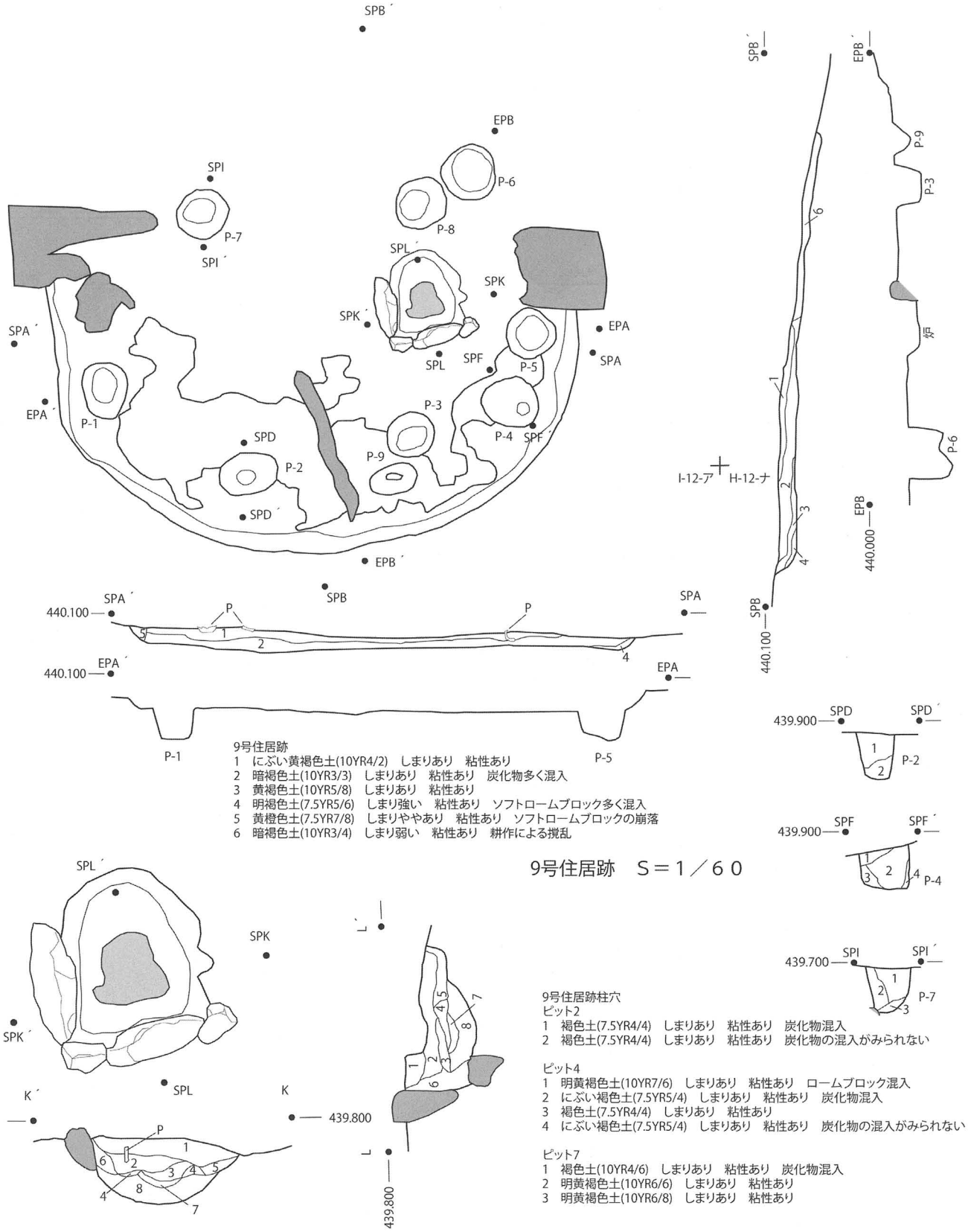
図−10（4）7号住居跡 柱穴　S=1/60



8号住居跡柱穴
1　暗褐色土(7.5YR3/3)　しまりあり　粘性あり
　炭化物混入　白色風化礫粒混入
2　明褐色土(7.5YR5/6)　しまり強 粘性あり
　炭化物少量混入　ロームブロック混入
3　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまり強　粘性強　白色風化礫粒混入
4　褐色土(7.5YR4/3)　しまりあり　粘性あり

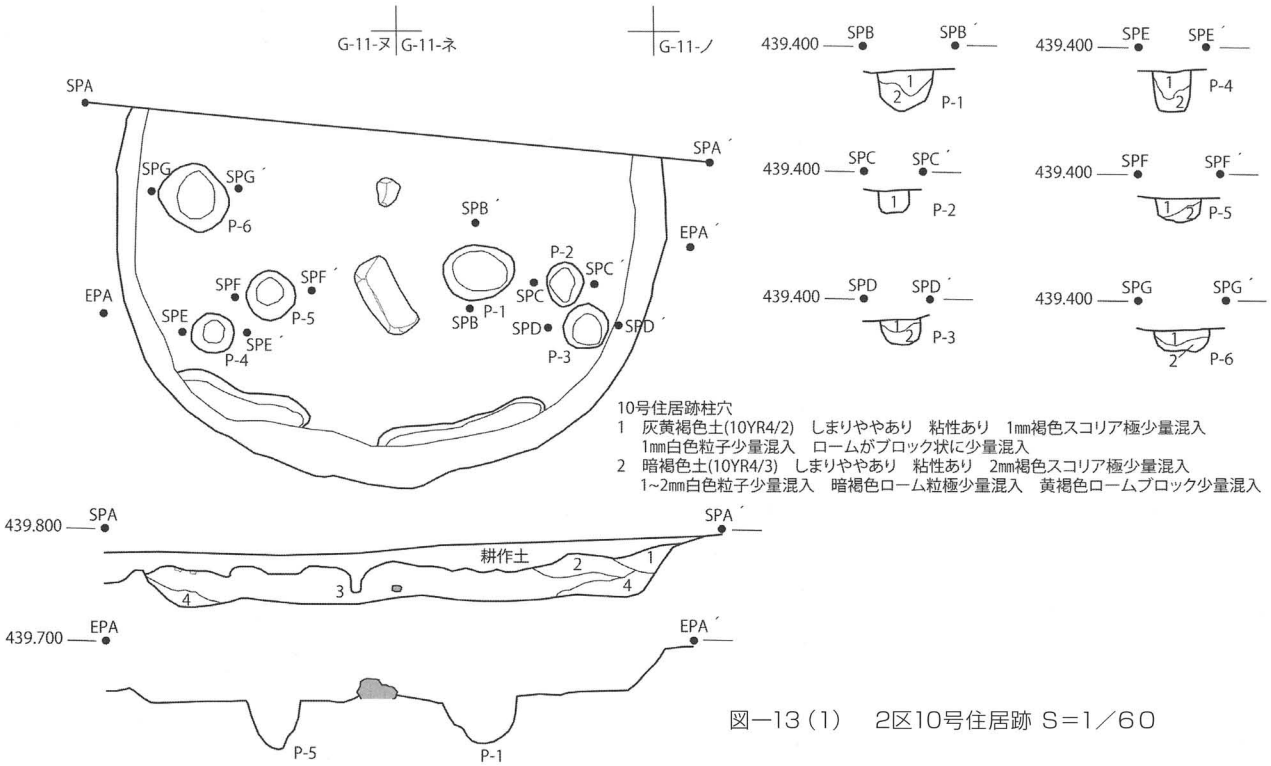
8号住居跡
1　暗褐色土(7.5YR3/3)　しまりあり　粘性あり
2　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまりあり　粘性あり
3　明褐色土(7.5YR5/6)　しまり強い　粘性あり
4　明褐色土(7.5YR5/8)　しまりあり　粘性あり　崩落に伴う堆積
5　黒褐色土(7.5YR2/2)　しまりやや弱い　粘性あり　周溝か
6　明褐色土(7.5YR5/8)　しまりあり　粘性あり　掘りすぎ部分

図―11　8号住居跡　S=1/60



9住居跡炉
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物粒極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒極少量混入
2　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物粒極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒子極少量混入
3　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性ややあり　2mm炭化物粒少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　2mm焼土粒少量混入
4　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりやや弱い　粘性やや弱い　2mm炭化物粒少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　焼土ブロックやや多く混入
5　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　褐色ロームブロック多く混入　炉石抜き残り跡か
6　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　被熱の痕跡がみられない
7　赤褐色土(2.5YR4/6)　カリカリ焼土
8　極暗赤褐色土(2.5YR2/2)　炭化物混入

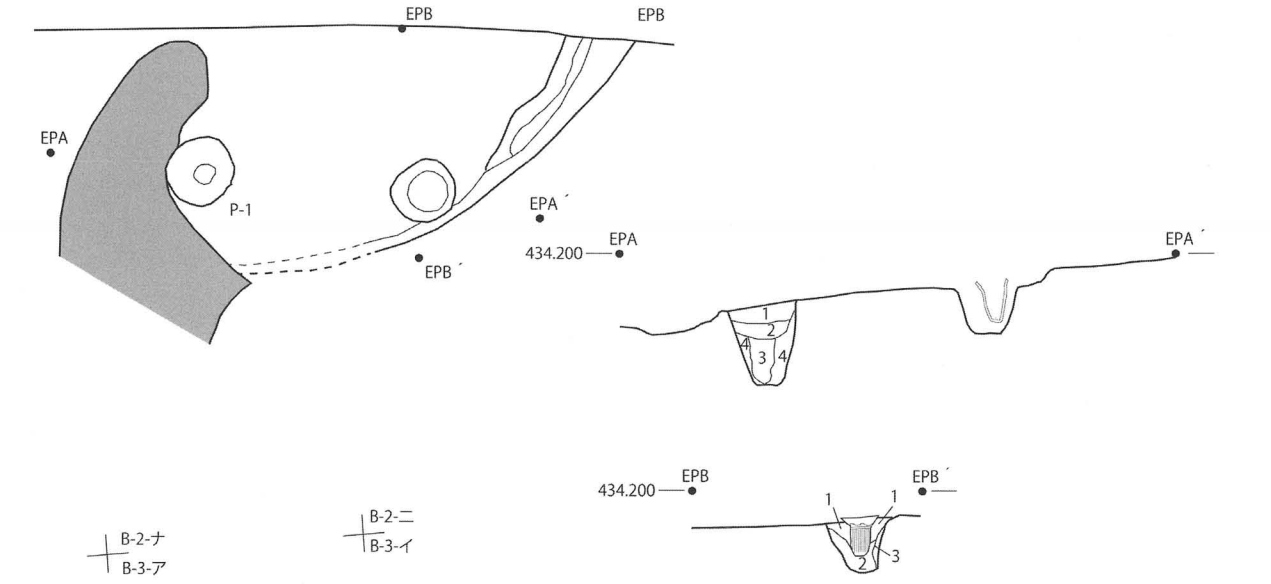
図―12　9号住居跡　炉跡 S=1／30



10号住居跡柱穴
1　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　1mm褐色スコリア極少量混入
　1mm白色粒子少量混入　ロームがブロック状に少量混入
2　暗褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入
　1~2mm白色粒子少量混入　暗褐色ローム粒極少量混入　黄褐色ロームブロック少量混入

図−13（1）　2区10号住居跡 S=1／60

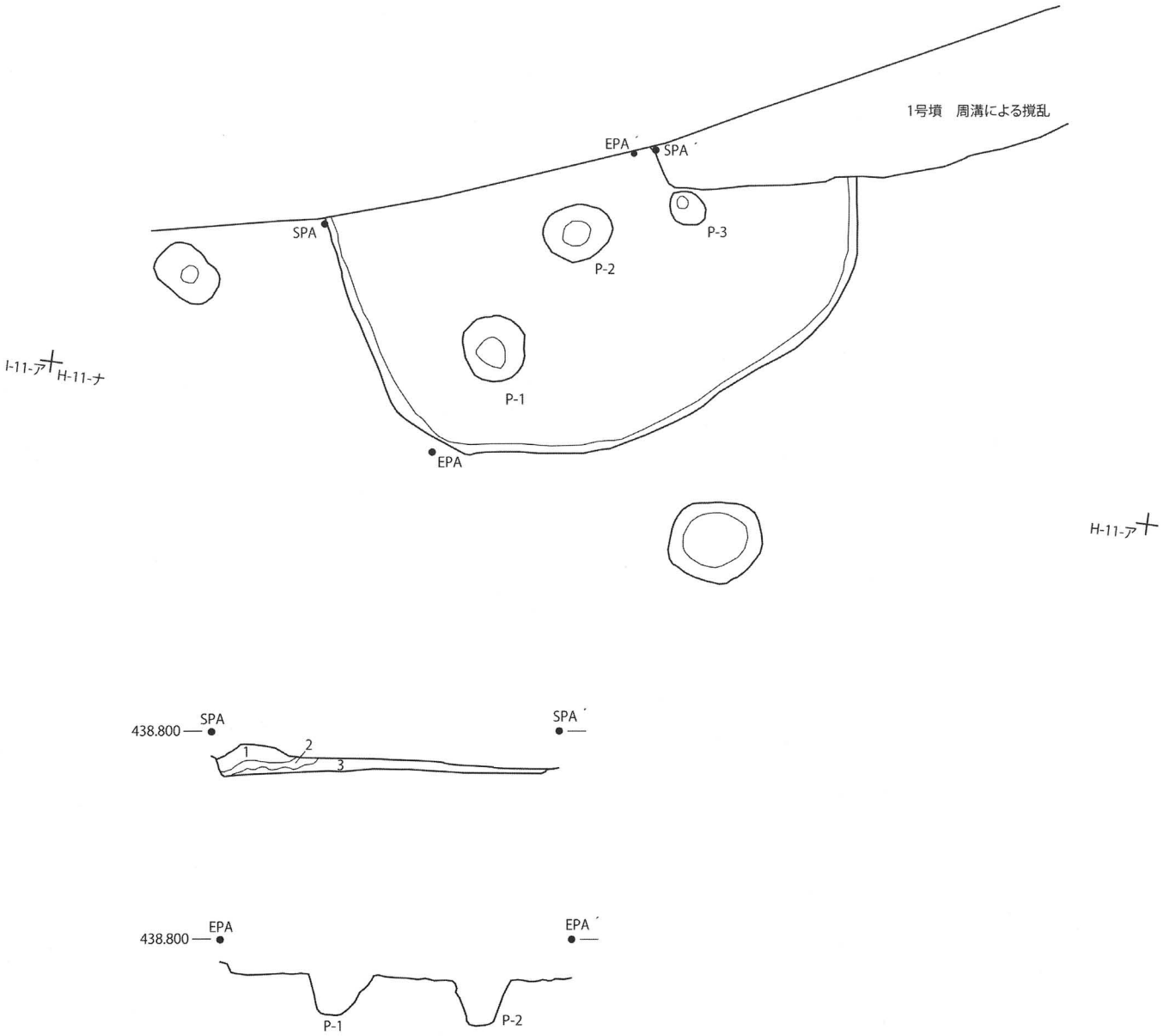
10号住居跡
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　褐色スコリア極少量混入　2mm白色粒子(風化礫片)少量混入　黄褐色ロームブロックやや多く混入
2　黒褐色土(10YR2/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　2mm白色粒子(風化礫片)少量混入
3　暗褐色土(3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　白色粒子(風化礫片)極少量混入
4　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　2mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　2mm白色粒子(風化礫片)少量混入　3cm小礫極少量混入



11号住居跡柱穴
ピット1
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　暗褐色ロームがブロック状に少量混入
　黄褐色ローム極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり(1層より弱い)　粘性あり　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入　暗褐色ロームがブロック状に少量混入
3　灰黄褐色土(10YR4/2)　しまりややあり　粘性あり　1mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入
4　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりあり　粘性あり　3mm炭化物極少量混入　2mm褐色スコリア極少量混入　1mm白色粒子極少量混入

11号住居ピット2
1　にぶい褐色土(7.5YR5/4)　しまりあり　粘性あり
2　褐色土(7.5YR4/3)　しまりあり　粘性あり
3　橙色土(7.5YR)　しまりあり　粘性あり

図−13（2）　1区11号住居跡　S=1／60



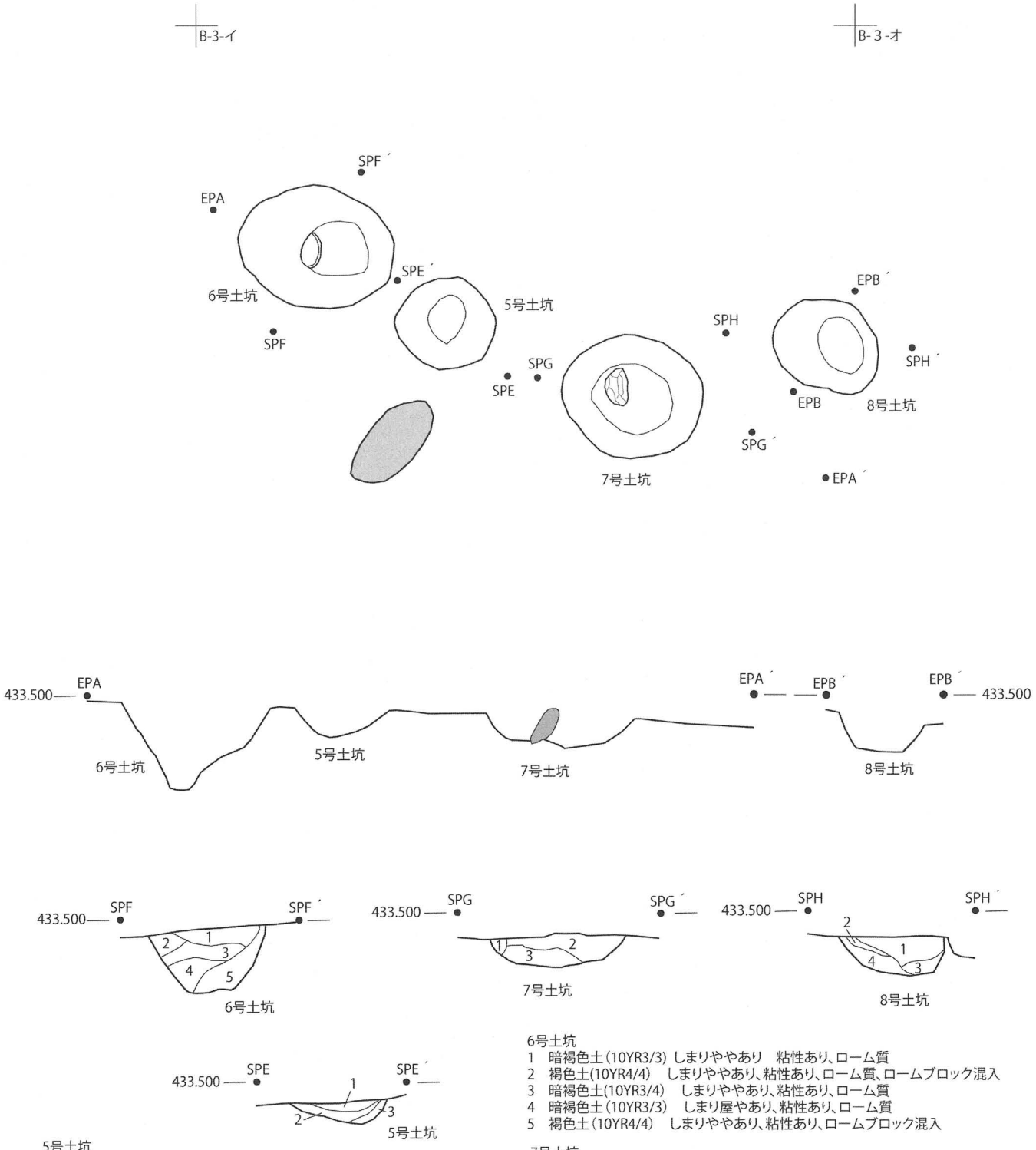
13号住居セクション
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまり弱い　粘性ややあり　古墳造成時の影響を受け、混入粒子が粗く、全体にロームブロックが混入。
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりあり　粘性あり　炭化物多く混入　ロームブロック混入
3　黒褐色土(10YR2/3)　しまりややあり　粘性あり　炭化物混入　ロームブロック混入

図−14　13号住居跡 S=1／60

1号墳　SPA—SPA´
1　黒色土(10YR2/1)　しまりややあり　粘性ややあり　5～10㎜黒色スコリア多量混入
　2㎜褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入
2　黒褐色土(10YR2/2)　しまりややあり　粘性ややあり　5㎜黒色スコリア少量混入
　1～2㎜褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入
3　黒褐色土(10YR2/2)　しまりややあり　粘性ややあり　5～10㎜黒色スコリアやや多く混入
　1～2㎜褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入
4　黒褐色土(10YR3/1)　しまりややあり　粘性ややあり　5㎜黒色スコリア極少量混入
　2㎜褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入　5㎜黄褐色ローム粒極少量混入
5　黒褐色土(10YR3/2)　しまりあり　粘性ややあり　5㎜炭化物極少量混入　5㎜黒色スコリア
　少量混入　2㎜褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入　ローム土が均質に混ざる
6　黒褐色土(10YR3/1)　しまりやや強い　粘性ややあり　5㎜黒色スコリア極少量混入
　2㎜褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入　黄褐色ローム少量混入
7　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性ややあり　5㎜炭化物極少量混入
　1～2㎜褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極小量混入　ロームを均質に多く含む

EPA—EPA´
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりやや弱い　粘性やや弱い　2㎜褐色スコリア極少量混入
　1㎜白色粒子極少量混入　黄褐色ロームブロックやや多く混入　人頭大の礫が多量に混入
　スコリアを多く含む黒褐色土がブロック状に少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性ややあり　2㎜褐色スコリア極少量混入
　1㎜白色粒子極少量混入　黒色スコリア少量混入　黄褐色ロームがブロック状に少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2㎜褐色スコリア極少量混入
　1㎜白色粒子極少量混入　暗褐色土がブロック状に少量混入

図−15　1号墳周溝 S=1/60



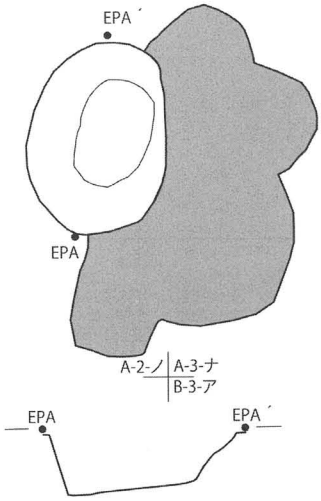
6号土坑
1　暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり　粘性あり、ローム質
2　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり、粘性あり、ローム質、ロームブロック混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり、粘性あり、ローム質
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまり屋やあり、粘性あり、ローム質
5　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり、粘性あり、ロームブロック混入

5号土坑
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり、粘性あり、ローム質
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり、粘性あり、ロームブロック少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり、粘性あり、ロームブロック均等に混入

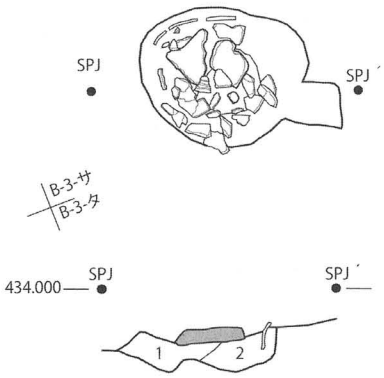
7号土坑
1　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり、粘性あり、ロームブロック多く混入、崩落土か
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり、粘性あり、ロームブロック、炭化物少量混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまり屋やあり、粘性あり、ロームブロック、炭化物少量混入

8号土坑
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり、粘性あり、炭化物少量混入
2･3　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり、粘性あり、
4　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり、粘性あり、ローム土を多く混入

図−16　1区土坑　S=1／60

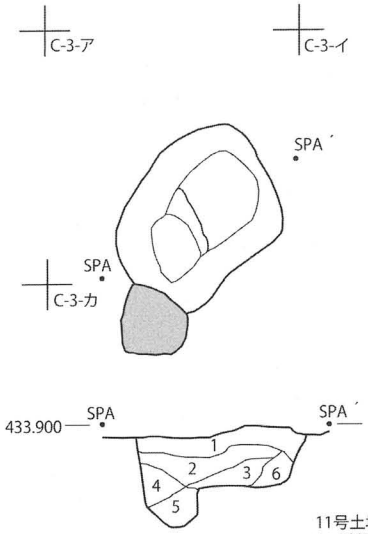


図−17（1）　3号土坑



図−17（2）　10号土坑 S＝1／30

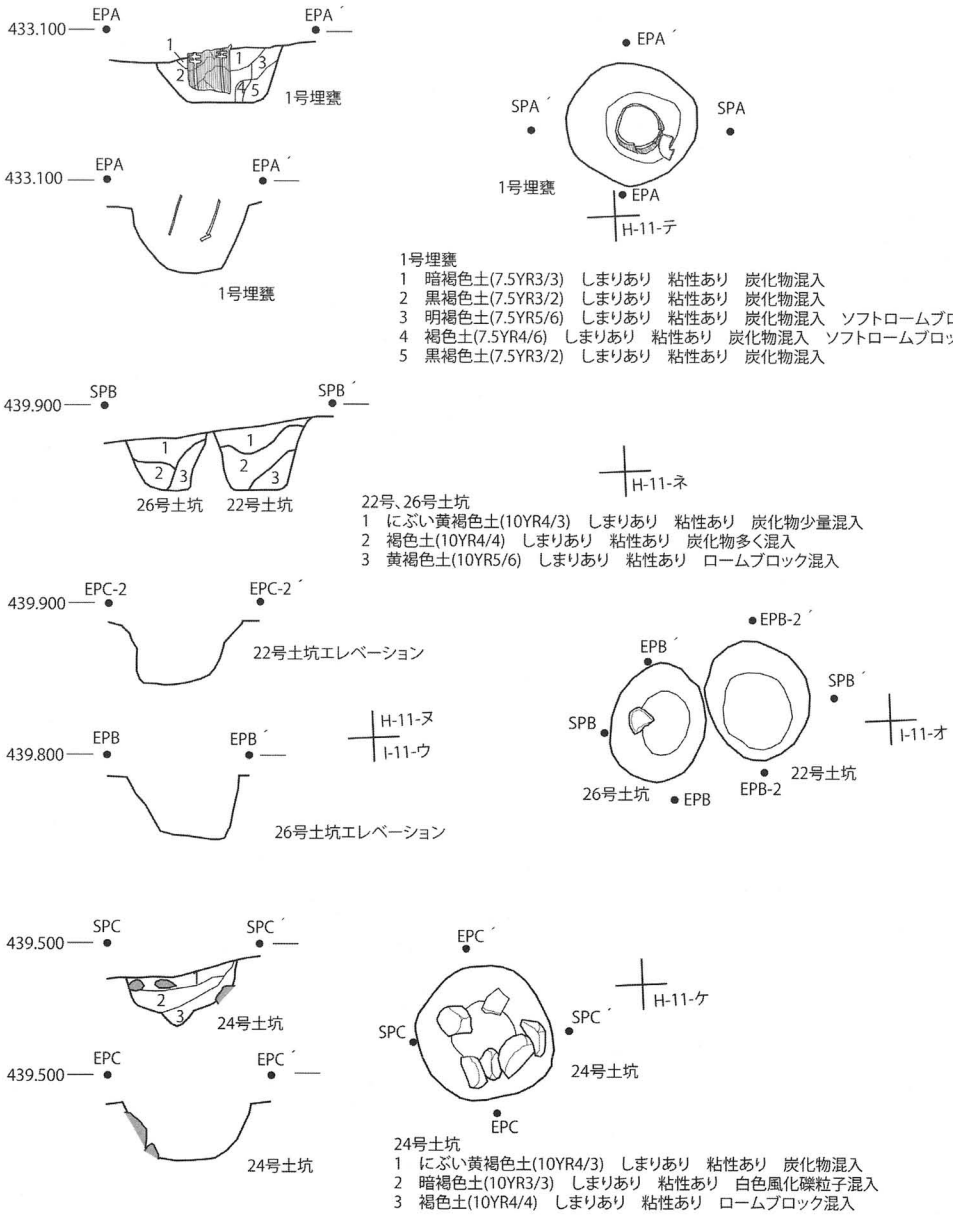
10号土坑
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2㎜赤褐色粒子極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　1㎜炭化物極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入　5㎜〜1cmロームブロック少量混入



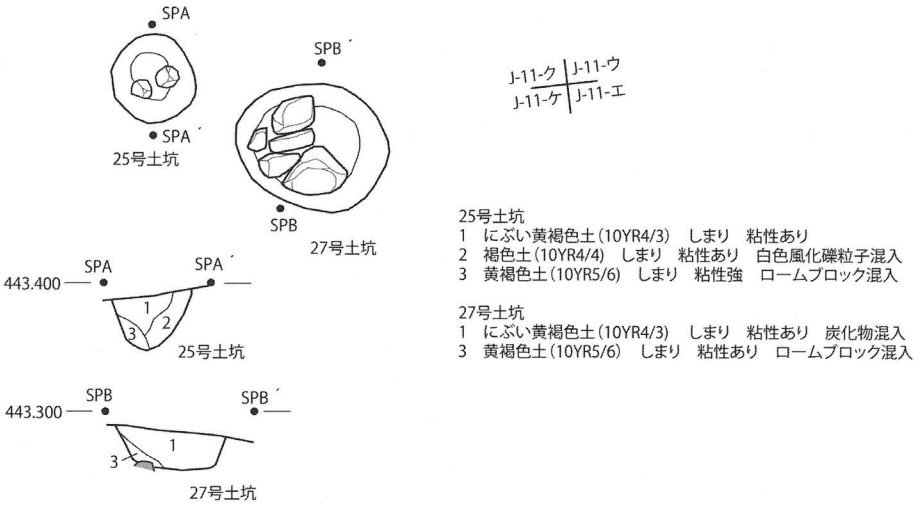
図−17（3）　11号土坑

11号土坑
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまりややあり　粘性あり　2〜3㎜赤褐色スコリア極少量混入
　1㎜白色粒子極少量混入　5㎜〜1cmロームブロック極少量混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2㎜炭化物極少量混入　2㎜赤褐色スコリア極少量混入
　1㎜白色粒子極少量混入　ロームブロック少量混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまりややあり　粘性あり　2㎜赤褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入
4　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　しまりややあり　粘性あり　3㎜炭化物極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入
　ロームが均質に混入
5　暗褐色土(10YR3/4)　しまりややあり　粘性あり　2㎜赤褐色スコリア極少量混入　1㎜白色粒子極少量混入
　褐色ロームをブロック状に少量混入
6　にぶい黄褐色土(10YR5/4)　しまりややあり　粘性あり　2㎜炭化物極少量混入　2㎜赤褐色スコリア極少量混入
　1㎜白色粒子極少量混入　地山部分

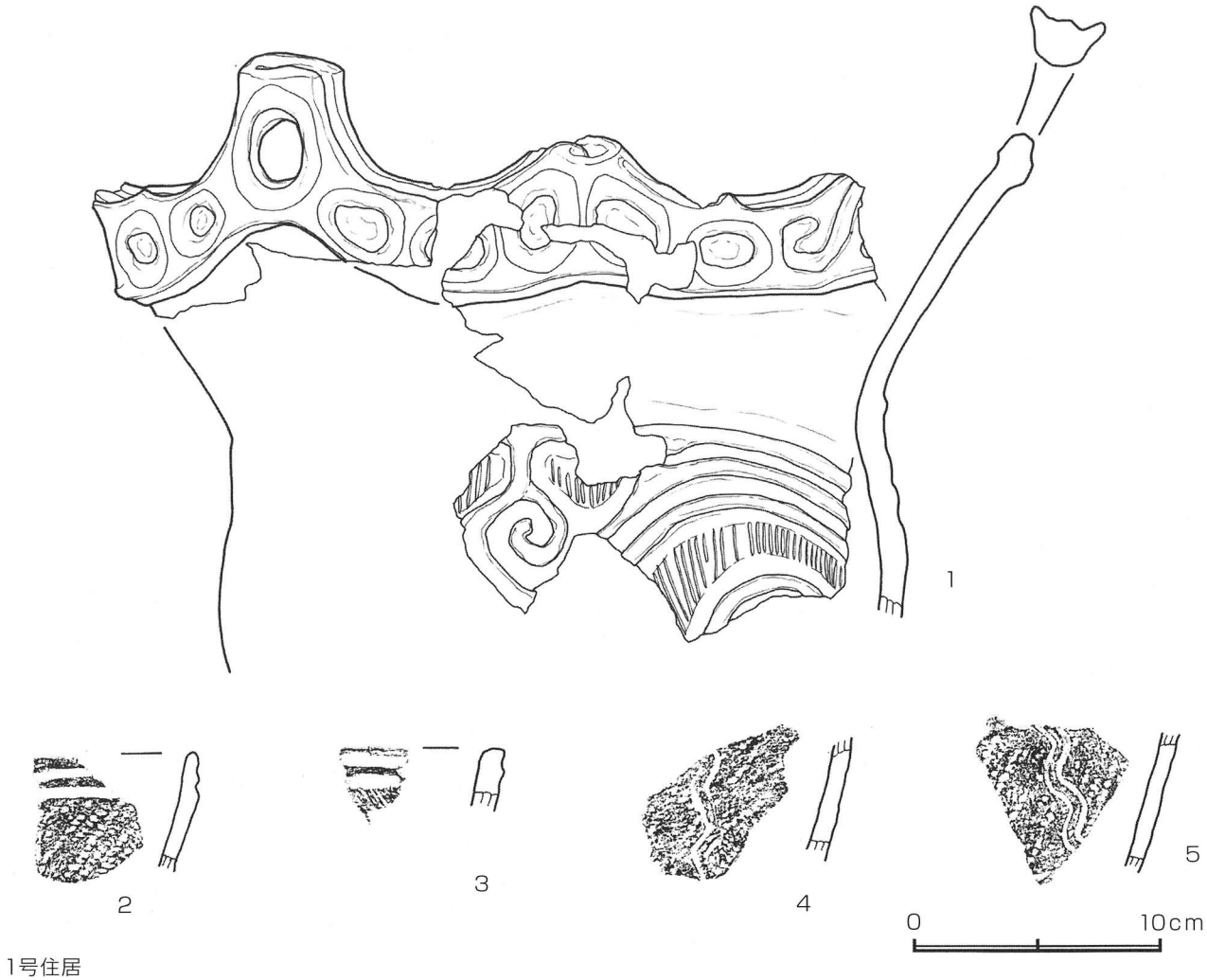
図−17　1区各土坑　S＝1／6



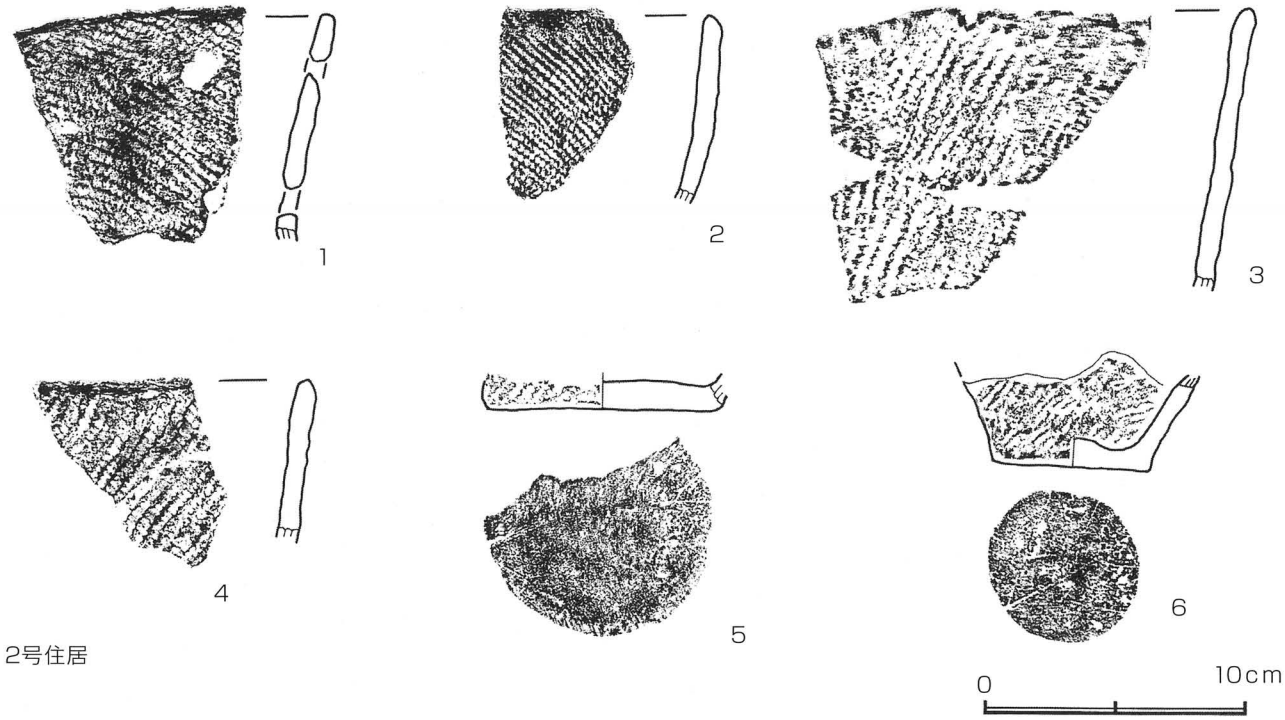
図－18（1）　2区22号、24号、26号土坑、1号埋甕 S＝1／60



図－18（2）　2区25号、27号土坑 S＝1／60

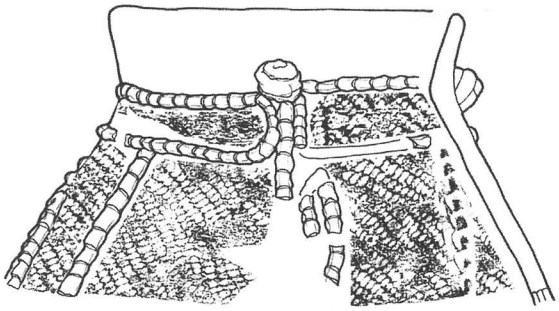


1号住居

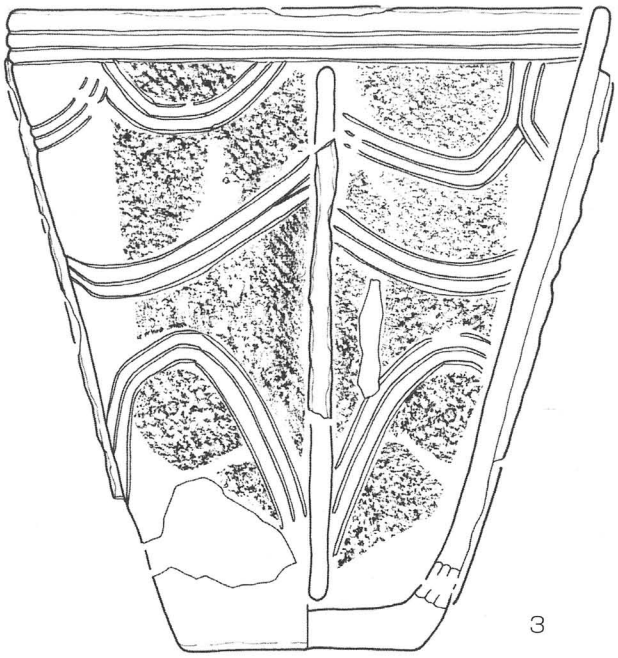


2号住居

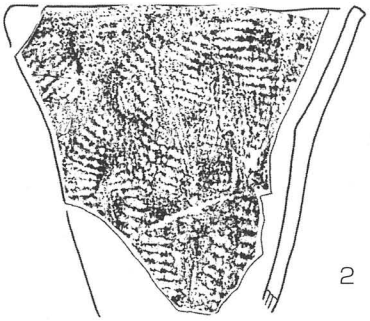
第19図　1号住居・2合住居跡出土遺物



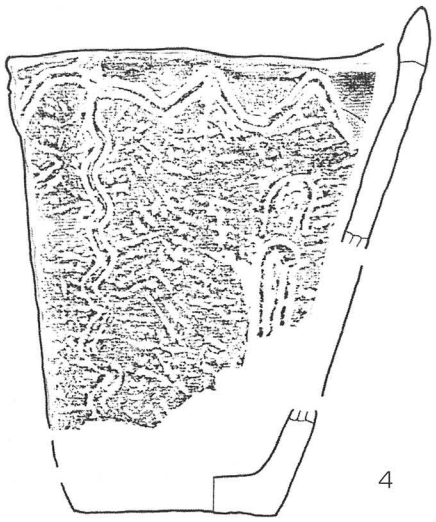
1



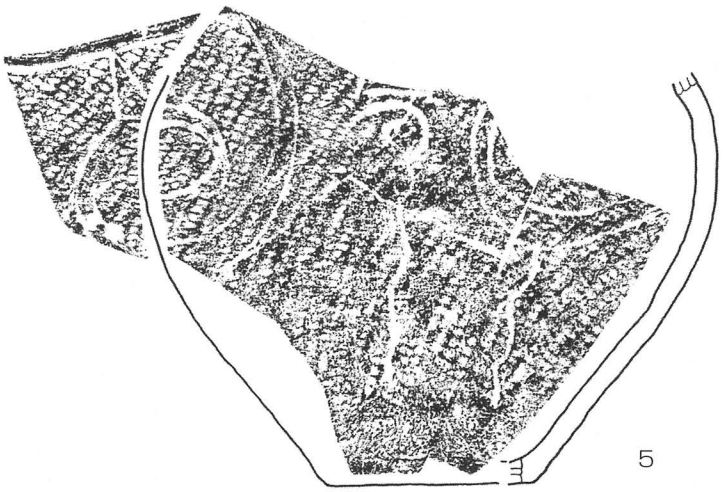
3



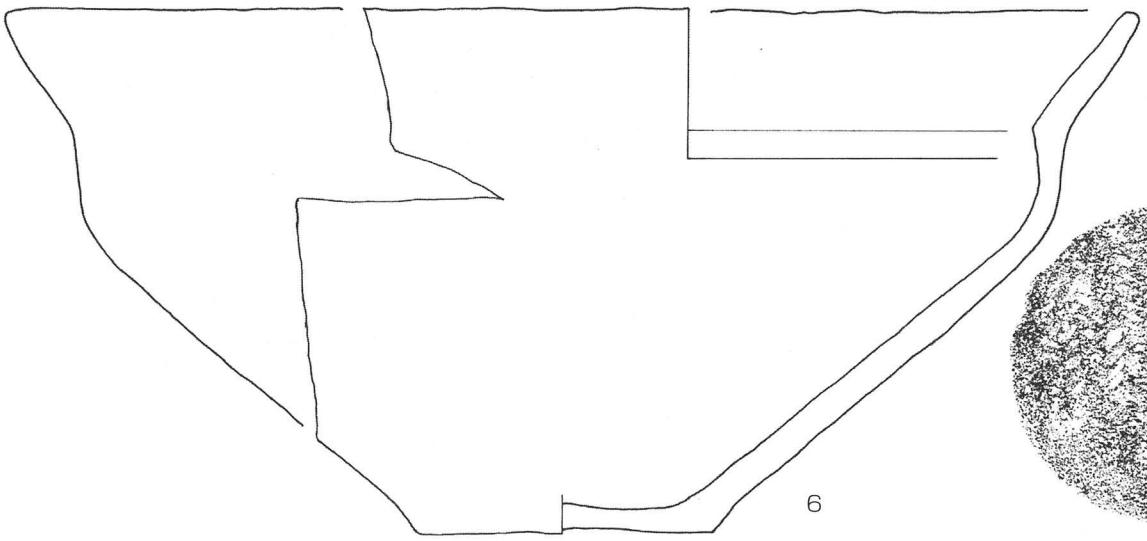
2



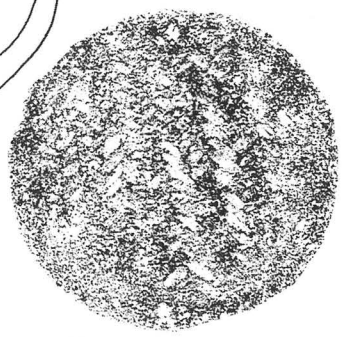
4



5

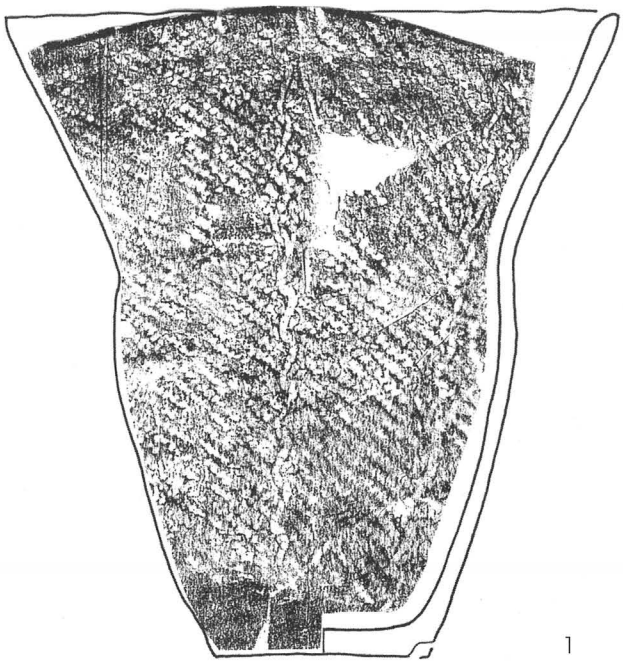


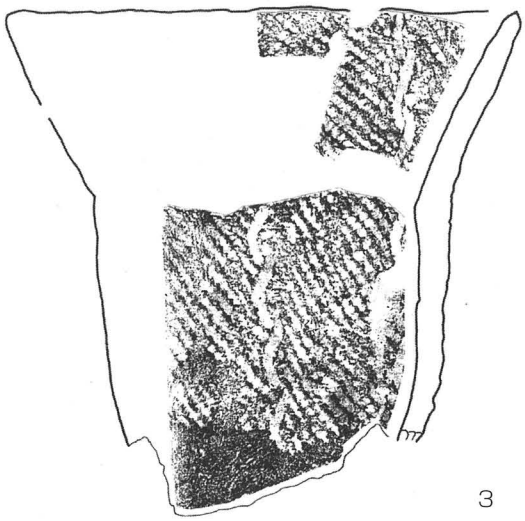
6

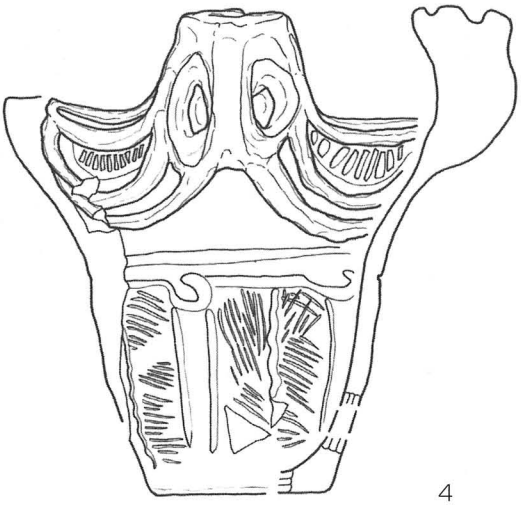


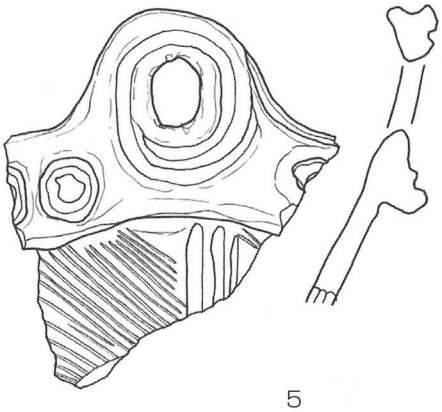
0　10cm

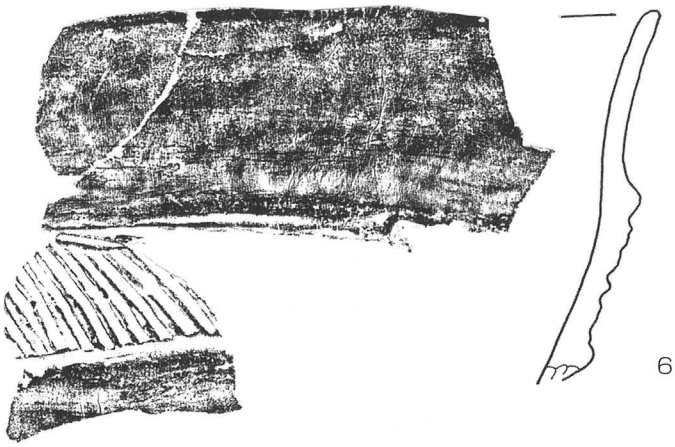
第20図　3号住居跡出土遺物





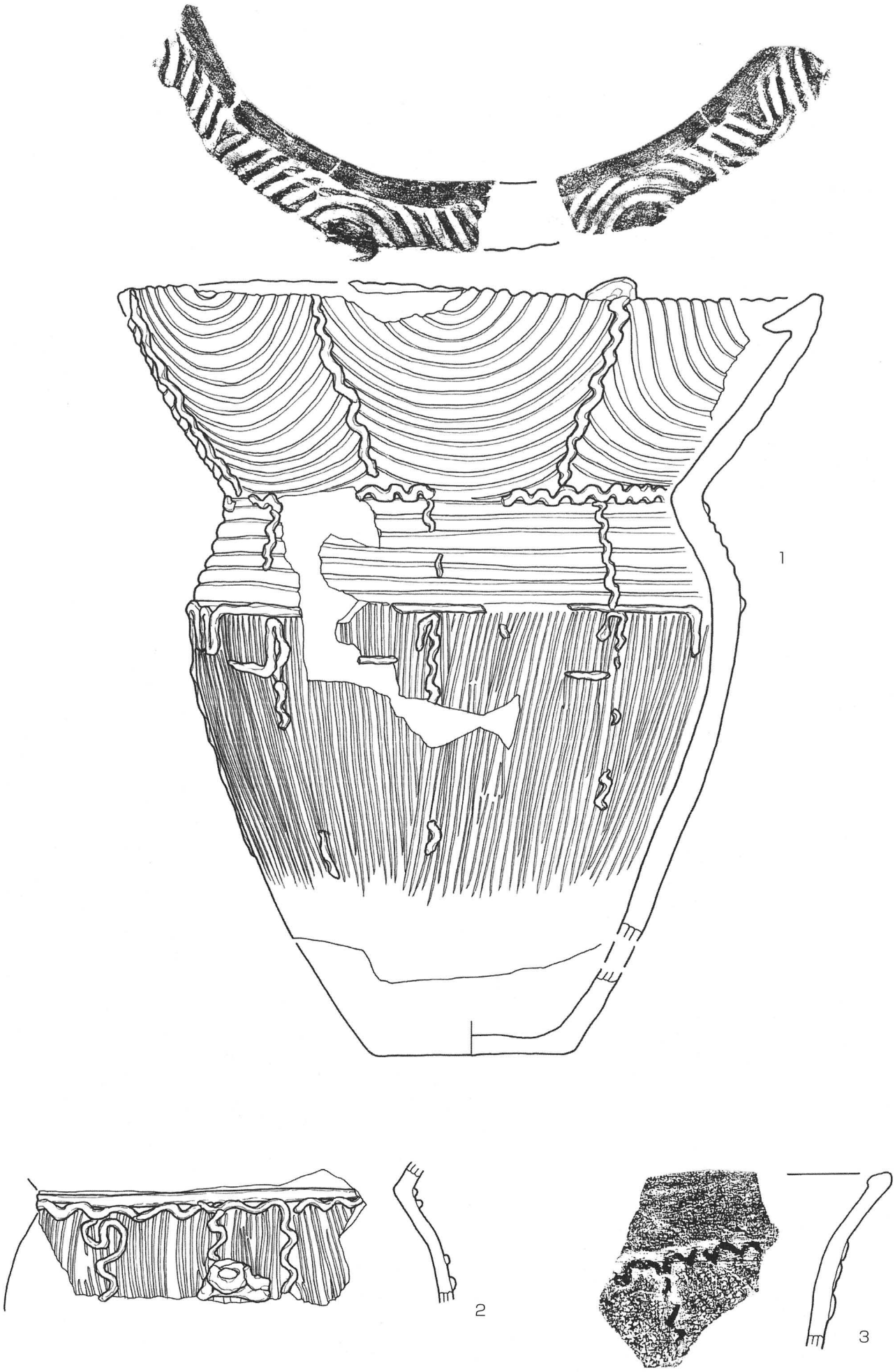




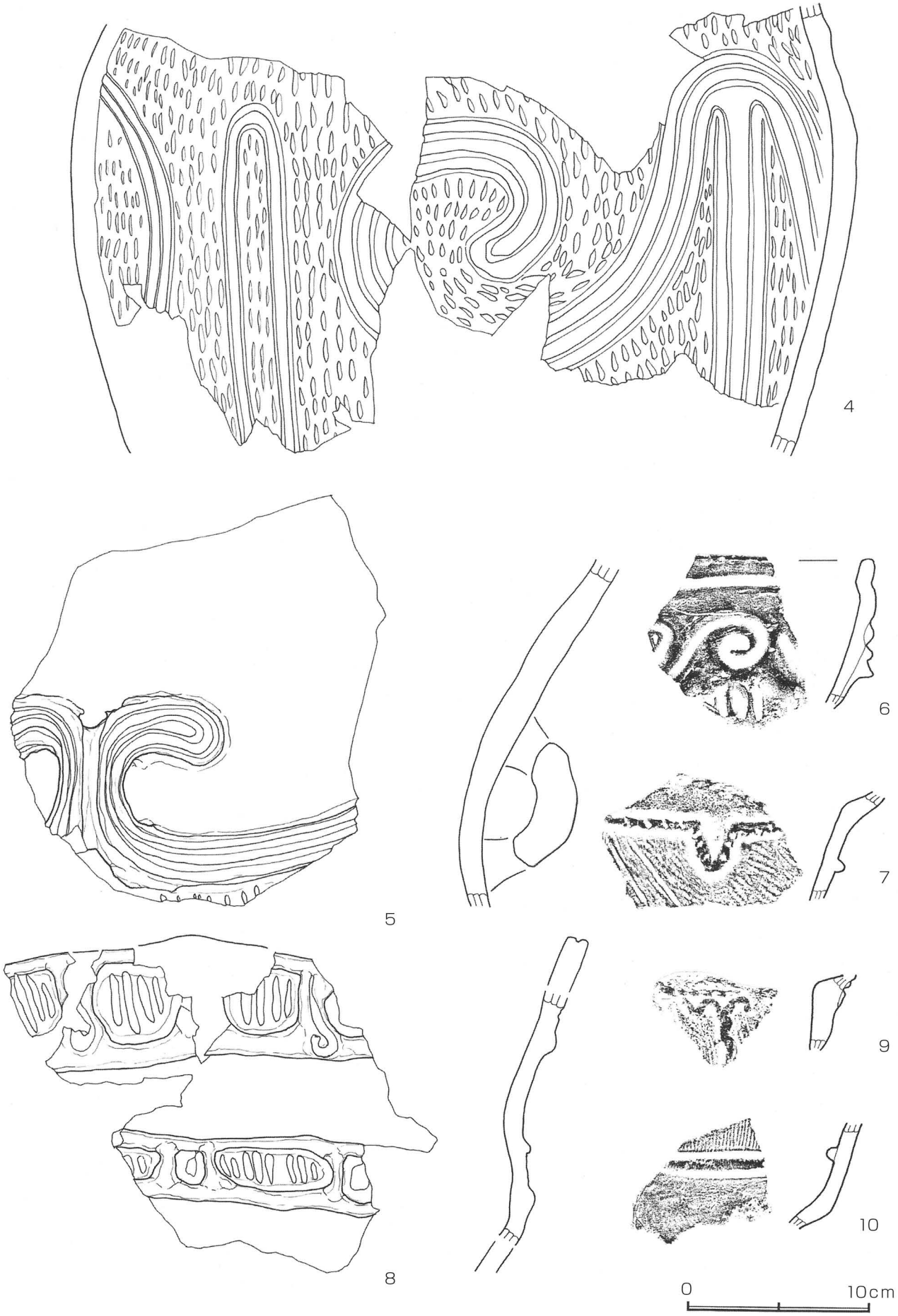


0 10cm

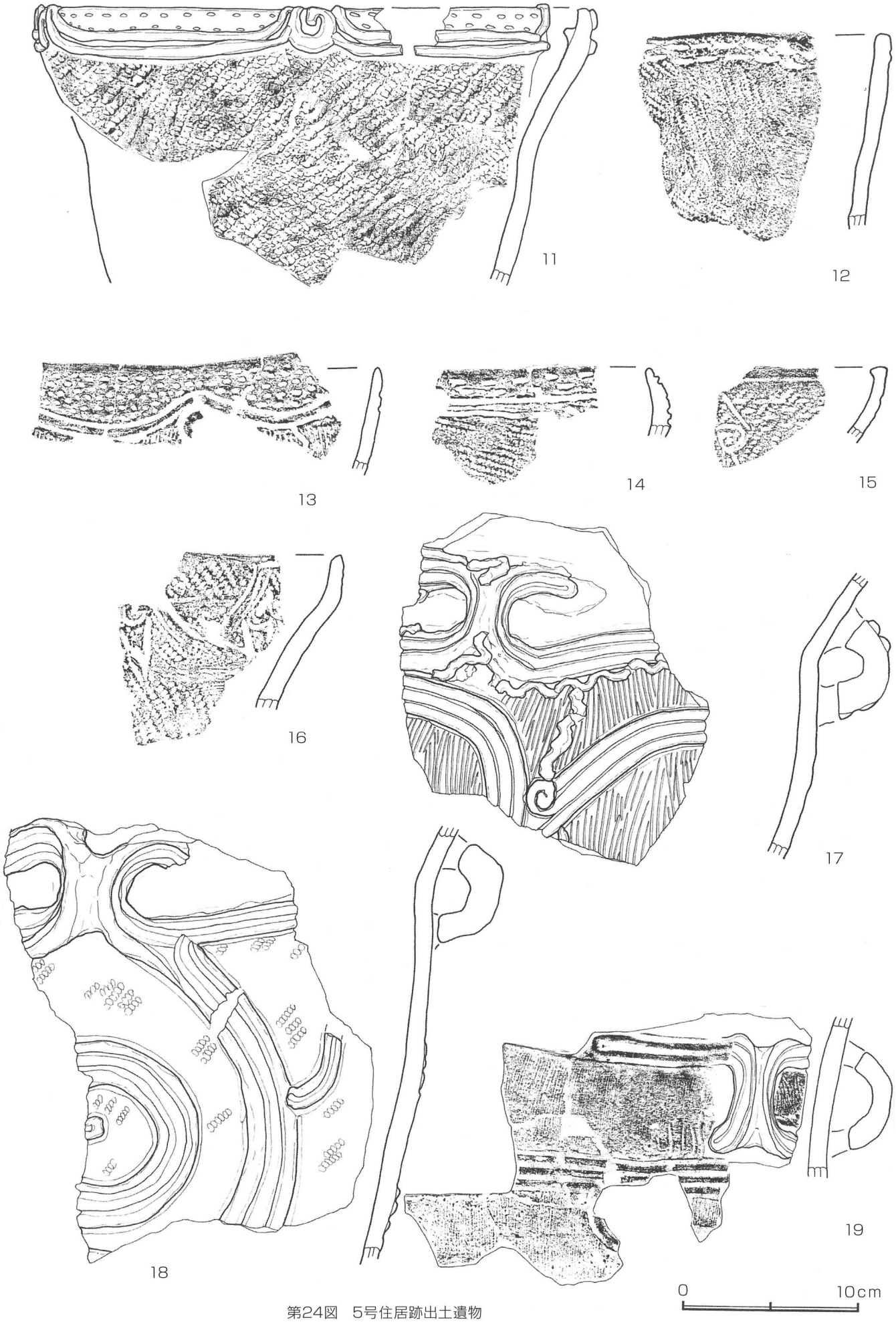
第21図　4号住居跡出土遺物



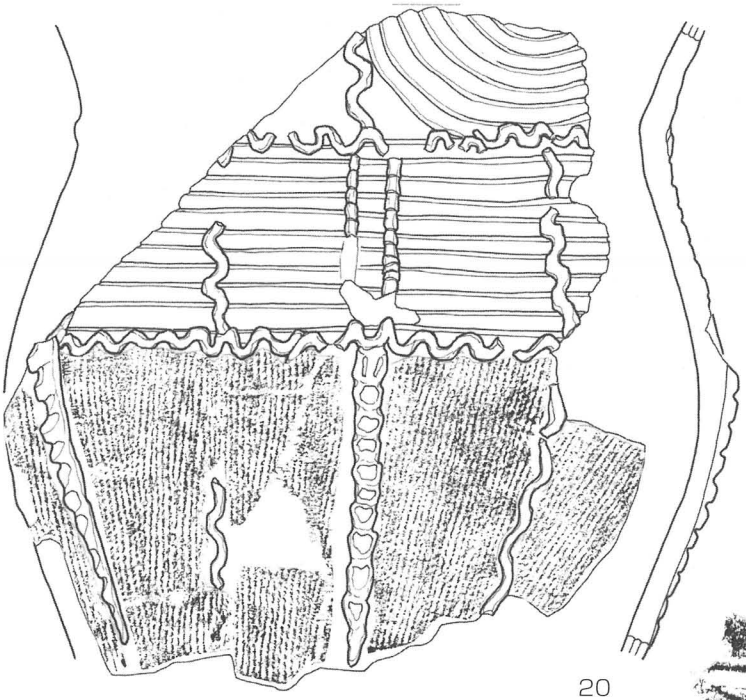
第22図　5号住居跡出土遺物

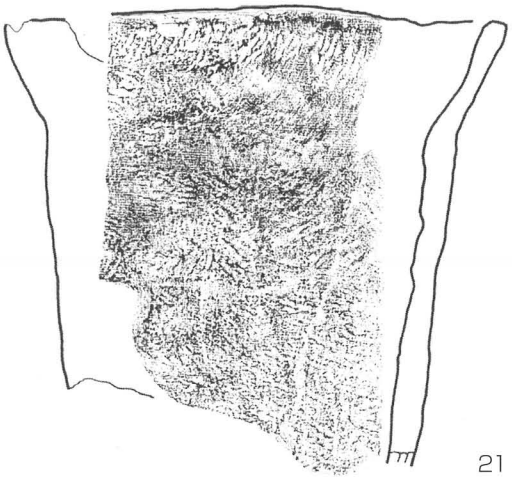


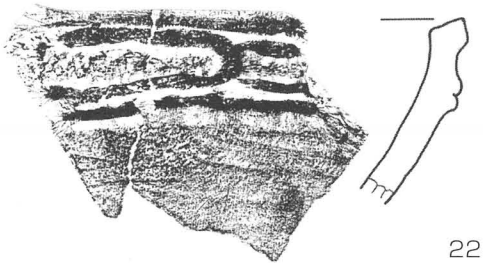
第23図　5号住居跡出土遺物

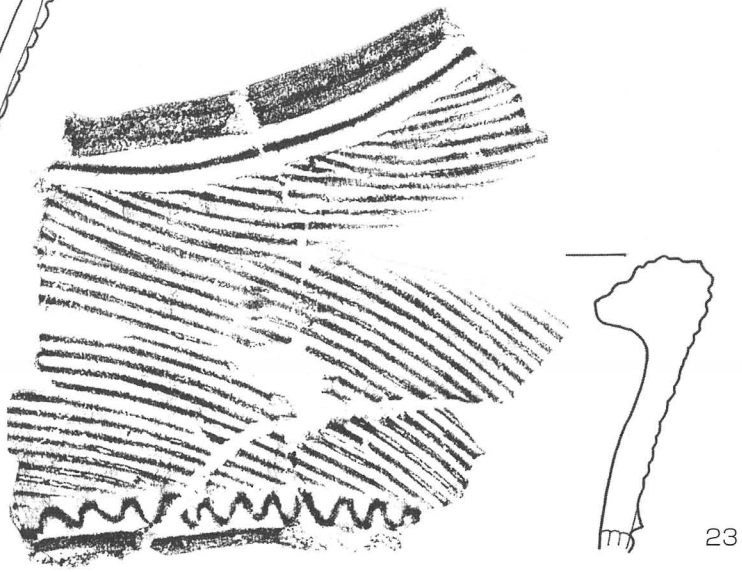


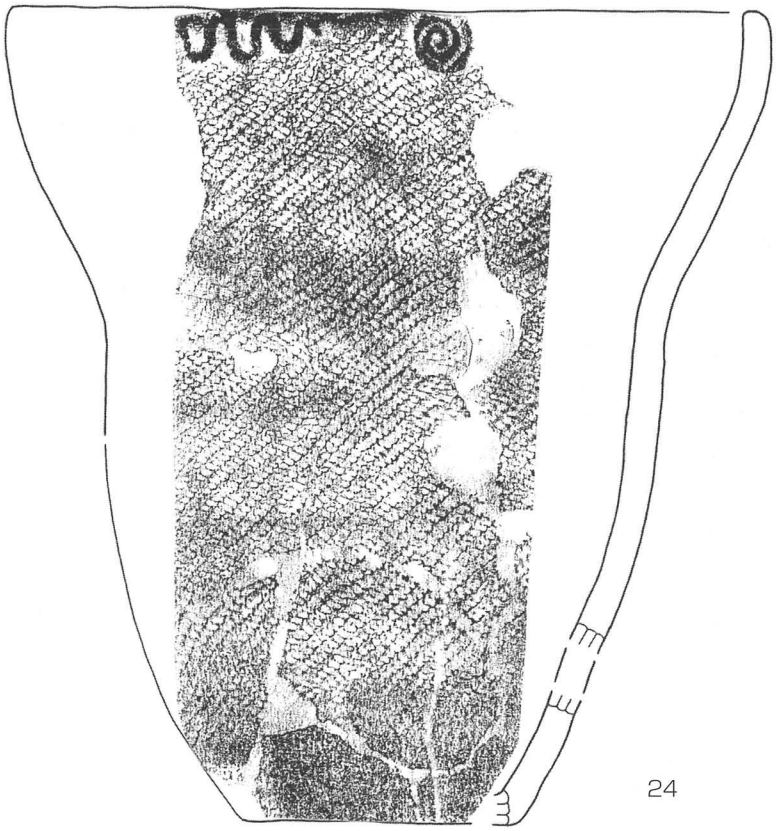
第24図　5号住居跡出土遺物

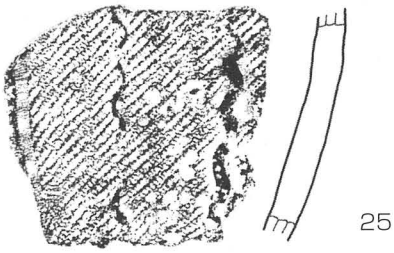


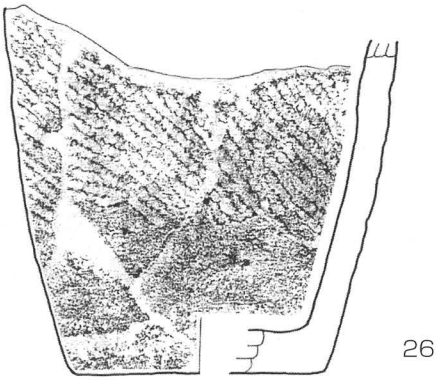






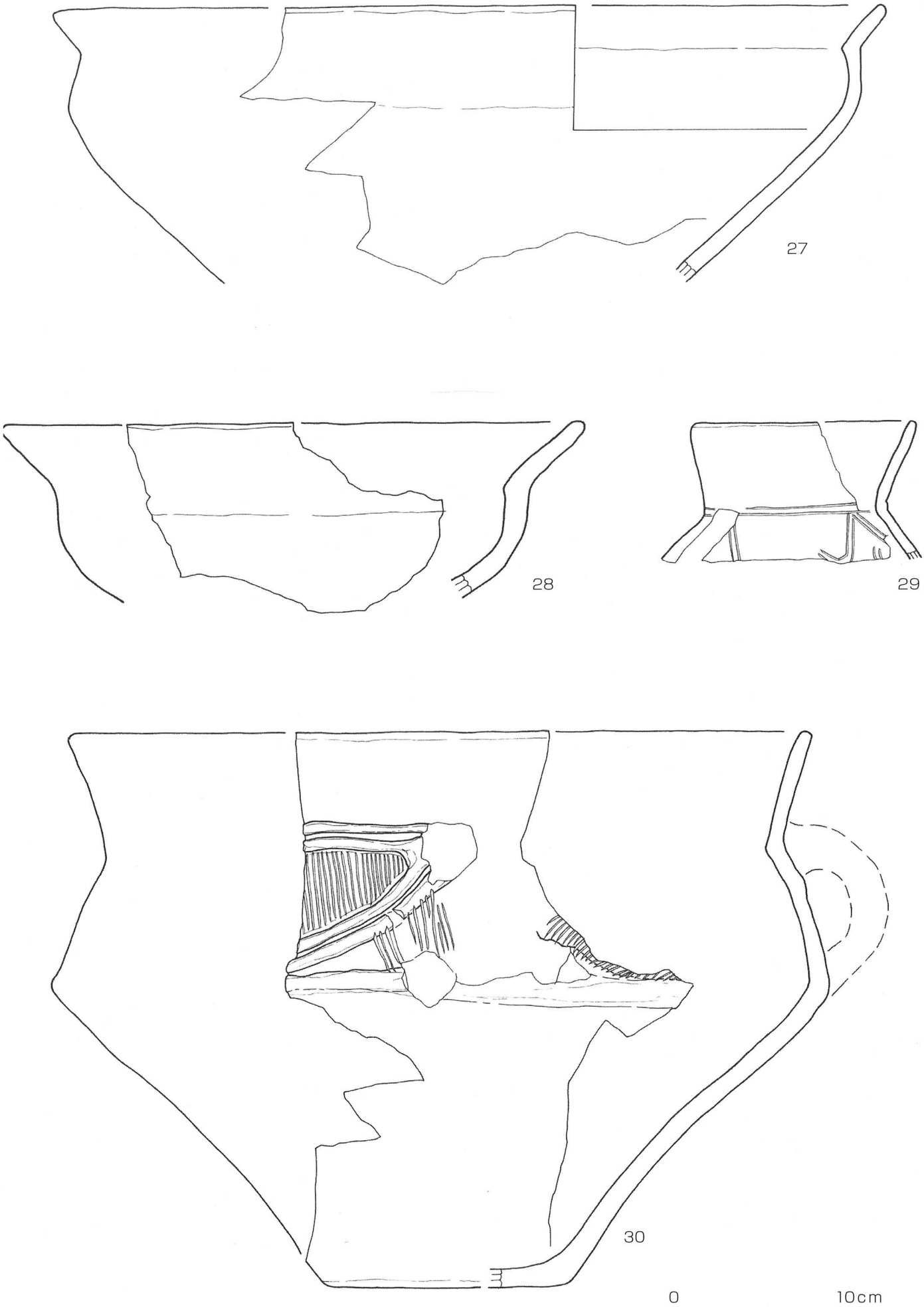




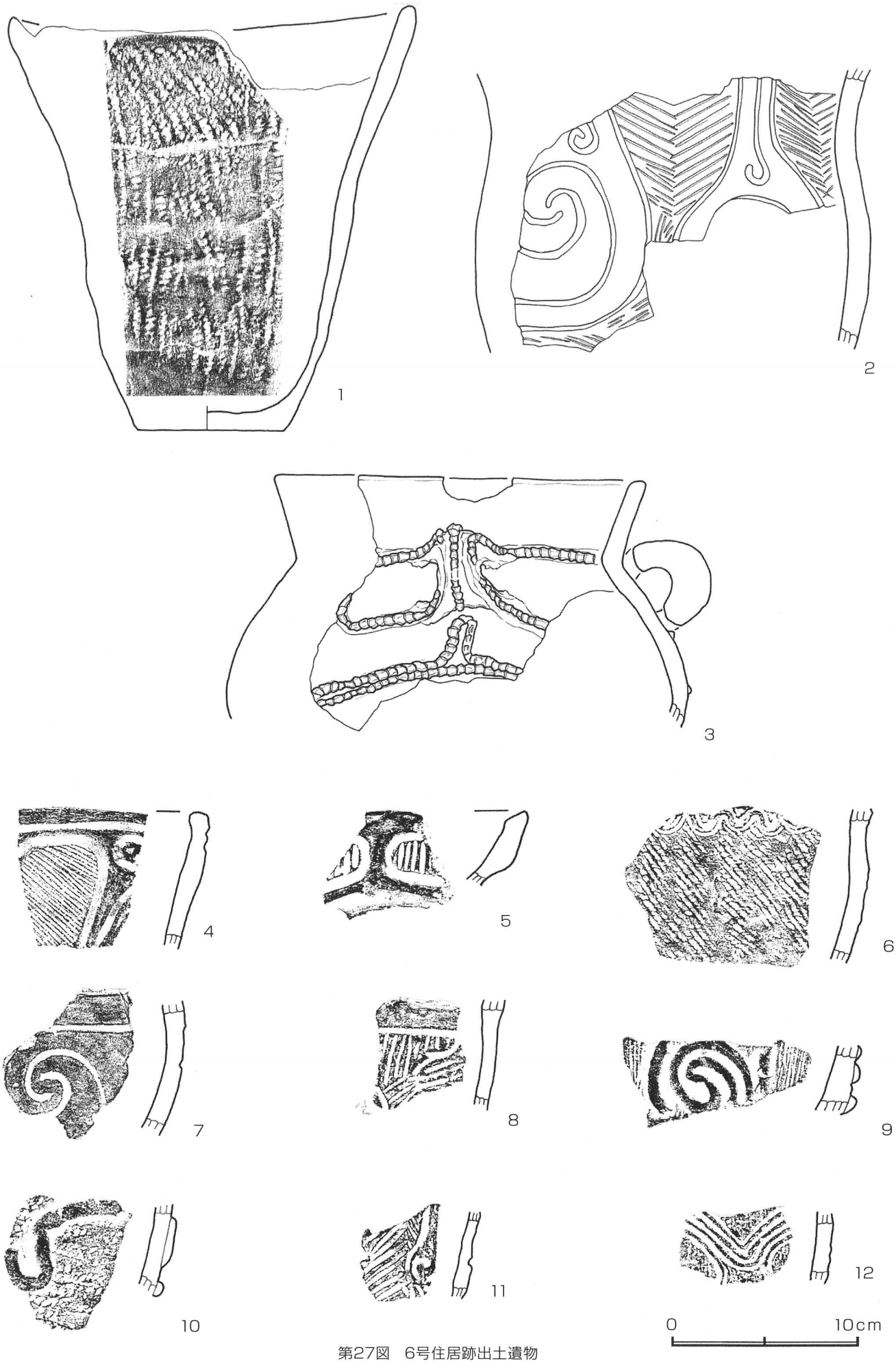


第25図　5号住居跡出土遺物

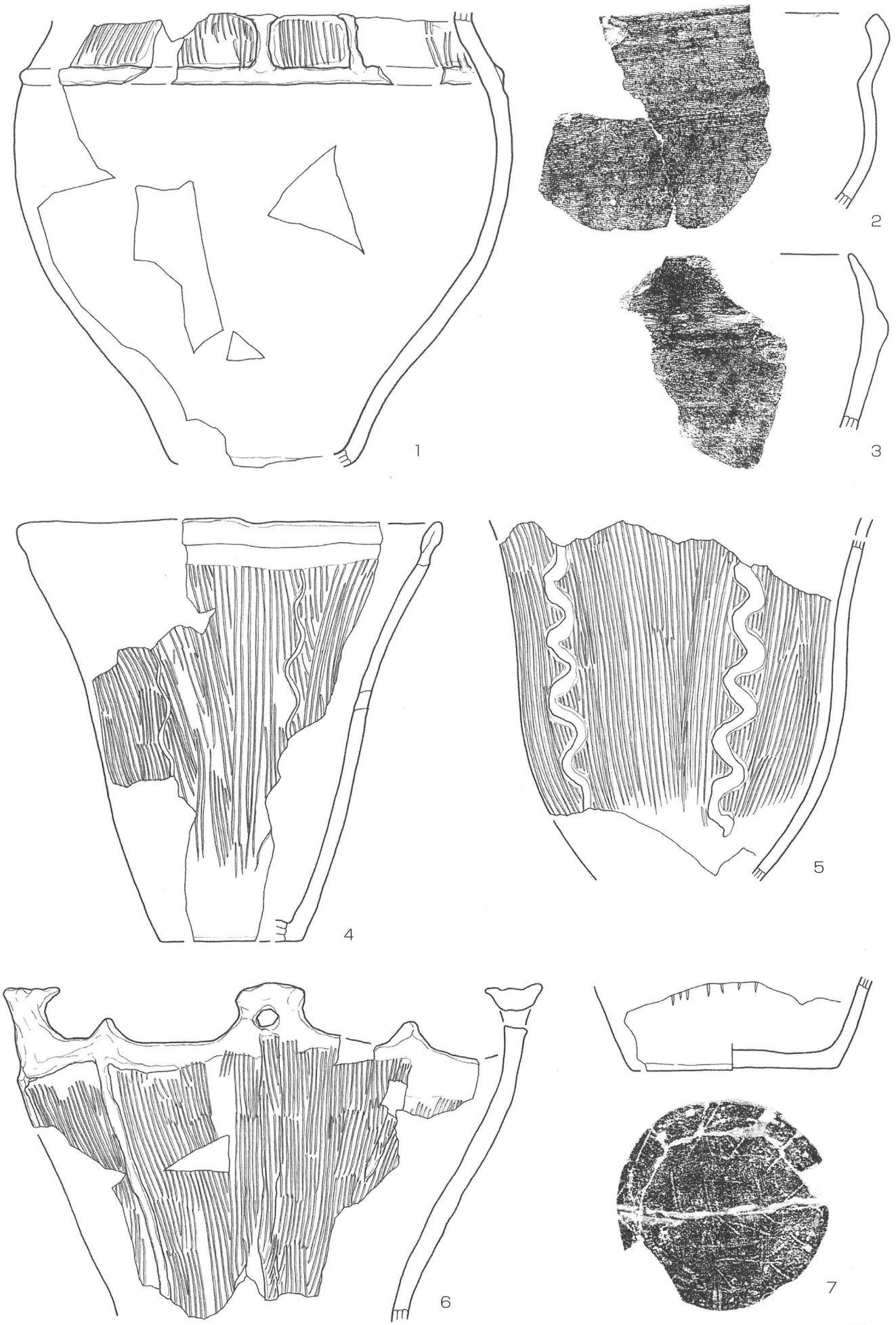
0　10cm



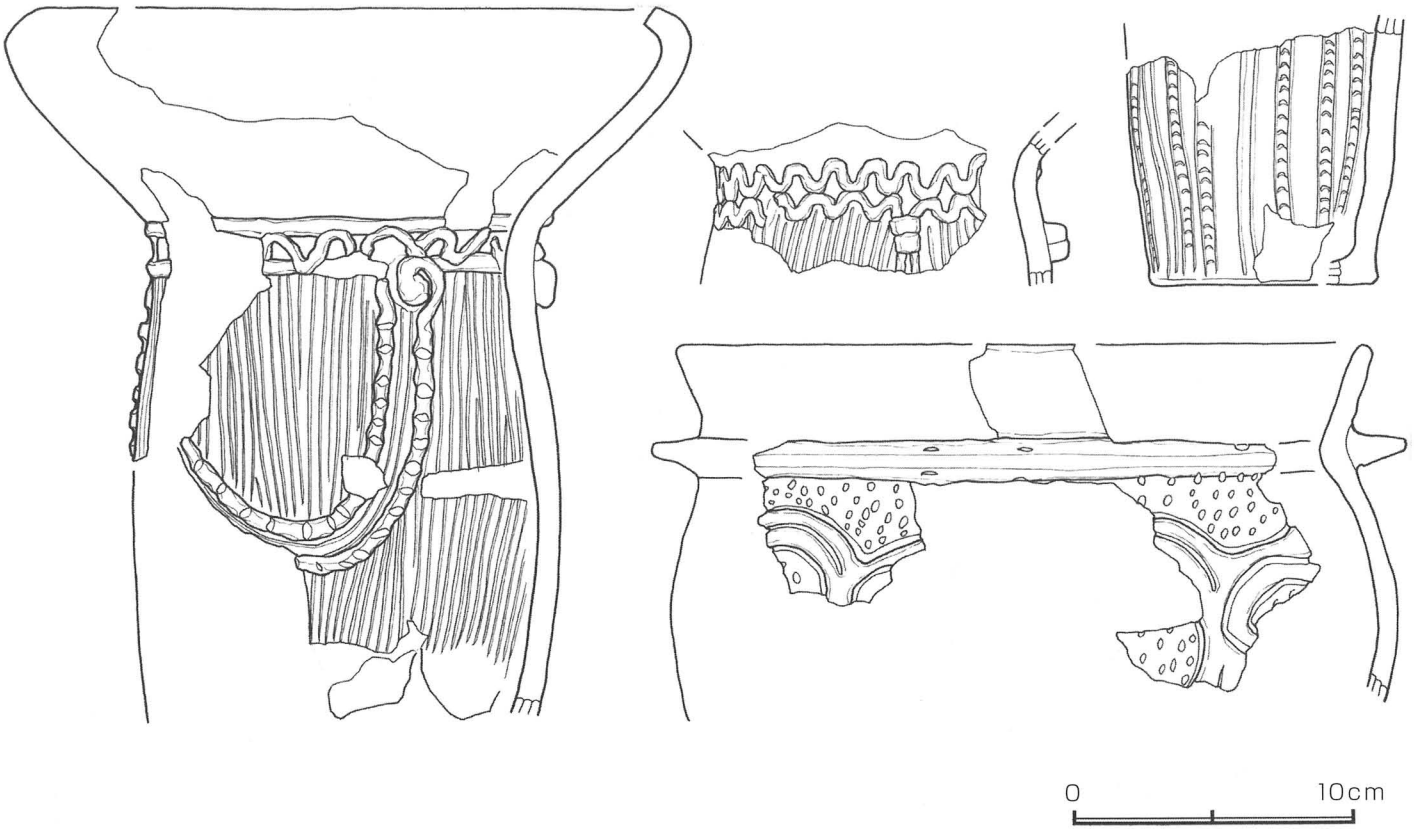
第26図　5号住居跡出土遺物



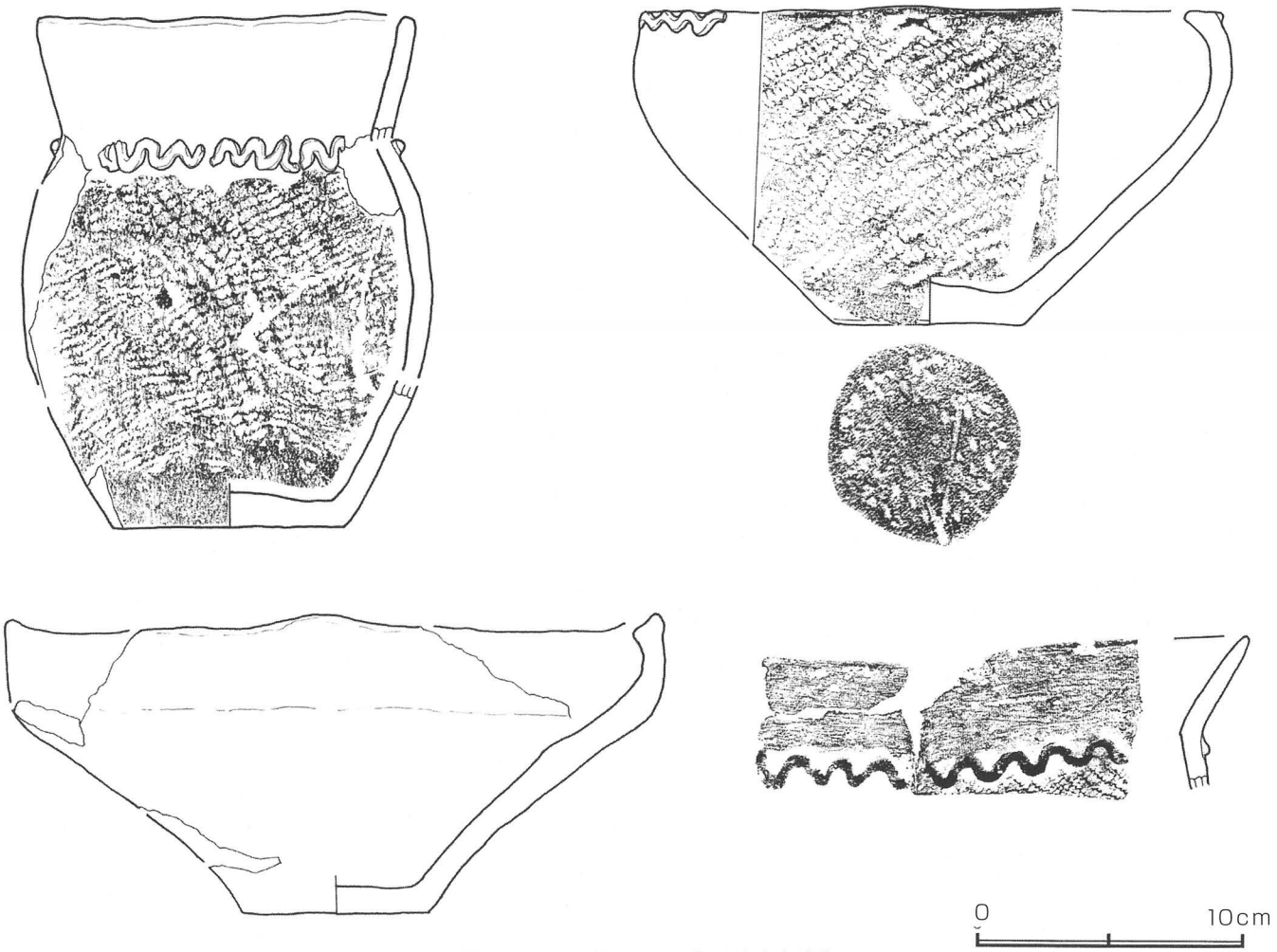
第27図　6号住居跡出土遺物



第28図　7号住居跡出土遺物

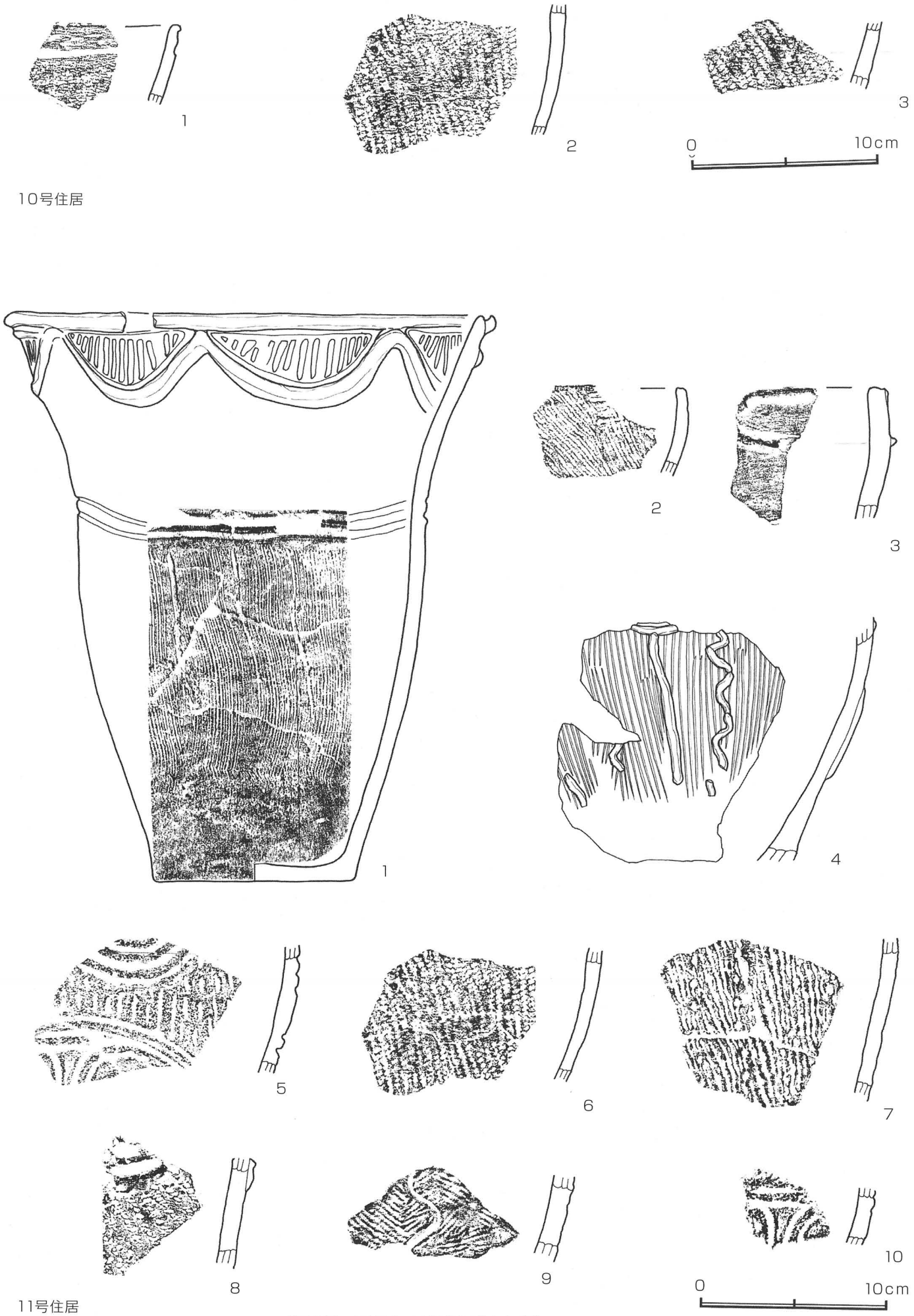


8号住居

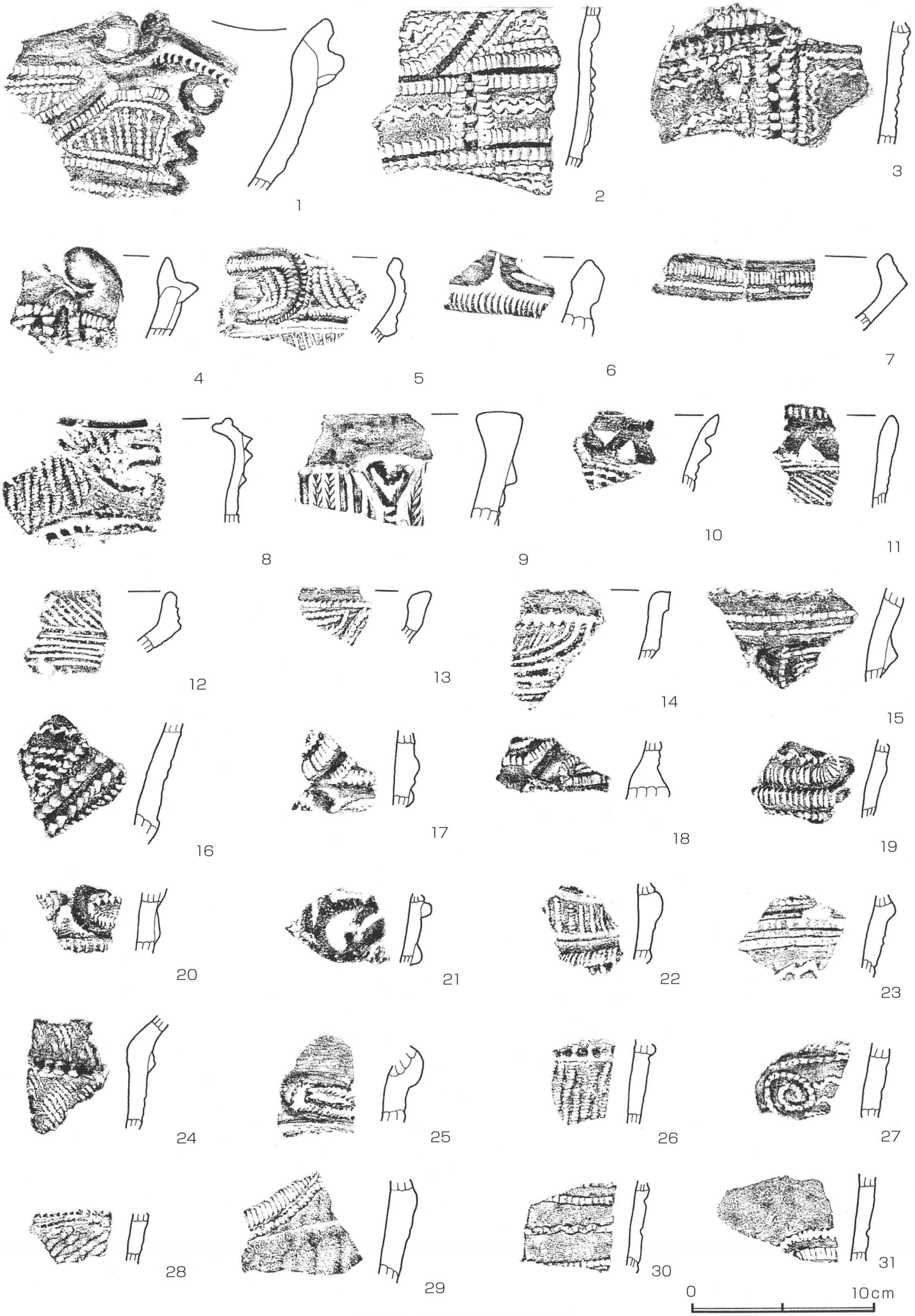


9号住居

第29図　8号住居・9号住居跡出土遺物

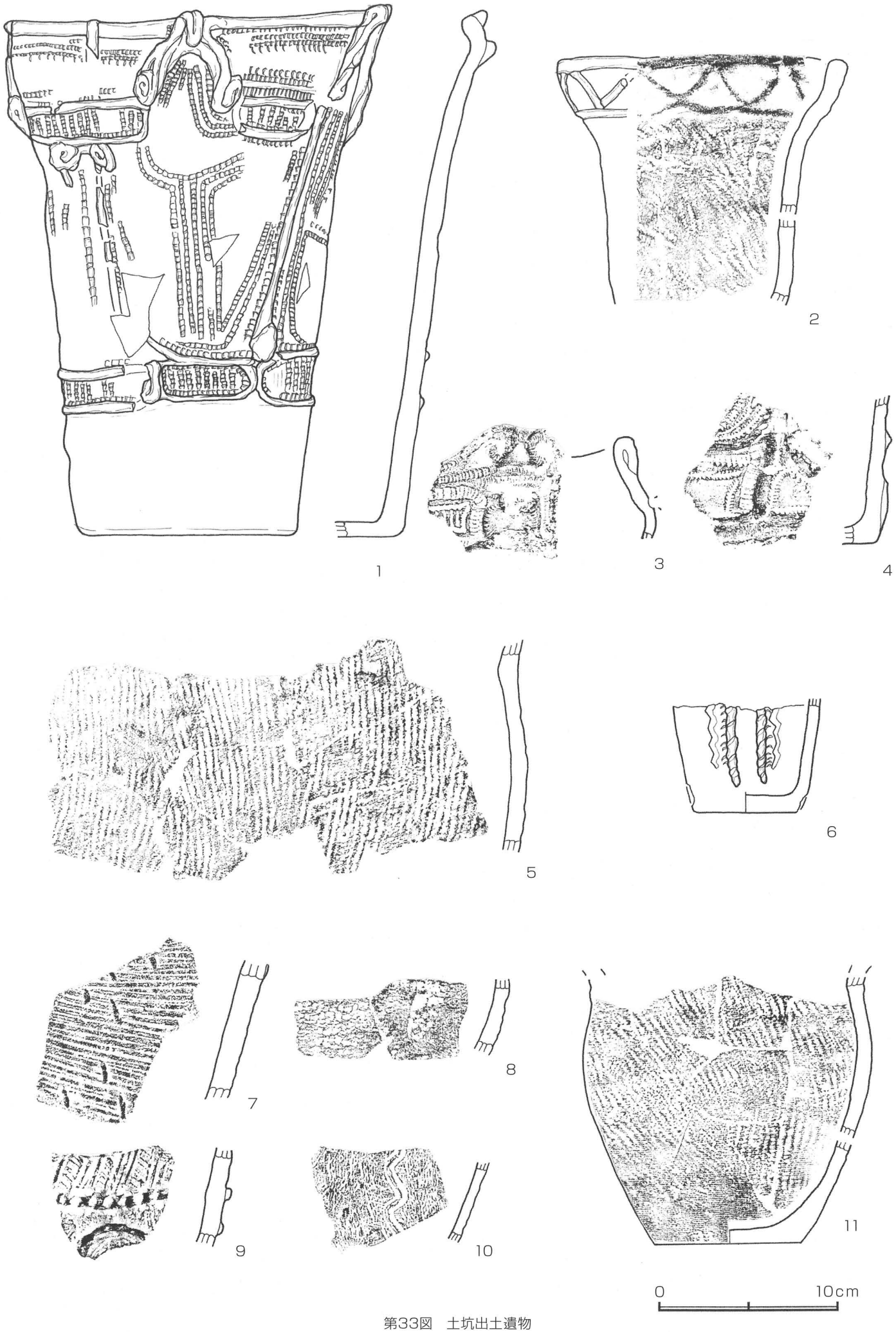


第30図　10号住・11号住居跡出土遺物

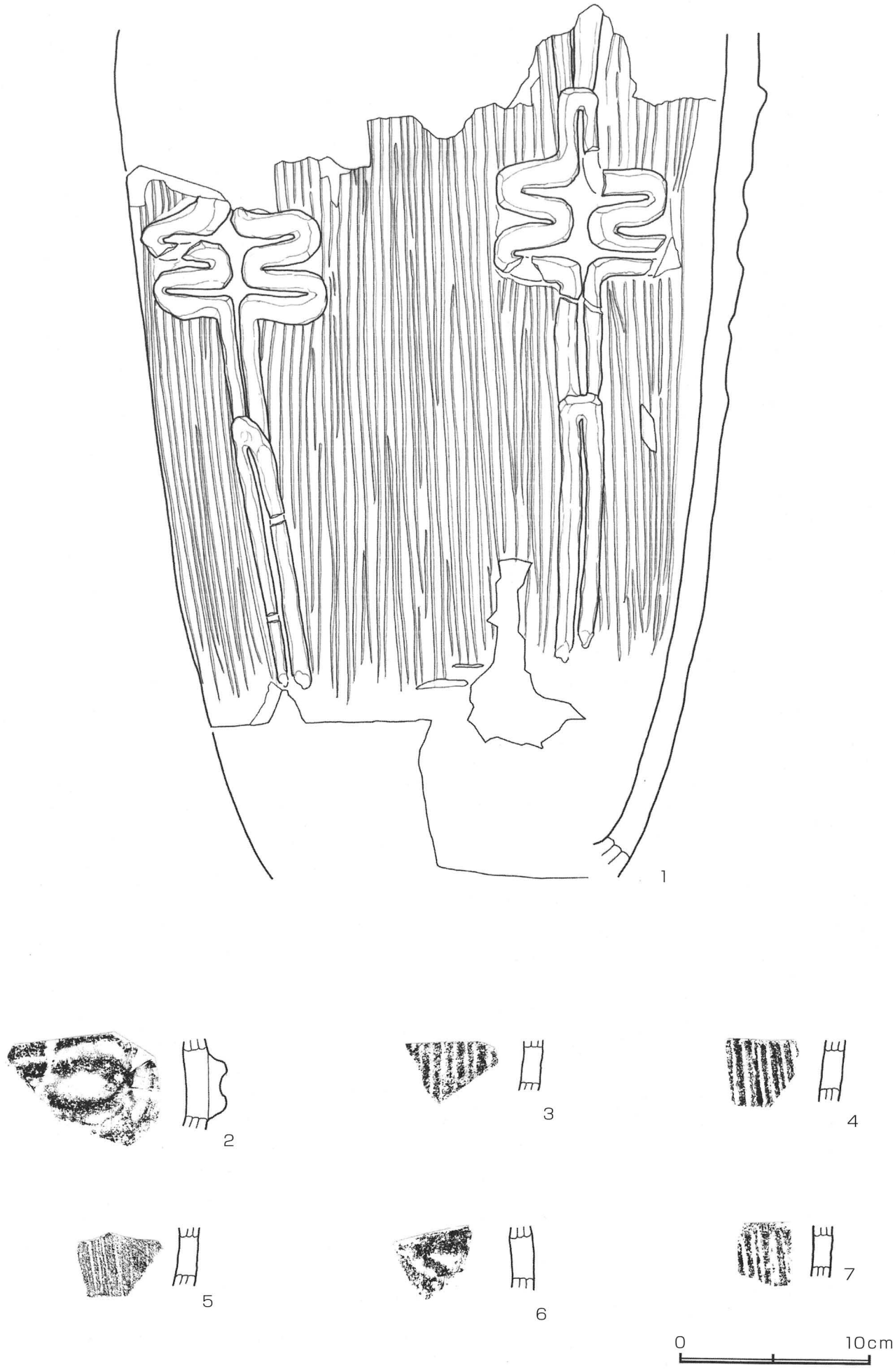


第31図　12号住住居跡出土遺物

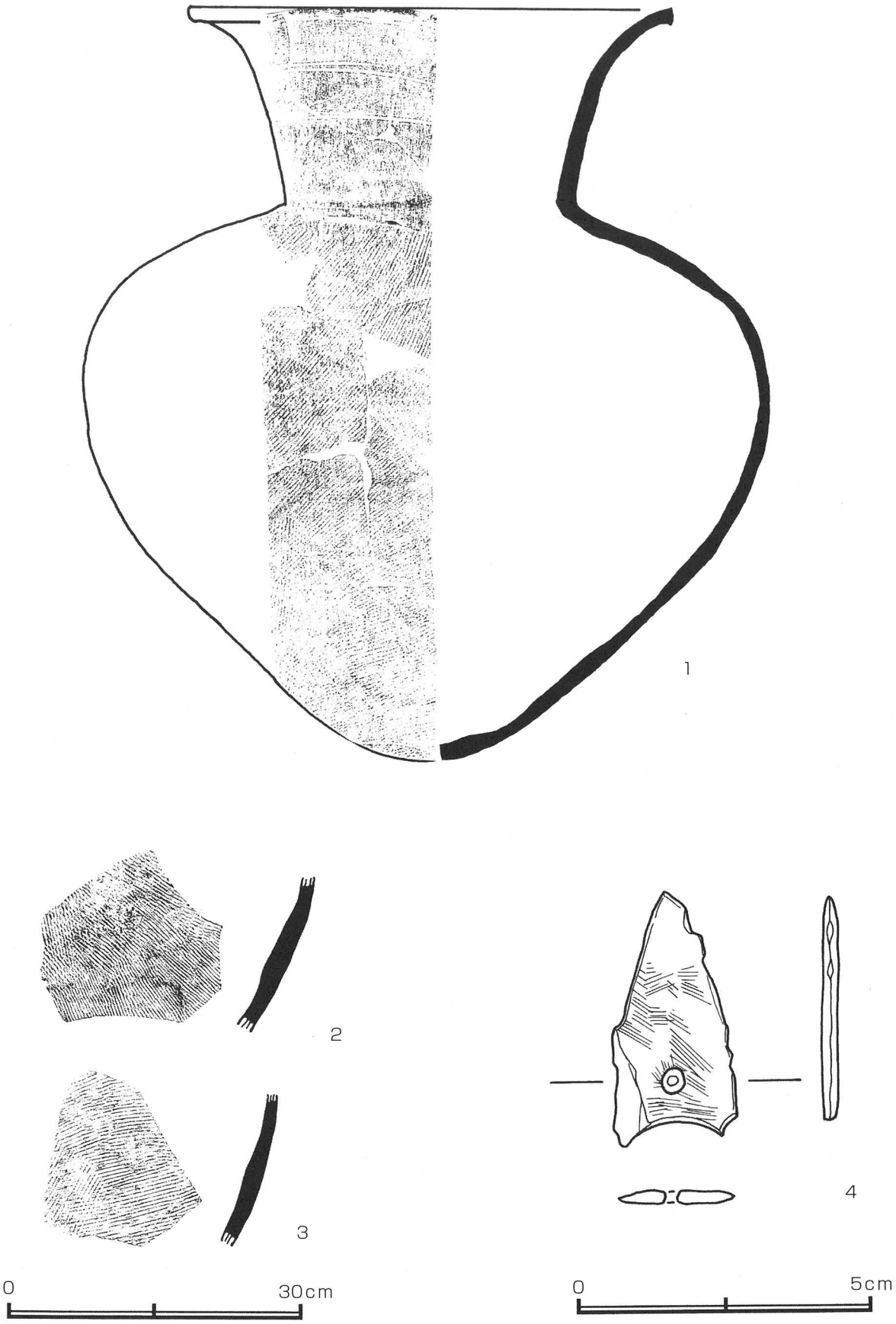
第32図　13号住居跡出土遺物



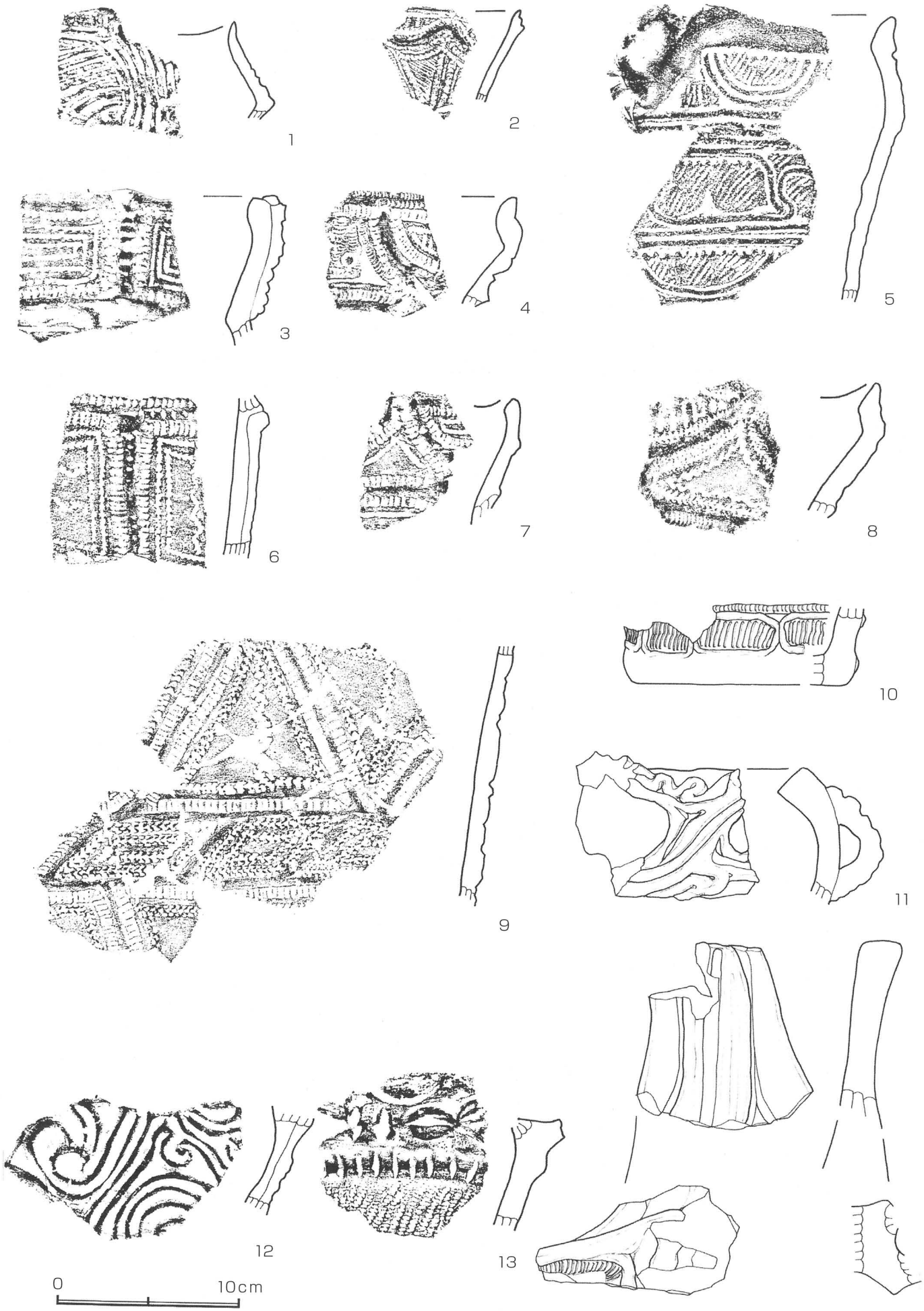
第33図　土坑出土遺物



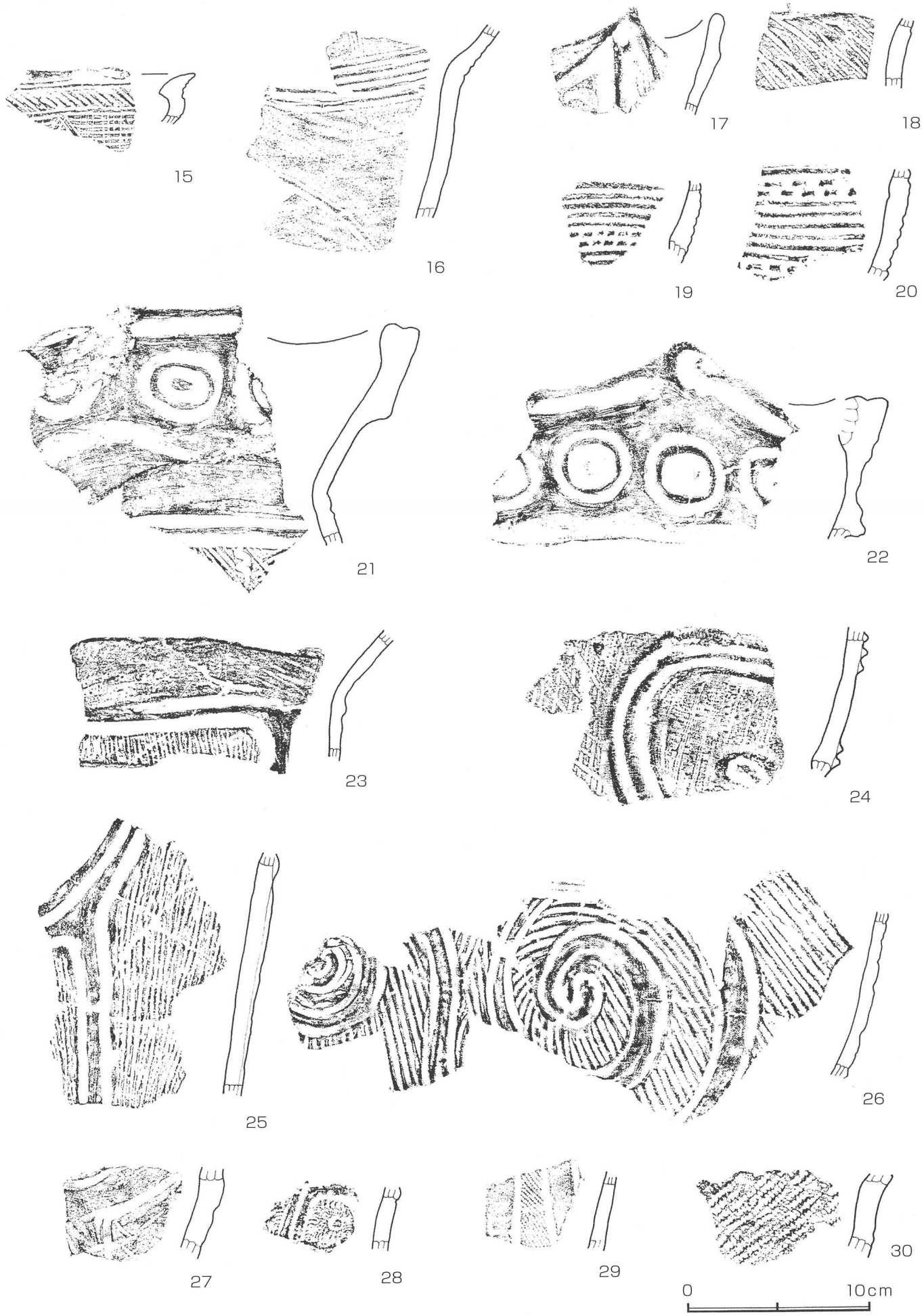
第34図　埋甕



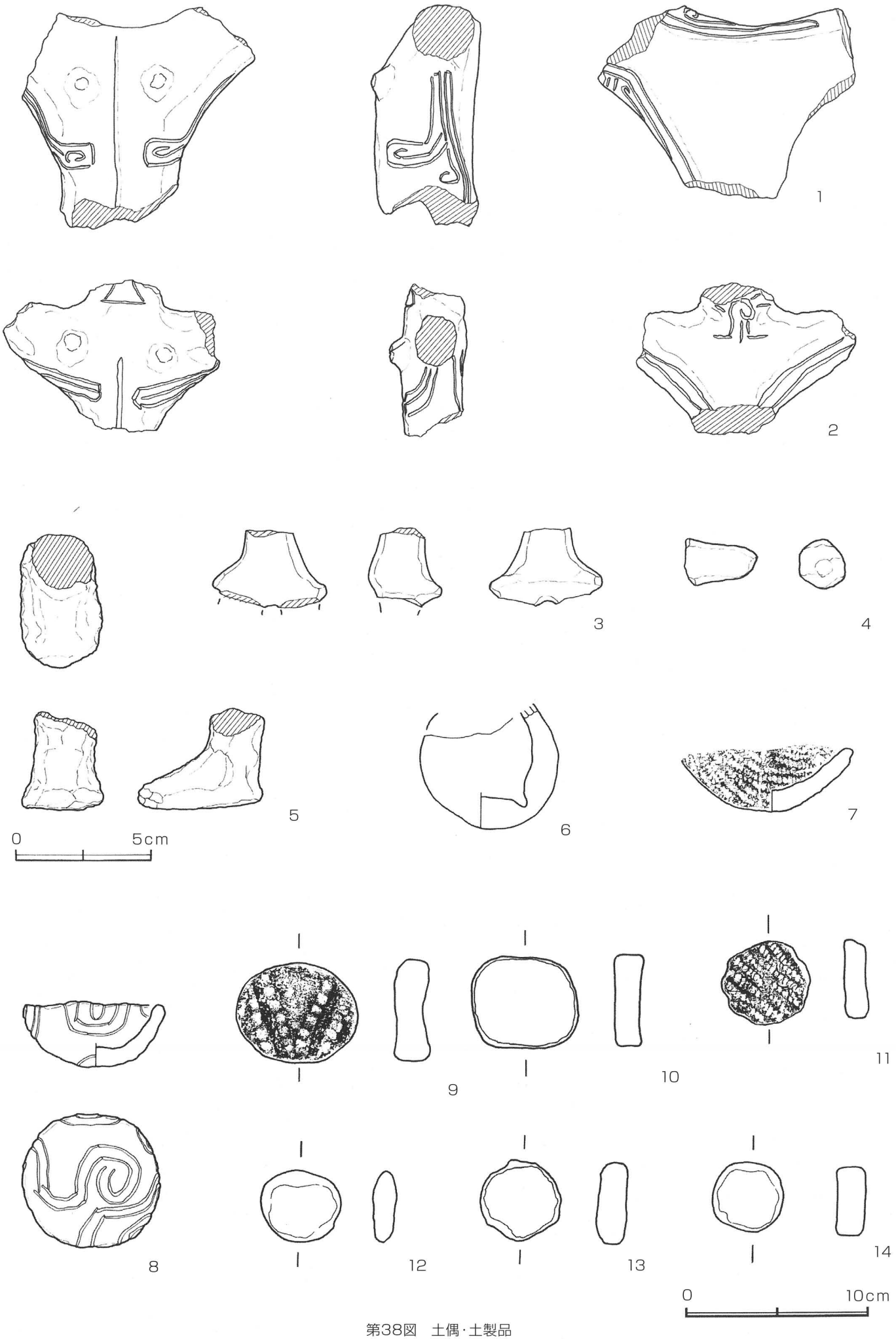
第35図　1号墳出土遺物



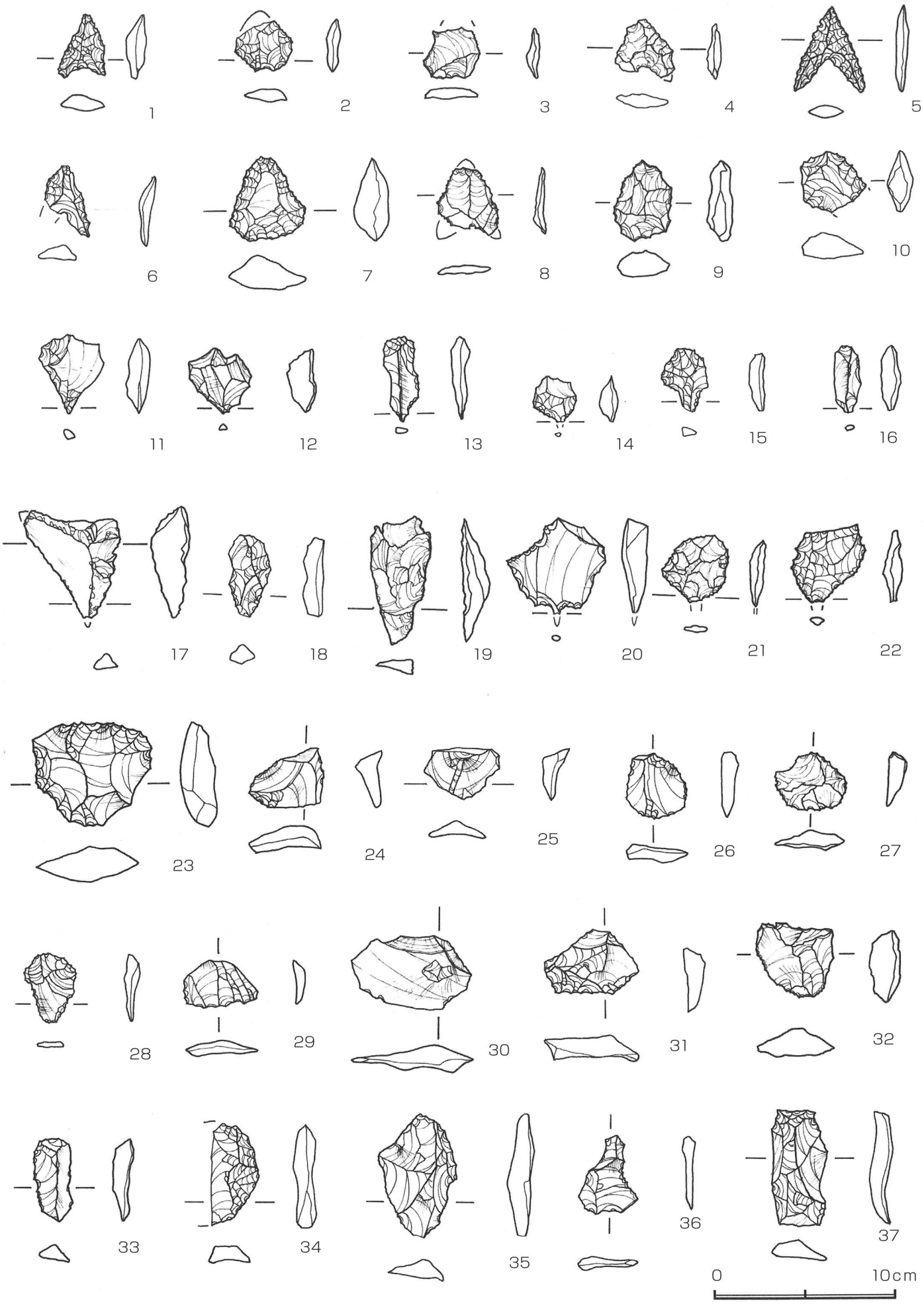
第36図　遺構外出土遺物



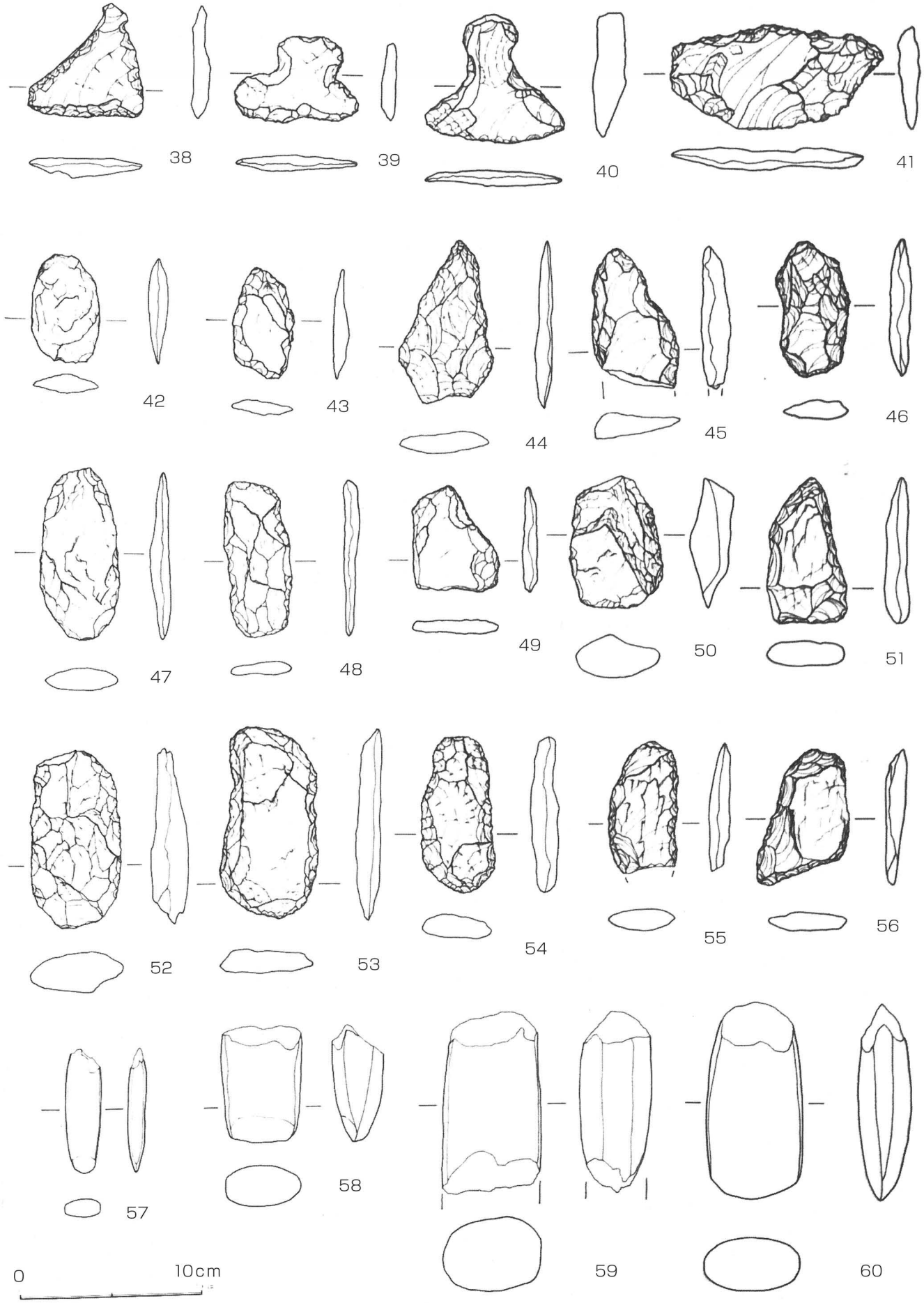
第37図　遺構外出土遺物



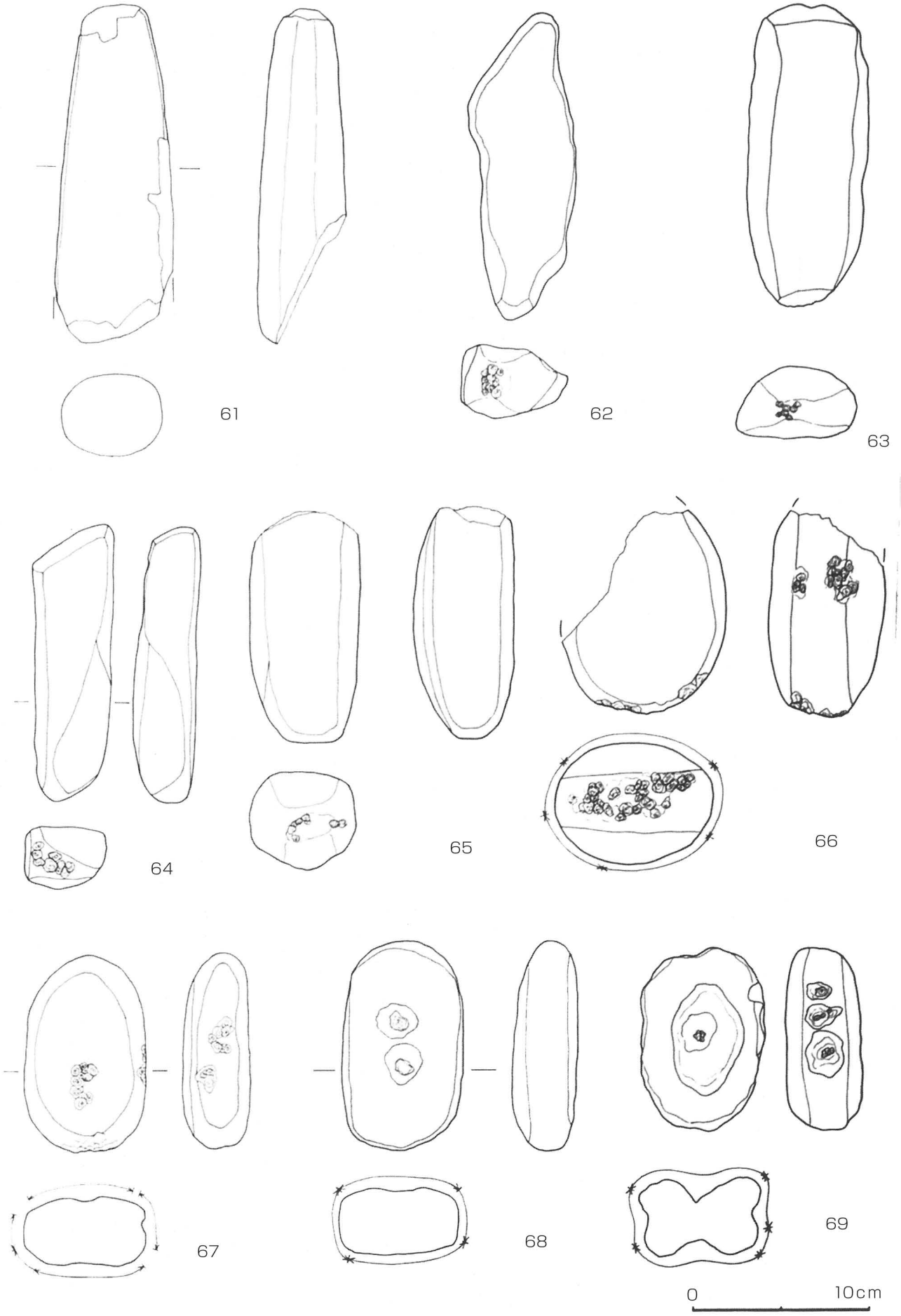
第38図　土偶・土製品


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
0
10cm

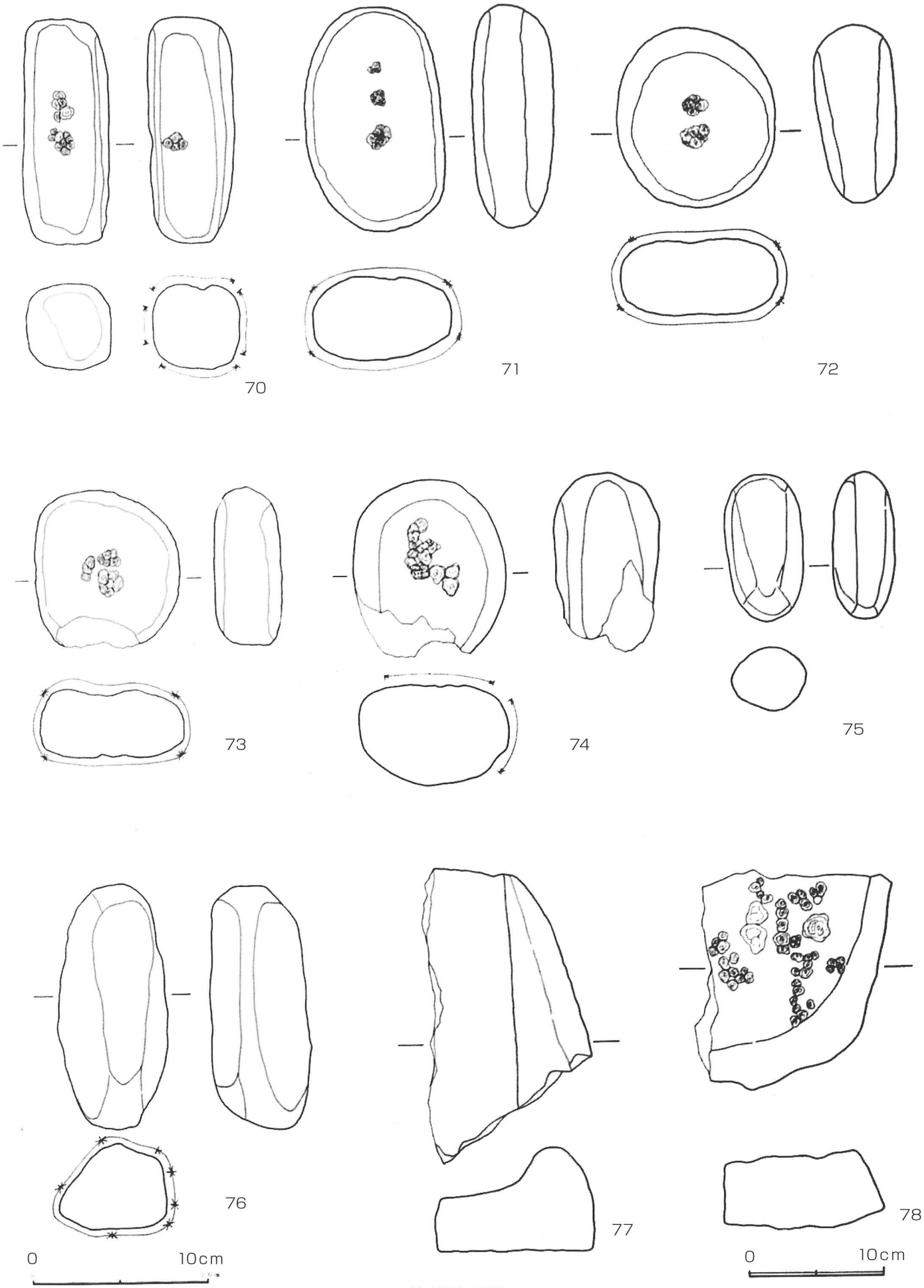
第39図　石器


38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
0
10cm

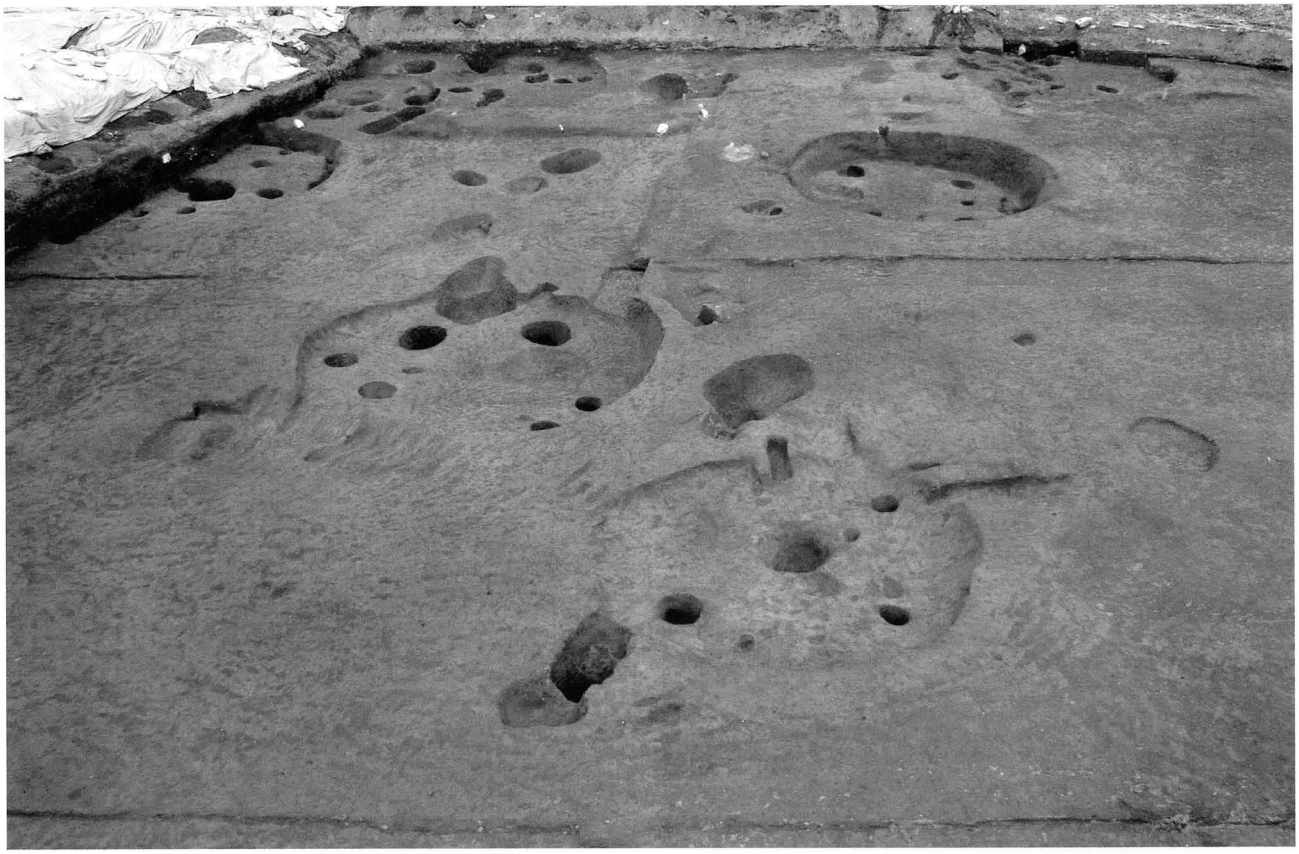
第40図　石器



第41図　石器



第42図　石器

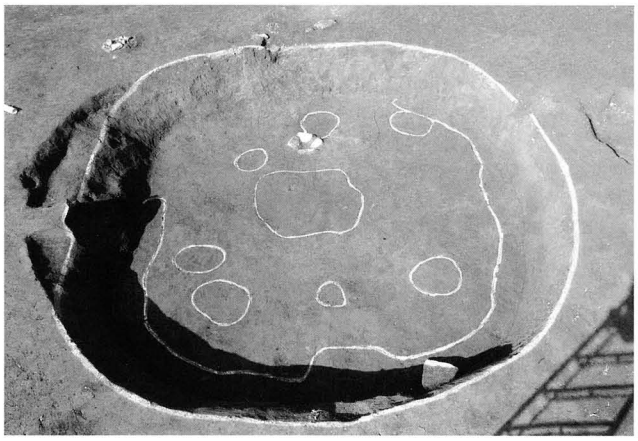


1区完掘状況全景

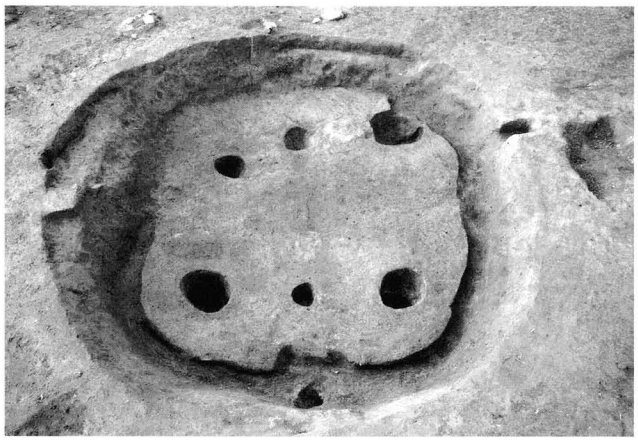
2区完掘状況全景

1区1号住居跡

1号住居跡炉跡

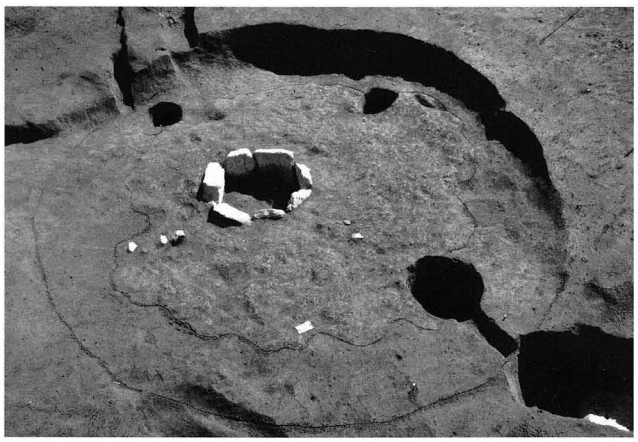


1区2号住居跡床面確認状況

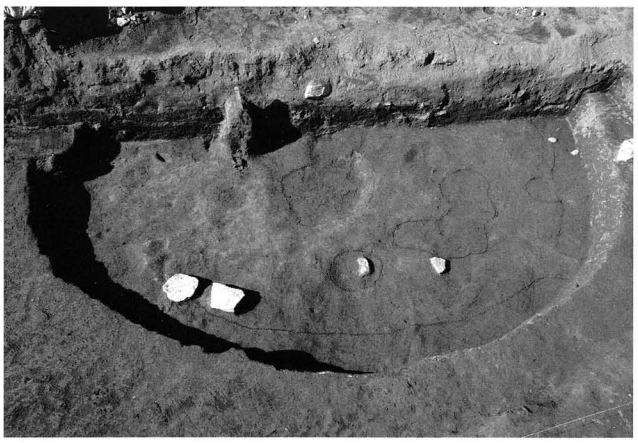


2号住居跡完掘状況

1区3号住居跡遺物出土状況



3号住居跡完掘状況



1区4号住居跡床面確認状況

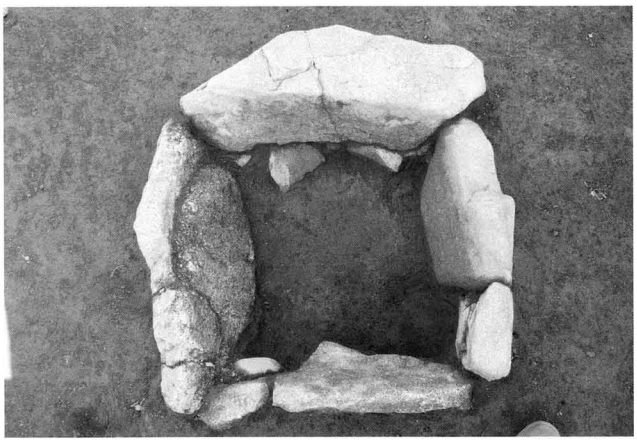
4号住居跡完掘状況

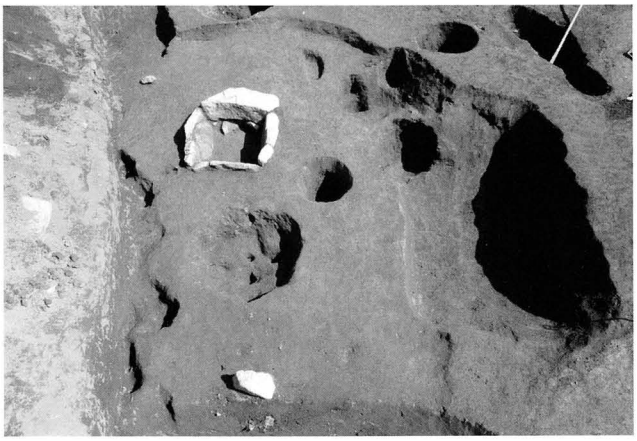
1区5号住居跡遺物出土状況

5号住居跡完掘状況

1区6号住居跡屋内埋甕

6号住居跡完掘状況


1区7号住居跡炉跡


7号住居跡完掘状況

2区8号住居跡土層断面

8号住居跡完掘状況

2区9号住居跡床面検出状況

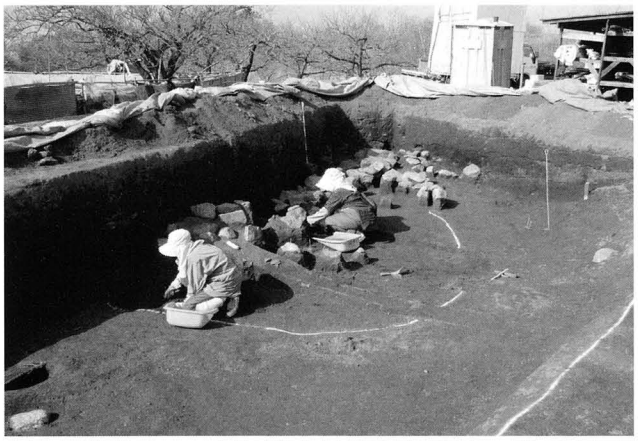
2区9号住居跡完掘状況

2区10号住居跡床面検出状況

10号住居跡完掘状況

1区11号住居跡屋内埋甕

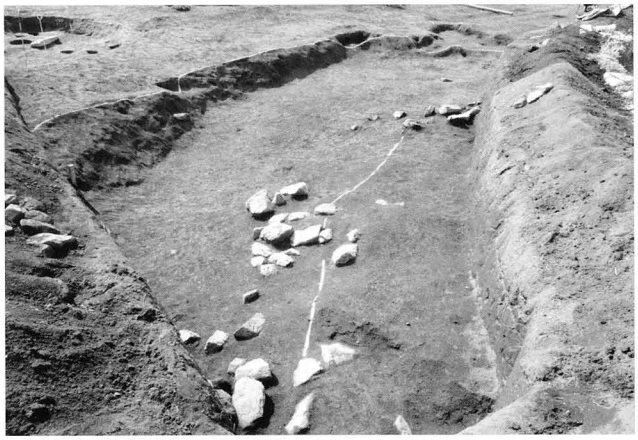
11号住居跡全景


2区13号住居跡検出状況

2区13号住居跡完掘状況

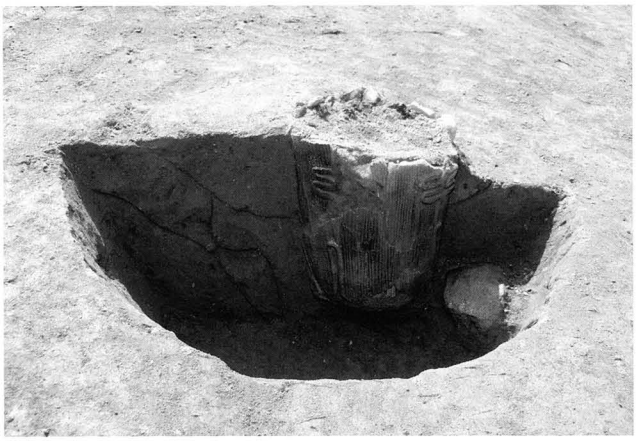
2区1号古墳周溝断面

1号古墳全景



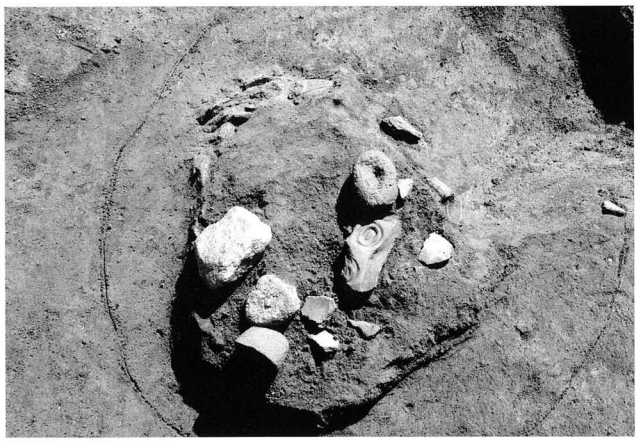
1号古墳全景（2）

1号古墳マウンド基底部

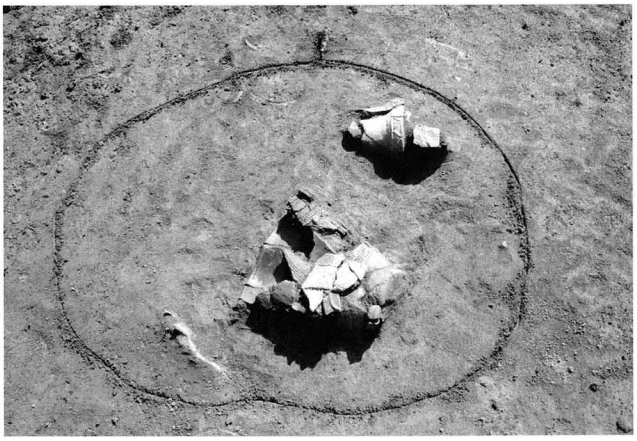


2区1号屋外埋甕埋設断面

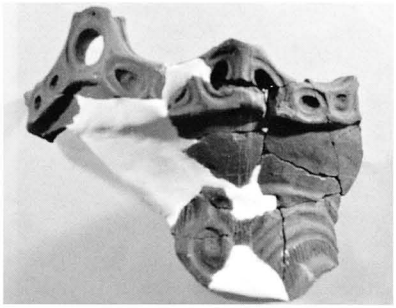
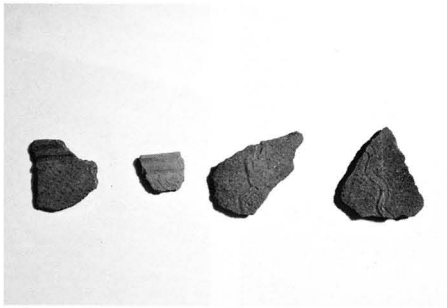
1号屋外埋甕埋設土坑完掘削



1区10号土坑遺物出土状況

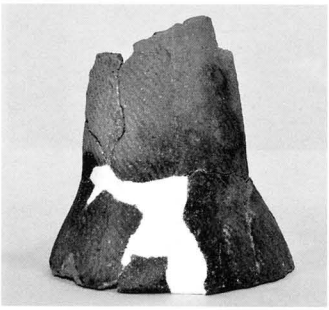


1区14号土坑遺物出土状況

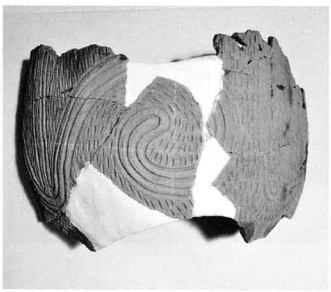
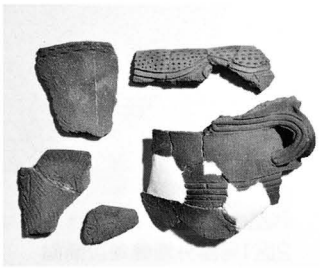



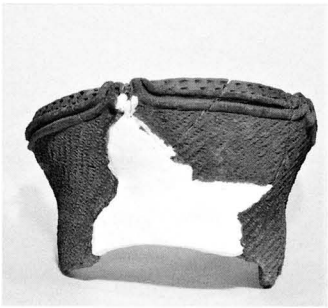
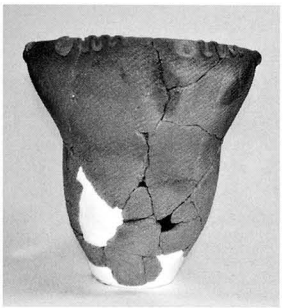
図−19　1号住居跡遺物　　2号住居跡遺物

図−20　3号住居跡遺物



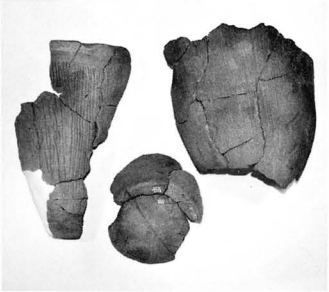
図−21　4号住居跡遺物

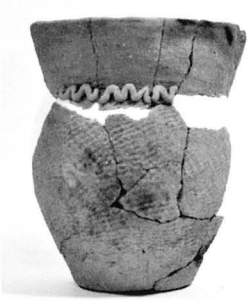
図−22〜26　5号住居跡遺物

図−27　6号住居跡



図−28　7号住居跡

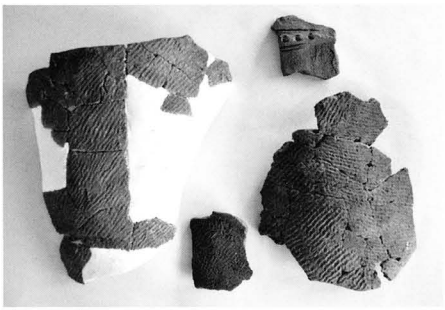
図−29　8号住居跡



9号住居跡

図−30　11号住居跡

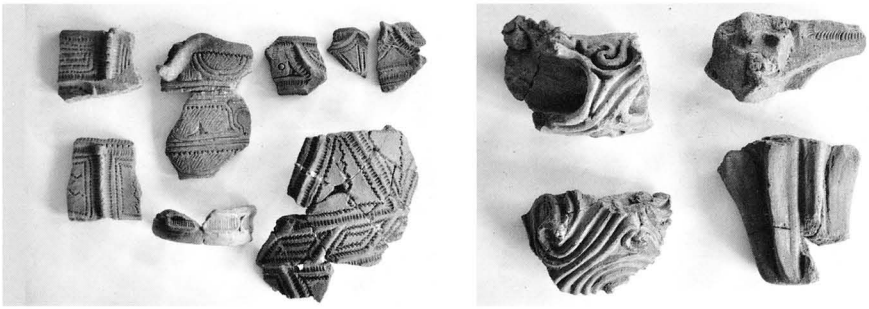
図−31　12号住居跡遺物



図−32　13号住居跡遺物

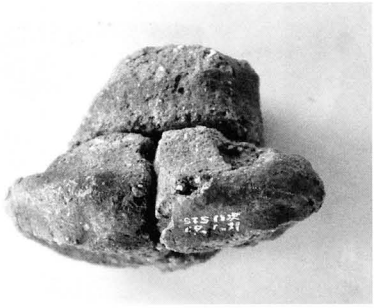
図−33　14号土坑遺物

図−33　15号土坑遺物



図−36　遺構外出土遺物

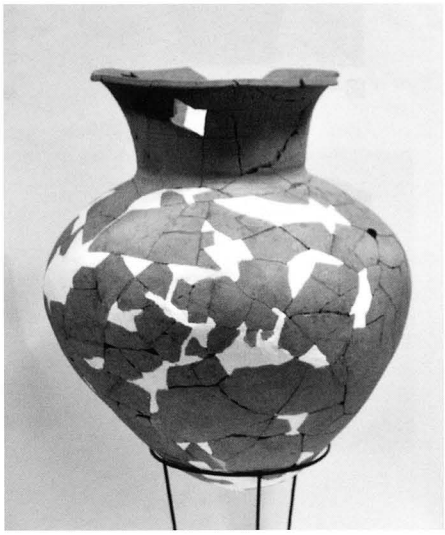
図−37　遺構外出土遺物

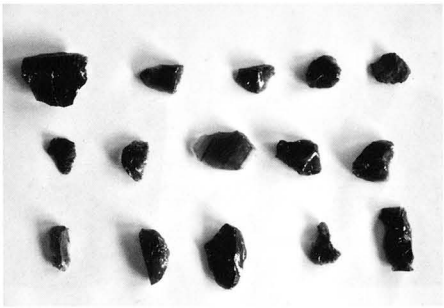


図−38　土偶

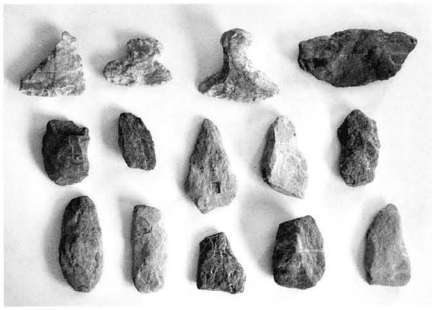
図−34　1号埋甕

図−38　土製品



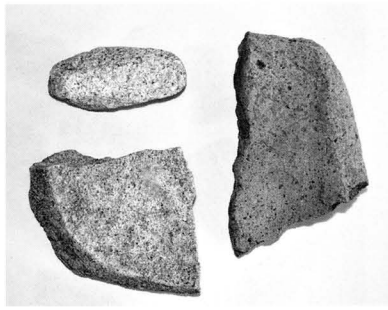


図−39　石器



図−40　石器

図−35　1号墳周溝遺物



図−41　石器

報 告 書 抄 録

ふりがな	いちのさわいせき
書名	一の沢遺跡(5次)
副書名	笛吹市境川地区浄・配水場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ	笛吹市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 28 集
編著者名	望月和幸
編集機関	笛吹市教育委員会
所在地	〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部809−1 TEL055(261)3342
発行年月日	2013年3月31日

所収遺跡名(ふりがな)	所在地(ふりがな)	コード		測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
一の沢遺跡(いちのさわいせき) (5次)	山梨県笛吹市(やまなしけんふえふきし) 境川町小黒坂(さかいがわちょうこぐろさか) 494−1ほか	251	境川49	35° 35′ 26″	138° 38′ 3″	2009.1.13 〜 2009.3.27	1500㎡	浄・配水場 建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
一の沢遺跡(いちのさわいせき) (5次)	集落跡 古墳	縄文時代中期 古墳時代後期	竪穴住居跡12軒 古墳1基 土坑 屋外埋甕	土器・石器・土偶	

Fuefuki City Archaeological Report Vol.28

The Report of Archaeological Research of ICHINOSAWA site (5th Survey)

Archaeological Survey Prior to the Construction of the Water Supply Facility

March, 2013

FUEFUKI CITY

Fuefuki City Board of Education